

本願寺親鸞大師御已證並邊州所々御消息等類聚鈔

有念無念事... 來迎ハ諸行往生ニアリ、自力在行者ナルカ
ユヘニ、臨終トイフコトハ諸行往生ノヒト
ニイフヘシ、ハイマタ眞實ノ信心ヲエサルカ
ユヘナリ、マタ十惡五逆ノ罪人ヲハシメテ
善知識ニアフテ、ス、メラル、ニトリテ
イフコトナリ、眞實信心ノ行人ハ、攝取
不捨ノユヘニ、正定聚ノクラキニ住ス、コ
ノユヘニ臨終ヲマツコトナシ、來迎ヲタノ
ムコトナシ、信心ノサタマルトキ、往生マ

タサタマルナリ、來迎ノ儀式ヲマダス、正
念トイフハ、本弘誓願ノ信樂サタマルヲイ
フナリ、コノ信心ヲウルユヘニ、カチラス
无土涅槃ニイタルナリ、ヲ人信心ヲマ心ト
イフ、コノ一心ヲ金剛心トイフ、コノ金剛
心ヲ大菩提心トイフナリ、コレスナハチ他
力ノナカノ他力ナリ、又正念トイフニツキ
テニアリ、一ニハ定心ノ行人ノ正念、二ニ
ハ散心ノ行人ノ正念アルヘシ、コノ二ノ正
念ハ、他力ノナカノ自力ノ正念ナリ、定散
ノ善ハ諸行往生ノコトハニオサマルナリ、
コノ善ハ他力ノナカノ自力ノ善ナリ、コノ

自力ノ行人ハ、來迎ヲマダスシテハ、邊地
 胎生懈慢界マテモムマルヘカラス、コノユ
 ヘニ第十九ノ誓願ニ、モロ／＼ノ善ヲシテ、
 淨土ニ廻向シテ往生セントチカフ人ノ臨終
 ニハ、ワレ現シテムカヘントチカヒタマヘ
 リ、臨終ヲマツコトト、來迎往生ヲタノム
 トイフコトハ、コノ定心散心ノ行者ノイフ
 コトナリ、選擇本願ハ有念ニアラス、无念
 ニアラス、有念ハスナハチ色形ヲオモフニ
 ツキテイフコトナリ、无念トイフハ形ヲコ
 ハ、コニカケス、色ヲコ、ロニオモハスシテ
 念モナキヲイフナリ、コレミナ聖道ノヲシ

ヘナリ、聖道トイフハ、ステニ佛ニナリタ
 マヘル人ノ、ワレラカコ、ロラス、メンカ
 タメニ、佛心宗、眞言宗、法華宗、華嚴宗、
 三論宗等ノ大乘至極ノ教ナリ、佛心宗トイ
 フハ、コノ世ニヒロマル禪宗コレナリ、マ
 タ法相宗、成實宗、俱舍宗等ノ權教、小乘
 等ノ教ナリ、コレミナ聖道門ナリ、權教ト
 イフハ、スナハチステニ佛ニナリタマヘル
 佛菩薩ノ、カリニサマ／＼ノ形ヲアラハシ
 テ、ス、メタマフカユヘニ權トイフナリ、
 淨土宗ニマダ有念アリ无念アリ、有念ハ散
 善ノ義、无念ハ定善ノ義ナリ、淨土ノ无念

ハ聖道ノ无念ニハニス、マタコノ聖道ノ无
 念ノナカニマダ有念アリ、ヨク／＼トフヘ
 シ、淨土宗ノナカニ眞アリ假アリ、眞トイ
 フハ選擇本願ナリ、假トイフハ定散ニ善ナ
 リ、選擇本願ハ淨土眞宗ナリ、定散ニ善ハ
 方便假門ナリ、淨土眞宗ハ大乘ノ中ノ至極
 ナリ、方便假門ノ中ニマダ大小權實ノ教ア
 リ、釋迦如來ノ御善知識ハ一百二十人ナリ、
 華嚴經ニミエタリ

カサマノ念佛者ノ、ウカ、ヒトハレタルコ
 ト、ツレ淨土眞宗ノコ、ロハ、往生ノ根機
 ニ、他力アリ、自力アリ、コノコトステニ、
 天竺ノ論家、淨土ノ祖師ノオホセラレタル
 コトナリ、マツ自力トマフスコトハ、行者
 ノヲノ／＼ノ縁ニシタカヒテ、餘ノ佛號ヲ
 稱念シ、餘ノ善根ヲ修行シテ、ワカ身ヲタ
 ノミ、ワカハカラヒノコ、ロヲモテ、身口
 意ノミタレコ、ロヲ、ツクロヒメテダウシ
 ナシテ、淨土ヘ往生セントオモフヲ自力ト
 マフスナリ、マタ他力トマフスコトハ、彌
 陀如來ノ御チカヒノナカニ、選擇攝取シタ

南无阿彌陀佛
 建長三歲辛酉閏九月廿日
 愚禿親鸞七十九歲

淨土眞宗聖典

マヘル、第十八ノ念佛往生ノ本願ヲ信樂スルヲ、他力トマフスナリ、如來ノ御チカヒナレハ、他力ニハ義ナキヲ義トスト、聖人ノオホセコトニテアリキ、義トイフコトハ、ハカラフコトハナリ、行者ノハカラヒハ自カナレハ、義トイフナリ、他力ハ本願ヲ信樂シテ、往生必定ナルユヘニ、サラニ義ナシトナリ、シカレハ、ワカミノワルケレハ、イカテカ如來ムカヘタマハントオモフヘカラス、凡夫ハモトヨリ煩惱具足シタルユヘニ、ワルキモノトオモフヘシ、マタワカコハ、ロヨケレハ、往生スヘシトオモフヘカラ

ス、自力ノ御ハカラヒニテハ、眞實ノ報土ヘムマルヘカラサルナリ、行者ノヲノノノ自カノハカラヒニテハ、憊慢邊地ノ往生、胎生疑城ノ淨土マテツ往生セラル、コトニテアルヘキトソ、ウケタマハリタシ、第十八ノ本願成就ノユヘニ、阿彌陀如來トナラセタマヒテ、不可思議ノ利益キハマリマシマサヌ御カタチヲ、天親菩薩ハ盡十方無導光如來トアラハシタマヘリ、コノユヘニ、ヨキアシキ人ヲキラハス、煩惱ノコトヲエラハス、ヘタテスシテ、往生ハカナラスルナリトシルヘシトナリ、シカレハ惠心

院ノ和尚ノ往生要集ニハ、本願ノ念佛ヲ信樂スルアリサマヲアラハセルニハ、行住坐臥ヲエラハス、時處諸縁ヲキラハストオホセラレタリ、眞實ノ信心ヲエタルヒトハ、攝取レヒカリニオサメトラレマイラセタリト、タシカニアラハセリ、シカレハ无明煩惱ヲ具シテ、安養淨土ニ往生スレハ、スナハテ无上佛果ニイタルト、釋迦如來トキタマヘリ、シカルニ五濁惡世ノワレラ、釋迦一佛ノミコトヲ信受センコト、アリカタカルヘシトテ、十方恒沙ノ諸佛證人トナラセタマフト、善導和尚ハ釋シタマヘリ、釋迦、

彌陀、十方ノ諸佛ミナオナシ御コ、ロニテ、本願念佛ノ衆生ニハ、カケノカタチニソヘルカコトクシテ、ハナレタマハストアカセリ、シカレハ、コノ信心ノ人ヲ、釋迦如來ハ、ワカシタシキトモナリト、ヨロコヒマシマス、コノ信心ノ人ヲ、眞ノ佛弟子トイヘリ、コノ人ヲ正念ニ住スル人トス、コノ人ハ攝取シテステタマハサレハ、金剛心ヲエタル人トマフスナリ、コノ人ヲ上人トモ、好人トモ、妙好人トモ、最勝人トモ、希有人トモマフスナリ、コノ人ハ正定聚ノクラキニサタマレルナリトシルヘシ、シカ

レハ彌勒佛トヒトシキ人トノタマヘリ、コ
 レハ眞實信心ヲエタルユヘニ、カナラス眞
 實ノ報土ニ往生スルナリトシルヘシ、コノ
 信心ヲウルコトハ、釋迦、彌陀、十方諸佛
 ノ御方便ヨリ、タマハリタルトシルヘシ、
 シカレハ諸佛ノ御ヲシヘテ、ソシルコトナ
 シ、餘ノ善根ヲ行スル人ヲ、ソシルコトナ
 シ、コノ念佛スル人ヲ、ニクミ、ソシル人
 ヲモ、ニクミソシルコトアルヘカラス、ア
 ハレミヲナシ、カナシムコ、ロヲモツヘシ
 トコソ、聖人ハオホセコトアリシカ、アナ
 カシコ、佛恩ノフカキコトハ、懈慢邊

地ニ往生シ、疑城胎宮ニ往生スルタニモ、
 彌陀ノ御チカヒノナカニ、第十九、第二十
 ノ願ノ御アハレミニテコソ、不可思議ノタ
 ノシミニアフコトニテサフラヘ、佛恩ノフ
 カキコト、ツノキハモナシ、イカニイハン
 ヤ眞實ノ報土ヘ往生シテ、大涅槃ノサトリ
 ヲヒラカンコト、佛恩ヨク御案トモサ
 フラフヘシ、コレサラニ信房親鸞カハカ
 ラヒマフスニハアラス候、ユメノ
 建長七歲卯十月三日
 愚禿親鸞三歲書之
 此御書者自性信聖之遺跡以聖人御自

筆之本寫與彼門弟中云云

信心ヲエタル人ハ、カナラス正定聚ノクラ
 非ニ住スルカユヘニ、等正覺ノ位ト申ナリ、
 大無量壽經ニハ、攝取不捨ノ利益ニサタマ
 ルヲ、正定聚トナツケテ、無量壽如來會ニ
 ハ、等正覺トキタマヘリ、ソノ名コソカ
 ハリタレトモ、正定聚、等正覺ハ、ヒドツ
 コ、ロ、ヒトツクラ非ナリ、等正覺トマフ
 スクラキハ補處ノ彌勒トオナシクラキナ
 リ、彌勒トオナシクコノタヒ無上覺ニイタ
 ルヘキユヘニ彌勒トオナシトキタマヘ

リ、サテ大經ニハ次如彌勒トハマフスナリ、
 彌勒ハステニ佛ニチカクマシマセハ彌勒佛
 ト諸宗ノナラヒハマフスナリ、シカレハ彌
 勒ニオナシクラ非ナレハ、正定聚ノ人ハ如
 來トヒトシトモ申ナリ、淨土ノ眞實信心ノ
 人ハ、コノ身コソアサマシキ不淨造惡ノ身
 ナレドモ、心ハステニ如來トヒトシケレハ、
 如來トヒトシトマフスコトモアルヘシトシ
 ラセタマヘ、彌勒ステニ無上覺ニソノ心サ
 タマリテアルヘキニナラセタマフニヨリテ
 三會ノアカツキトマフスナリ、淨土眞宗ノ
 ヒトモ、コノコ、ロヲコ、ロウヘキナリ、

光明寺ノ和尚ノ般舟讚ニハ、信心ノヒト
 ハツノ心ステニ、ツチニ淨土ニ居スト釋シ
 タマヘリ、居ストイフハ、淨土ニ信心ノヒ
 トノコハロ、ツチニキタリトイフコ、ロナ
 リ、コレハ彌勒トオナシトイフコトヨマフ
 スナリ、コレハ等正覺ヲ彌勒トオナシトマ
 フスニヨリテ、信心ノヒトハ如來トヒトシ
 トマフスコ、ロナリ
 正嘉元年巳十月十日 親鸞
 性信御房
 コレハ經ノ文ナリ、華嚴經ニ言信心歡

喜者與諸如來等トイフハ、信心ヲヨロコフ
 ヒトハ、モロ／＼ノ如來トヒトシトイフナ
 リ、モロ／＼ノ如來トヒトシトイフハ、信
 心ヲエテコトニヨロコフヒトヲ、釋尊ノミ
 コトニハ、見敬得大慶則我善親友トトキ
 タマヘリ、マタ彌陀ノ第十七ノ願ニハ、十
 方世界无量諸佛不悉咨嗟稱我名者不取正覺
 トチカヒタマヘリ、願成就ノ文ニハ、ヨロツ
 ノ佛ニホメラレ、ヨロコヒタマフトミエタ
 リ、スコシモウタカフヘキニアラス、コレ
 ハ如來トヒトシトイフ文トモアラハシシル
 スナリ

正嘉元年巳十月十日 親鸞
 眞佛御房

自然法爾事
 自然トイフハ、自ハヲノツカラトイフ、行
 者ノハカラヒニアラス、然トイフハ、シカ
 ラシムトイフコトハナリ、シカラシムトイ
 フハ、行者ノハカラヒニアラス、如來ノチカ
 ヒニテアルユヘニ法爾トイフ、法爾トイフ
 ハ、コノ如來ノ御チカヒナルカユヘニシカ
 ラシムルヲ法爾トイフナリ、法爾ハコソ御
 チカヒナリケルユヘニ、オホヨス行者ノハ

カラヒノナキヲモテ、コノ法ノ徳ノユヘニ、
 シカラシムトイフナリ、スヘテ人ノハシメ
 テハカラハサルナリ、コノユヘニ義ナキヲ
 義トストシルヘシトナリ、自然トイフハ、
 モトヨリシカラシムトイフコトハナリ、彌
 陀佛ノ御チカヒノ、モトヨリ行者ノハカラ
 ヒニアラスシテ、南无阿彌陀佛トタノマセ
 タマヒテ、ムカヘントハカラハセタマヒタ
 ルニヨリテ、行者ノヨカラントモ、アシカ
 ラントモオモハヌヲ、自然トハ申ソト、キ
 ハテサフラフ、チガヒノヤウハ、无上佛ニナ
 ラシメントチカヒタマヘルナリ、无上佛ト

マフスハ、カタチモナクマシマス、カタチモ
 マシマサヌエヘニ、自然トハマフスナリ、
 カタチマシマストシメストキニハ、无上涅槃
 槃トハ申サス、カタチモマシマサヌヤウヲ
 シラセントテ、ハシメテ彌陀佛トマフスト
 ソ、キ、ナラヒテサフラフ、彌陀佛ハ自然
 ノヤウヲシラセンレウナリ、コノ道理ヲコ
 、ロエツルノチニハ、コノ自然ノコトハ、
 ツ子ニサタスヘキニハアラサルナリ、ツ子
 ニ自然ヲサタセハ、義ナキヲ義トストイフ
 コトハ、ナラ義ノアルニナルヘシ、コレハ
 佛智ノ不思議ニテアルナリ

正嘉貳年十二月十四日
 愚禿親鸞八十八
 ナニヨリモコソエトシ老少男女オホクノ人
 人死ニアヒテ候ランコトコソアハレニ候
 へ、タ、シ生死无常ノコトハリ、クハシク
 如來ノトキヲカセオハシマシテ候ヘハ、オ
 トロキオホシメスヘカラス候ナリ、マツ善
 信カ身ニハ、臨終ノ善惡ヲハマフサス、信
 心決定ノ人ハ、ウタカヒナケレハ、正定
 聚ニ住スルコトニテ候ナリ、サレハコソ愚
 癡無智ノ人モ、オハリモメテタク候ヘ、如

來ノ御ハカタヒニテ往生スルヨシ、ヒトヒ
 ト申サレ候ケル、スコシモタカハス候ナリ、
 トシコロヲノ、ニ申シサフラヒシコト、
 タカハスコソ候ヘ、カマヘテ學匠沙汰セサ
 セタマヒサフラハテ往生ヲトケサセタマヒ
 候ヘシ、故法然上人ハ、淨土宗ノ人ハ愚
 者ニナリテ往生スト候シコトヲ、タシカニ
 ウケタマハリ候シウヘニ、モノモオホエヌ
 アサマシキ人々ノマイリタルヲ御覽シテ
 ハ、往生必定スヘシトテ、エマセタマヒシ
 フミマイラセサフラヒキ、文沙汰シテ、サ
 カシキヒトノマイリタルヲハ、往生イ

カンカアランスラント、タシカニウケタマ
 ハリキ、イマニイタルマテオモヒアハセラ
 レ候ナリ、ヒトノ、ニスカサレサセタマハ
 テ、御信心タチロカセタマハスシテ、ヲノ
 御往生候ヘキナリ、タ、シヒトニス
 カサレサセタマヒ候ハストモ、信心ノサタ
 マラヌ人ハ、正定聚ニ住シタマハスシテ、
 ウカレタマヒタル人ナリ、乗信房ニカヤウ
 ニ申シ候ヤウヲ、人々ニモマフサレ候ヘシ、
 アナカシコ
 文應元年十一月十二日
 善信八十八
 八十八

乗信御房

乗信御房
コノ御消息ノ正本ハ、坂東下野國オホウチノ御莊高田ニコレアルナリト云云

諸佛等同ト云事

往生ハナニコトモ、凡夫ノハカラヒナラス、如來ノ御チカヒニマカセマイラセタレハコソ、他力ニテハ候ラヘ、様々ニハカラヒアフテ候ラン、オカシク候、如來ノ誓願ヲ信スル心ノサタマルトマフスバ、攝取不捨ノ利益ニアツカルユヘニ、不退ノ位ニサタマルト御ヨマロエサフラフヘシ、眞實

信心ノサタマルト申モ、金剛ノ信心ノサタマルトマフスモ、攝取不捨ノユヘニマフスナリ、サレハコソ无上覺ニイタルヘキ心ノオコルトマフスナリ、コレヲ不退ノ位トモマフシ、正定聚ノ位ニイルトモマフシ、等正覺ニイタルトモマフスナリ、コノコ、ロソサタマルヲ、十方諸佛ノヨロコヒテ、諸佛ノ御コ、ロニヒトシトホメタマフナリ、コノユヘニ、マコトノ信心ノ人ヲハ、諸佛トヒトシトマフスナリ、マタ補處ノ彌勒トオナシトモマフスナリ、コノ世ニテ眞實信心ノ人ヲマモラセタマヘハコソ、阿彌陀經

ニハ十方恒沙ノ諸佛護念ストハマフスコト

ニテハ候ヘ、安樂淨土ヘ往生シテノチニ、

マモリタマフトマフスコトニテハ候ハス、

娑婆世界ニイタルホト護念ストハマフスコトナリ、信心マコトナル人ノコ、ロヲ、十

方恒沙ノ如來ノホメタマヘハ、佛トヒトシ

トマフスコトナリ、マタ他力ト申コトハ、

義ナキヲ義トストマフスナリ、義トストマ

フスコトハ、行者ノヲノノハカラフコ

トヲ、義トハ申スナリ、如來ノ誓願ハ不可

思議ニマシマスユヘニ、佛ト佛トノ御ハカ

ラヒナリ、凡夫ノハカラヒニアラス、補處

ノ彌勒菩薩ヲハシメトシテ、佛智ノ不思議

ヲハカラフヘキ人ハ候ハス、シカレハ如來

ノ誓願ニハ、義ナキヲ義トストハ、大師聖

人ノオホセニ候キ、コノコ、ロノホカニ、

往生ニイルヘキコト候ハストコ、ロエテマ

カリスキ候ヘハ、人ノオホセコトニハイラ

ヌモノニテサフラフナリ

二月廿五日 親鸞

淨信御房御返事

マタ五説トイフハ、ヨロツノ經ヲトカレ候

ニ、五種ニハスキス候ナリ、一二ハ佛説、

二ニハ聖弟子ノ説、三ニハ天仙ノ説、四ニハ鬼神ノ説、五ニハ變化ノ説トイヘリ、コノ五ノナカニ、佛説ヲモチキテ、カミノ四種ヲタノムヘカラス候、コノ三部ノ經ハ釋迦如來ノ自説ニテマシマストシルヘシトナリ、四土トイフハ、一ニハ法身ノ土、二ニハ報身ノ土、三ニハ應身ノ土、四ニハ化身ノ土ナリ、イマコノ安樂淨土ハ報土ナリ、三身トイフハ、一ニハ法身、二ニハ報身、三ニハ應身ナリ、イマコノ彌陀如來ハ報身如來ナリ、三寶トイフハ、一ニハ佛寶、二ニハ法寶、三ニハ僧寶ナリ、イマコノ淨土

宗ハ佛寶ナリ、四乗トイフハ、一ニハ佛乘、二ニハ菩薩乘、三ニハ緣覺乘、四ニハ聲聞乘ナリ、イマコノ淨土宗ハ菩薩乘ナリ、二乗トイフハ、一ニハ頓教、二ニハ漸教ナリ、イマコノ教ハ頓教ナリ、二藏トイフハ、一ニハ菩薩藏、二ニハ聲聞藏ナリ、イマコノ教ハ菩薩藏ナリ、二道トイフハ、一ニハ難行道、二ニハ易行道ナリ、イマコノ淨土宗ハ易行道ナリ、二行トイフハ、一ニハ正行、二ニハ雜行ナリ、イマコノ淨土宗ハ正行ヲ本トスルナリ、二超トイフハ、一ニハ豎超、二ニハ横超ナリ、イマコノ淨土宗ハ横超ナ

リ、豎超ハ聖道自力ナリ、二緣トイフハ、一ニハ無緣、二ニハ有緣ナリ、イマコノ淨土ハ有緣ノ教ナリ、二住トイフハ、一ニハ止住、二ニハ不住ナリ、イマコノ淨土ノ教ハ、法滅百歲マテ住シタマヒテ有情ヲ利益シタマフトナリ、不住ハ聖道諸善ナリ、諸善ハミナ龍宮ヘカクレイリタマヒヌルナリ、思不思議トイフハ、思不思議ノ法ハ聖道八萬四千ノ諸善ナリ、不思議トイフハ、淨土ノ教ハ不可思議ノ教法ナリ、コレラハ加樣ニシルシマフシタリ、ヨクシラン人ニタツ子申タマフヘシ、マタクハシクハ、コノ文ニテマ

フスヘクモ候ハス、目モミエス候、ナニコトモミナワスレテ候ウヘニ、人ナトニアキラカニ申ヘキ身ニテモアラスサフラフ、ヨク々淨土ノ學生ニトヒ申給ヘシ、穴賢

閏三月二日 親戀

誓願名號同二事

御フミグハシクウケタマハリサフラヒヌ、マタサテハ、コノ御不審シカルヘシトモオホエス候、ソノユヘハ、誓願名號ト申テ、カハリタルコト候ハス、誓願ヲハナレタル

名號モ候ハス、名號ヲハナレタル誓願モ候ハス候、カク申候モ、ハカラヒニテ候ナリ、タ、誓願ヲ不思議ト信シ、マタ名號ヲ不思議ト一念信シトナヘツルウヘハ、何條ワカハカラヒヲイタスヘキ、キ、ツケ、シリワクルナト、ワツラハシクハオホセラレサフラフヤラン、コレミナヒカコトニテ候ナリ、タ、不思議ト信シツルウヘハ、御カク御ハカラヒアルヘカラス候、往生ノ業ニハ、ワタクシノハカラヒハアルマシク候ナリ、アナカシコ、タ、如來ニマカセマイラセオハシマスヘクサフラフ、アナ

カシコ、五月五日、親鸞、教名御房、コノフミヲモテ、ヒト、ニモミセマイラセセタマフヘク候、他力ニハ義ナキヲ義トハマフシサフラフナリ、佛智不思議ト可レ信事、御フミクハシクウケタマハリ候ヌ、サテハ御法門ノ御不審ニ、一念發起信心ノトキ、无導ノ心光ニ攝護セラレマイラセ候、ユヘニ、ツチニ浄土ノ業因決定ストオホセラレ

候、コレメテタク候、カクメテタクハオホセ候ヘトモ、コレミナ、ワタクシノ御ハカラヒニナリヌトオホエ候、タ、不思議ト信セサセタマヒ候ヌルウヘハ、ワツラハシキハカラヒアルヘカラス候、マタアル人ノ候ナルコト、出世ノコ、ロオホク、浄土ノ業因スクナシト候ナルハ、コ、ロエカタク候、出世ト候モ、浄土ノ業因ト候モミナヒトツニテ候ナリ、スヘテコレ、ナマシキナル御ハカラヒト存候、佛智不思議ト信セサセタマヒ候ナハ、別ニワツラハシク、トカクノ御ハカ

ラヒアルヘカラス候、タ、人ノトカク申シ候ハンコトヲハ、御不審アルヘカラス候、タ、如來ノ誓願ニマカセマイラセタマフヘク候、トカクノ御ハカラヒアルヘカラスサフラフナリ、アナカシコ、五月五日、親鸞、淨信御房、他力ト申シサフラフハ、トカクノハカラヒナキマフシサフラフナリ、四月七日ノ御フミ、五月廿六日夕シカニ見サフラヒヌ、サテハオホセラレタルコト、信ノ一念、行ノ一念ヲタツナレトモ、信ヲ

ハナレタル行モナシ、行ノ一念ヲハナレタル信ノ一念モナシ、ソノユヘハ、行ト申ハ、本願ノ名號ヲ一聲トナヘテ往生スト申コトヲキ、テ、ヒトコエヲモトナヘ、モシハ十念ヲモセンハ行ナリ、コノ御チカヒヲキ、テ、ウタカフコ、ロノ、スコシモナキヲ信ノ一念トマフスナリ、信ト行ト二トキケトモ、行ヲヒトコエスルソトキ、テ、ウタカハ子ハ、行ヲハナレタル信ハナシトキキテ候、マタ信ヲハナレタル行ナシトオホシメスヘシ、コレミナ彌陀ノ御チカヒト申コトヲコ、ロウヘシ、行ト信トハ、御チカヒヲ

申ナリ、穴賢々々、イノチ候ハ、カナラスノホラセタマフヘシ
五月廿六日
尋仰ラレ候念佛ノ不審ノ事、念佛往生ト信スル人ハ、邊地ノ往生トテキラハレ候ラシコト、オホカタコ、ロエカタク候、ソノエハハ彌陀ノ本願トマフスハ、名號ヲトナヘンモノヲハ、極樂ヘムカヘント、チカハセタマヒタルヲ、ウカク信シテ、トナフルカ、メテタキコトニテ候ナリ、信心アリトモ、名號ヲトナヘサランハ詮ナク候、一向名號ヲトナフトモ、信心アサクハ往生シカ

七月十三日

有阿彌陀佛御返事

親鸞

タク候、サレハ念佛往生トフカク信シテ、シカモ名號ヲトナヘンスルハ、ウタカヒナキ報土ノ往生ニテアルヘク候ナリ、詮スルトコロ名號ヲトナフトイフトモ、他力本願ヲ信セサランハ邊地ニムマルヘシ、本願他力ヲフカク信セントモカラハ、ナニコトニカハ邊地ノ往生ニテ候ヘキ、コノヤウヲ、ヨク御コ、ロエ候テ御念佛候ヘシ、コノ身ハ、イマハトシキハマリテ候ヘハ、サタメテサキタチテ往生シ候ハンスレハ、淨土ニテカナラスマチマイラセ候ヘシ、アナカシコ

タツ子オホセラレテ候攝取不捨ノコトハ、般舟三昧行道往生讚ト申ニ、オホセラレテサフアラフヲ、ミマイラセ候ヘハ、釋迦如來、彌陀佛、ワレラカ慈悲ノ父母ニテ、サマノ方便ニテ、ワレラカ無上ノ信心ヲハ、ヒラキオコサセタマフト候ヘハ、マコトノ信心ノサタマルコトハ、釋迦、彌陀ノ御ハカラヒトミエテ候ハ、往生ノ心ニ、

ウタカヒナクナリ候ハ、攝取セラレマイラセタルユヘトミエテ候、攝取ノウエニハ、トモカクモ行者ノハカラヒアルヘカラス候、淨土へ往生スルマテハ不退ノクラキニテオハシマシ候ヘハ、正定聚ノクラキトナツケテオハシマスコトニテ候ナリ、マコトノ信心ヲハ、釋迦如來、彌陀如來二尊ノ御ハカラヒニテ、發起セシメタマヒ候トミエテ候ヘハ、信心ノサタマルトマフスハ、攝取ニアツカルトキニテ候ナリ、ソノチハ正定聚ノクラキニテ、マコトニ淨土ヘムマル、マテハ候ヘシトミエ候ナリ、トモカ

クモ行者ノハカラヒ、チリハカリモアルヘカラス候ヘハコソ、他力トマフス事ニテ候ヘ、アナカシコノ
 十月六日
 眞佛御房 御返事
 親 總御判

コ、ロヘチカヘテ候ヤラン、信心ヨロコフ人ヲ、如來トヒトシト、同行達列ノタマフハ自力ナリ、眞言ニカタヨリタリト申候ナルハ、人ノウヘヲシルヘキニ候ハチトモ申候、マダ眞實信心ウルヒトハ、スナハチ定聚ノカスニイル、不退ノクラキニイリヌレハ、カナラス滅度ヲサトラシムト候、滅度ヲサトラシムト候ハ、コノタヒコノ身ノオハリ候ハントキ、眞實信心ノ行者ノ心、報土ニイタリ候ヒナハ、壽命無量ノ體トシテ光明無量ノ徳用ハナレタマハサレハ、如來ノ心光ニ一味ナリ、コノユヘニ大信心ハ

佛性ナリ、佛性スナハチ如來ナリトオフセラレテ候ヤラン、コレハ十一二三ノ御チカヒトコ、ロエラレ候、罪惡ノワレラカタメニオコシタマヘル大悲ノ御チカヒノ、メテタクアハレミマシマスウレシサ、コノロモオヨハレス、コトハモタエテ申シツクシカタキコト、カキリナク候、无始曠劫ヨリコノカタ、過去遠々ニ恒沙ノ諸佛ノ出世ノミモトニテ、大菩提心ヲオコストイヘトモ、自力カナハテ、二尊ノ御方便ニモヨホサレマイラセテ、雜行雜修、自力疑心ノオモヒナシ、无尊光如來ノ攝取不捨ノ御アハレミ

ノユヘニ、疑心ナクヨロコビマイラセテ、
 一念ニテ往生サタマリテ、誓願不思議トコ
 ハ、ロエ候ヒナンニハキ、ミ候ニ、アカ又淨
 土ノ聖教モ、知識ニアヒマイラセントオモ
 ハンコトモ、攝取不捨モ信モ念佛モ、人ノ
 タメトオホエラレス候、イマ師主ノ御ヲシ
 ヘノユヘ、コ、ロヲヌキテ、御コ、ロムキ
 ヲウカ、ヒ候ニヨリテ、願意ヲサトリ、直
 道ヲモトメエテ、マサシキ眞實報土ニイタ
 リ候ハンコト、コノタヒ一念聞名ニイタル
 マテ、ウレシサ御恩ノイタリニ候、ソノウ
 ヘ彌陀經義集ニ、オロ／＼アキラカニオホ

セラレ候、シカルニ世間ノ恩々ニマキレ
 テ、一時モシハ二時三時オコタルトイヘト
 モ、晝夜ニワスレス、御アハレミヲヨロコ
 フ業力ハカリニテ、行住坐臥ニ、時處ノ不
 淨ヲモキラハス、一向ニ金剛ノ信心ハカリ
 ニテ、佛恩ノフカサ、師主ノ恩徳ノウレシ
 サ、報謝ノタメニ、タ、御名ヲトナフルハ
 カリニテ、日ノ所作トス、コノヤウヒカサ
 マニヤ候ラン、一期ノ大事、タ、コレニス
 キタルハナシ、シカルヘクハ、ヨク／＼コ
 マカニオホセヲカウフリ候ハントテ、ウツ
 カニオモフバカリヲ記シテ申上候、サテ

ハ京ニヒサシク候シニ、ソウ／＼ニノミ候
 ヒテ、コ、ロシツカニオホエス候シコト
 ノ、ナケカレ候ヒテ、ワサトイカニシテモ、
 マカリノホリテコ、ロシツカニ、セメテハ
 五日御所ニサフラハ、ヤト子カヒ候ナリ、
 噫カウマテ申候モ御恩ノチカラナリ
 進上聖人ノ御所へ、蓮位ノ御房申セ給
 へ
 十月十日 慶信上判
 追申上候
 念佛申候人々ノナカニ、南无阿彌陀佛
 トトナヘ候ヒマニハ、无尊光如来トトナ

ヘマイラセサフラフ人モ候、コレヲキ、
 テ、アルヒトノ申シ候フナル、南无阿彌
 陀佛トトナヘテノウヘニ、歸命盡十方無
 尊光如来トトナヘマイラセ候コトハ、オ
 ソレアルコトニテコソアレ、イマメカハ
 シクト申シサフラフナル、コノヤウ、イ
 カ、サフラフヘキ
 タヅ子オホセラレテ候事、カヘス／＼メテ
 タク候、マコトノ信心エタルヒトハ、ステ
 ニ佛ニナリタマフヘキ御身トナリテオハシ
 マスユヘニ、如来ニヒトシキ人ト、經ニト

カレテ候ナリ、彌勒ハイマタ佛ニナリタマ
 ハ子トモ、コノタヒカナラス佛ニナリタマ
 フヘキニヨリテ、彌勒ヲハステニ彌勒佛ト
 申候ナリ、ソノ定ニ眞實信心ヲエタルヒ
 トヲハ、如來トヒトシトオホセラレテ候ナ
 リ、又乗信房ノ彌勒トヒトシト候モ、ヒカ
 コトニテハ候ハ子トモ、他力ニヨリテ信ヲ
 エテヨロコフ心ハ、如來トヒトシト候ヲ、
 自力ナリト候ランハ、イマスコシ乗信房ノ
 御コ、ロノソコノ、ユキツカヌヤウニキハ
 候コソ、ヨク御案アルヘクヤ候ラン、自力
 ノコ、ロニテ、ツカ身ハ如來トヒトシト候

ハンハ、マコトニアシク候ヘシ、他力ノ信
 心ユヘニ、淨信房ノヨロコハセタマヒ候ラ
 シハ、ナニカハ自力ニテ候ヘキヨク
 御ハカラヒ候ヘシ、コノヤウハ、コノ人々
 ニクハシク申候、乗信御房ニトヒマイ
 ラセサセタマフヘクサフラフ、穴賢々々
 十月廿七日
 南无阿彌陀佛ヲトナヘテノウヘニ、无導
 光如來ヲマフスハ、アシキコトナリト候
 ナルコソ、キハマレルヒカコト、キコエ
 候ヘ、歸命ハ南无ナリ、无導光佛ハ光明
 ナリ、智慧ナリ、コノ智慧ハスナハチ阿

親鸞

彌陀佛ナリ、阿彌陀佛ノ御カタチヲシラ
 セタマハ子ハ、ソノ御カタチヲタシカ
 ニシラセマイラセントテ、世親菩薩
 御チカラヲツクシテアラハシタマヘルナ
 リ、コノホカノコトハ少々文字ヲナラシ
 テマイラセサフラフナリ

慶信御房御返事

親鸞

ラレ候ナルコソ、カヘスアルヘクモ候
 ハス、北ノ郡ニアリシ善乗房トイヒシモノ
 ニ、ツギニアヒムツル、コトナクテヤミニ
 シヲハ、ミサリケルニヤ、凡夫ナレハト
 テ、ナニコトモ、オモフサマナラハ、ヌス
 ミヲモシ、人ヲモコロシナントスヘキカ
 ハ、モトヌスミコ、ロアラン人モ、極樂ヲ
 子カヒ、念佛ヲマフスホトノコトニナリナ
 ハ、モトヒカウタルコ、ロヲモ、オモヒナ
 ヲシテコソアルヘキニ、ソノシルシモナカ
 ラン人々ニ、悪クルシカラストイフコト、
 ユメアルヘカラス候、煩惱ニクルハサ

レテ、オモハサルホカニ、スマシキコトヲ
 モフルマヒ、イフマシキコトヲモイヒ、オ
 モフマジキコトヲモオモフニテコソアレ、
 サハラヌコトナレハトテ、ヒトノタメニモ
 ハラワロクスマシキコトヲモシ、イフマシ
 キコトヲモイハ、ホムナリ煩惱ニクルハサレタル
 儀ニバアラテ、ワサトスマシキコトヲモセ
 ハ、返々アルマシキコトナリ、鹿島ナメカ
 タノ人々ノ、アシカラシキコトヲモイヒト、
 メ、ソノ邊ノ人々ノコトニヒカミタルコト
 ヲハ、制シタマハ、コソ、コノ邊ヨリ出来
 シルシニテハ候ハメ、フルマヒハ、ナニト

モコ、ロニマカセヨトイヒツルト候ラン、
 アサマシキコトニ候、コノ世ノワロキヲモ
 ステ、アサマシキコトヲモセサランコソ、
 世ヲイトヒ、念佛マフスコトニテハ候へ、
 トシコロ念佛スル人ナントノ、人ノタメニ
 アシキコトヲモシ、マタイヒモセハ、世ヲ
 イトフシルシモノナシ、サレハ善導ノ御ヲシ
 ヘニハ、悪ヲコノム人ヲハ、ツ、シンテト
 ヲサカレトコソ、至誠心ノナカニハヲシヘ
 オカセオハシマシテ候へ、イツカワカコ、
 ロノワロキニマカセテフルマヘトハ候、オ
 ホカタ經釋ヲモシラス、如來ノ御コトヲモ

シラヌ身ニ、ユメノソノ沙汰アルヘクモ
 候ハス、アナカシコ
 十一月廿四日
 親鸞

ント候へハ、ソノトキ申候へシ、穴賢
 錢貳拾貫文慥給候穴賢々々
 十一月廿五日
 親鸞

他力ノナカニハ、自力トマフスコトハサフ
 ラフトキ、候ヒキ、他力ノナカニマタ他力
 トマフスコトハキ、候ハス、他力ノナカニ
 自力トマフスコトハ、サフキヤウサフシユ雜行雜修、チヤウシムチム定心念
 佛ヲコ、ロカケラレテ候人々ハ、他力ノナ
 カノ自力ノヒトノナリ、他力ノナカニマ
 タ他力トマフスコトハ、ウケタマハリ候ハ
 ス、ナニコトモ專信房ノシハラクモキタラ

御タツ子候コトハ、彌陀他力ノ廻向ノ誓願
 ニアヒタテマツリテ、直實ノ信心ヲタマハ
 リテ、ヨロコフ心ノサタマルトキ、攝取シ
 テステラレマイラセサルユヘニ、金剛心ニ
 ナルトキヲ正定聚ノクラキニ住ストモマフ
 ス、彌勒菩薩トオナシクラキニナルトモ、
 トカレテ候メリ、彌勒トヒトツクラキニナ

ルユヘニ、信心マコトナル人ヲハ、佛トヒ
 トシトモマフス、マタ諸佛ノ眞實信心ヲエ
 テヨロコブヲハ、マコトニヨロコヒテ、ワ
 レトヒトシキモノナリト、トカセタマヒテ
 候ナリ、大經ニハ釋尊ノミコトハニ、見敬
 得大慶則我善親友トヨロコハセタマヒ候へ
 ハ、信心ヲエタル人ハ、諸佛トヒトシトト
 カレテ候メリ、マタ彌勒ヲハ、ステニ佛ニ
 ナラセタマハンコトアルヘキニナラセタマ
 ヒテ候へハトテ、彌勒佛トマフスナリ、シ
 カレハステニ他力ノ信ヲエタルヒトヲモ、
 佛トヒトシトマフスヘシトミエタリ、御ウ

タカヒアルヘカラス候、御同行ノ臨終ヲ期
 シテト、オホセラレ候ランハ、チカラオヨ
 ハヌコトナリ、信心マコトニナラセタマヒ
 テ候人ハ、誓願ノ利益ニテ候ウヘニ、攝取
 シテステスト候へハ、來迎臨終ヲ期セサセ
 タマフヘカラストコソオホエ候へ、イマタ
 信心サタマラス人ハ、臨終ヲモ期シ、來迎
 ヲモマタセタマフヘシ、コノ御文主ノ御名
 ハ、隨信房トオホセラレ候ハ、メテタク
 サフラフヘシ、コノ御フミノカキヤウ、メ
 テタク候、御同行ノオホセラレヤウハ、コ
 ヲ、ロエス候、ソレヲハ、チガラオヨハス

候、アナカシコ
 十一月廿六日

親戀

隨信御房

御文度々マイラセ候キ、御覽セヌヤ候ヒケ
 ン、何事ヨリモ明法ノ御房ノ、往生ノ本意
 トケテオハシマシ候コソ、常陸國ウチノ、
 コレニコ、ロサシオハシマス人々ノ御タメ
 ニ、メテタキコトニテ候へ、往生ハトモカ
 クモ凡夫ノハカラヒニテスヘキコトニテモ
 候ハス、メテタキ知者モハカラスヘキコト
 ニモ候ハス、大小ノ聖人々ニモ、トモカク

モハカラハテ、タ、願力ニマカセテコソ、
 オハシマスコトニテ候へ、マシテヲノ
 ノヤウニオハシマス人々ハ、タ、コノチカ
 ヒアリトキ、南无阿彌陀佛ニアヒマイラ
 セタマフコソ、アリカタクメテタクサフラ
 フ御果報ニテハ候ナレ、トカクハカラハセ
 タマフコト、ユノ、候ヘカラス、サキニ下
 シマイラセ候ヒシ唯信鈔、自力他力ナント
 ノ文ニテ御覽候へシ、ソレコソ、コノ世ニ
 トリテハ、ヨキ人々ニテオハシマス、ステ
 ニ往生ヲモシテオハシマス人々ニテ候へ
 ハ、ソノ文トモニカ、レテ候ニハ、ナニコ

トモく、スグヘクモ候ハス、法然聖人ノ御
 フシヘヲ、ヨクく御コ、ロエタル人々ニ
 テオハシマスニ候キ、サレハコソ往生モ、
 メテタクシテオハシ候ヘ、オホカタハ年比
 念佛マヲシアヒタマフ人々ノナカニモ、ヒ
 トヘニワカオモフサマナルコトヲノミ申ア
 ハレテ候人々モサフラヒキ、イマモサソ候
 ラントオホエ候、明法房ナトノ往生シテホ
 ハシマスモ、モトハ不可思議ノヒカコト
 ヲ、オモヒナントシタルコ、ロヲモ、ヒル
 カヘシナントシテコソ候シカ、ワレ往生ス
 ヘケレハトテ、スマシキコトヲモシ、オモ

フマシキコトヲモオモヒ、イフマシキコト
 ヲモイヒナトスルコトハ、アルヘクモ候ハ
 ス、食欲ノ煩惱ニクルハサレテ、欲モオコ
 リ、瞋恚ノ煩惱ニクルハサレテ、子タムヘ
 クモナキ因果ヲヤフルコ、ロモオコリ、愚
 癡ノ煩惱ニマトハサレテ、オモフマシキコ
 トナトモ、オコルコトニテコソ候ヘ、メテダ
 キ佛ノ御チカヒノアレハトテ、ワサトスマ
 シキコト、モヲモシ、オモフマシキコトト
 モヲモオモヒナントセンハ、ヨクくコノ
 世ノイトハシカラス、身ノワロキコトヲオ
 モヒシラヌニテ候ヘハ、念佛ニコ、ロサシ

モナク、佛ノ御チカヒニモ、コ、ロサシノ
 オハシマサヌニテ候ヘハ、念佛セサセタマ
 フトモ、ソノ御コ、ロサシニテハ、順次ノ
 往生モカタクヤ候ヘカラン、ヨクくコノ
 ヲシヲ人々ニキカセマイラセサセタマフヘ
 ク候、カヤウニモ申ヘクモ候ハテトモ、ナ
 ニトナクコノ邊ノコトヲ、御コ、ロニカケ
 アハセタマフ人々ニテオハシマシアヒテ候
 ヘハ、カクモ申シ候ナリ、コノ世ノ念佛ノ
 義ハ、ヤウくニカハリアフテ候ヒヌレハ、
 トカク申ニオヨハス候ヘトモ、故聖人ノ御
 フシヘヲ、ヨクくウケタマハリテオハシ

マス人々ハ、イマモトノヤウニ、カハラ
 セタマフコト候ハス、世カクレナキコトナ
 レハ、キカセタマヒアフテ候ラン、浄土宗
 ノ義、ミナカハリテオハシマシアフテ候
 人々モ、聖人ノ御弟子ニテ候ヘトモ、ヤウ
 くニ義ヲイヒカヘナトシテ、身モマト
 ヒ、人ヲモマトハカシアフテ候メリ、アザ
 マシキコトニテ候ナリ、京ニモオホクマト
 ヒアフテ候メリ、田舎ハサコソ候ラメ、コ
 、ロニクモ候ハス、ナニコトモ申シツク
 シカタク候、又々申候ヘシ、コノ明教房
 ノ、ノホラレテ候コト、マコトニアリカタ

キコト、オホエ候、明法御房ノ御往生ノコトヲ、マノアタリキ、候モウレシク候、人々ノ御コ、ロサシモ、アリカタクオホエ候、カタ、コノ人々ノホリ不思議ノコトニ候、コノ文ヲタレ、ニモ、オナシコ、ロニヨミキカセタマフヘク候、コノフミハ奥郡ニオハシマス同朋ノ御中ニ、ミナオナシク御覽候ヘシ、穴賢々々、年比念佛シテ往生ヲチカフシルシニハ、モトアシカリシワカコ、ロヲモ、オモヒカヘシテ、トモ同朋ニモ、子シコロニコ、ロノオハシマシアハ、コソ、世ヲイトフシルシニテモ候ハメト

コソオホエ候ヘ、ヨク、御コ、ロエ候ヘシ、善知識ヲヲロカニオモヒ、師ヲソシルモノヲハ澆法ノモノト申ナリ、親ヲソシルモノヲハ五逆ノモノト申ナリ、同座セサレト候ナリ、サレハ北ノ郡ニ候シ善乗房ハ、親ヲソシリ、善信ヲヤウ、ニソシリ候シカハ、チカツキムツマシクオモヒ候ハテ、チカツケス候キ、明法御房ノ往生ノコトヲキ、ナカラ、アトヲヲロカニセシ人々ハ、ソノ同朋ニアラス候ヘシ、无明ノ酒ニ酔タ人ニ、イヨ、エヒラス、メ、三毒ヲヒサシクコノミクララ人ニ、イヨ、毒ヲユ

ルシテコノメト申シアフテ候ラン、不便ノコトニ候、无明ノ酒ニ酔タルコトヲカナシミ、三毒ヲコノミタフテ、イマタ毒モウセハテス、无明ノエヒモ、イマタサメヤラヌニオハシマシアフテ候ソカシ、ヨク、御コ、ロエ候ヘシ、方々ヨリノ御コ、ロサシノ物トモ、カスノマ、ニタシカニタマハリ候、明教房ノノホラレテ候コト、アリカタキコトニ候、カタ、ノ御コ、ロサシ、申シツクシカタク候、明法御房ノ往生ノコト、オトロキマフスヘキニハアラ子トモ、返々ウレシク候、鹿島ナメカタノ奥郡、カ

ヤウノ往生子カハセタマフ人々ノ、ミナノ御ヨロコビニテ候、又ヒラツカノ入道殿ノ御往生ノコトキ、候コソ、返々申ニ、カキリナクオホエ候ヘ、メテタサ申ツクスヘクモ候ハス、ヲノ、ミナ往生ハ一定トオホシメスヘシ、サリナカラモ往生ヲチカハセタマフ人々ノ御中ニモ、御コ、ロエヌコトモ候キ、イマモサコソ候ラメトオホエ候、京ニモ、コ、ロエヌシテ、ヤウ、ニマトヒアフテ候メリ、國々ニモオホクキコエ候、法然聖人ノ御弟子ノナカニモ、ワレハユ、シキ學生ナト、オモヒアヒタル人

々モ、コノ世ニハ、ミナヤウノニ法文ヲ
 イヒカヘテ、身モマトヒ、人ヲモマトハシ
 テ、ワツラヒアフテ候メリ、聖教ノヲシヘ
 ヲモミスシラヌヲノノヤウニオハシマ
 スヒトノハ、往生ニサハリナシトハカリ
 イフヲキ、テ、アシサマニ御コ、ロエアル
 コトオホク候キ、イママサコソ候ラメトオ
 ホエ候、淨土ノ教モシラヌ信見房ナトカ申
 コトニヨリテ、ヒカサマニイヨノナリア
 ハヒタマヒ候ランヲ、キ、候コソアサマシ
 ク候ヘ、マツヲノノ昔ハ、彌陀ノチカ
 ヒヲモシラス、阿彌陀佛ヲモマフサスオハ

シマシ候シカ、釋迦、彌陀ノ御方便ニモヨ
 ホサレテ、イマ彌陀ノチカヒヲキ、ハシメ
 テオハシマス身ニテ候ナリ、モトハ无明ノ
 酒ニエヒテ、貪欲、瞋恚、愚癡ノ三毒ヲノ
 ミ、コノミメシアフテ候ツルニ、佛ノチカ
 ヒヲキ、ハシメシヨリ、无明ノエヒモ、ヤ
 ウノスコシツ、サメ、三毒ヲモ、スコシ
 ツ、コノマスシテ、阿彌陀佛ノクスリヲ、
 ツ子ニコノミメス身トナリテオハシマシア
 フテ候ソカシ、シカルニナヲ、エヒモサメ
 ヤラヌニ、カサチテ醉ヲス、メ、毒モキエ
 ヤラヌニ、ナラ毒ヲス、メラレ候ランコソ、

アサマシク候ヘ、煩惱具足ノ身ナレハト
 テ、コノロニマカセテ、ミニモスマシキコ
 トヲモユルシ、クチニモイフマシキコトヲ
 モユルシ、コノロニモオモフマシキコトヲ
 モユルシテ、イカニモコノノマ、ニテア
 ルヘシト、マフシアフテ候ランコソ返々不
 便ニオホエ候ヘ、エヒモサメヌサキニ、ナ
 ヲ酒ヲス、メ、毒モキエヤラヌニ、イヨノ
 毒ヲス、メンカコトシ、クスリアリ、毒ヲ
 コノメト候ランコトハ、アルヘクモサフラ
 ハストコソオホエ候、佛ノ御名ヲモキ、
 念佛ヲ申シテ、ヒサシクナリテオハシマサ

ン人々ハ、後世ノアシキコトヲ、イトフシ
 ルシ、コノ身ノアシキコトヲハ、イトビス
 テントオホシメスシルシモ候ヘシトコソオ
 ホエ候ヘ、ハシメテ佛ノチカヒヲキ、ハシ
 ムル人々ノ、ワカ身ノワロク、コノノワ
 ロキヲ、オモヒシリテ、コノ身ノヤウニテ
 ハ、ナンソ往生センスルトイフ人ニコソ、
 煩惱具足シタル身ナレハ、ワカコノノ善
 悪ヲハサタセス、ムガヘタマフソトハ申
 候ヘ、カクキ、テノチ佛ヲ信セントオモフ
 コノ、ロノフカクナリヌルニハ、マコトニコ
 ノ身ヲモイトヒ、流轉センコトモカナシミ

テ、フカクチカヒヲモ信シ、阿彌陀佛ヲモ
 コノミマフシナントスル人ハ、モトモコ、
 ロノマ、ニテ惡事ヲモフルマヒナントセシ
 トオホシメシアハセタマハ、コソ、世ヲイ
 トフシルシニテモ候ハメ、マタ往生ノ信心
 ハ釋迦彌陀ノ御ス、メニヨリテ、オコルト
 コソミエテ候ヘハ、サリトモマコトノココ
 ロオコラセタマヒナンニハ、イカ、ムカ
 シノ御コ、ロノマ、ニテハ候ヘキ、コノ御
 中ノ人々モ、少々ハアシキサマナルコトノ
 キコエ候メリ、師ヲソシリ、善知識ヲカロ
 シメ、同行ヲモアナツリナントシアハセタ

マフヨシキ、候コソ、アサマシク候ヘ、ス
 テニ謗法ノヒトナリ、五逆ノヒトナリ、ナ
 レムツフヘカラス、淨土論ト申文ニハ、カ
 ヤウノ人ハ、佛法信スルコ、ロノナキヨ
 リ、コノコ、ロハオコルナリト候メリ、マ
 タ至誠心ノナカニハ、カヤウニ惡ヲコノマ
 ンニハ、ツ、シミテトヲサカレ、チカツク
 ヘカラストコソトカレテ候ヘ、善知識、同
 行ニハ、シタシミチカツケトコソトキヲカ
 レテ候ヘ、惡ヲコノム人ニモチカツキナン
 トスルコトハ、淨土ニマイリテノチ、衆生
 利益ニカヘリテコソ、サヤウノ罪人ニモ、

シタシミチカツクコトハ候ヘ、ソレモワカ
 ハカラヒニハアラス、彌陀ノチカヒニヨリ
 テ、御タスケニテコソ、オモフサマノフル
 マヒモ候ハンスレ、當時ハコノ身トモノヤ
 ウニテハ、イカ、候ヘカルラントオホエ
 候、ヨク、案セサセタマフヘクサフラ
 フ、往生ノ金剛心ノオコルコトハ、佛ノ御
 ハカラヒヨリオコリテ候ヘハ、金剛心ヲト
 リテ候ハン人ハ、ヨモ師ヲソシリ、善知識
 ヲアナツリナントスルコトハ候ハシトコソ
 オホエ候ヘ、コノ文ヲモテ、カシマ、ナメカ
 タノ南ノ莊、イツカタモ、コレニコ、ロサ

シオハシマサン人ニハ、オナシ御コ、ロニ、
 ヨミキカセタマフヘク候、穴賢々々
 建長四年二月廿四日
 安樂淨土ニイリハツレハ、スナハチ大涅槃
 ヲサトルトモ、マタ无上覺ヲサトルトモ、
 滅度ニイタルトモマフセハ、御名コソカハ
 リタルヤウナレトモ、コレミナ法身ト申佛
 ノ、サトリヲヒラクヘキ正因ニ、彌陀佛ノ
 御チカヒヲ、法藏菩薩ワレラニ廻向シタマ
 ヘルヲ、往相ノ廻向トマフスナリ、コノ廻
 向セサセタマヘル願ヲ念佛往生ノ願トハ

申ナリ、コノ念佛往生ノ願ヲ一向ニ信シテ、フタコ、ロナキヲ一向專修トハ申ナリ、如來二種ノ迴向トマフスコトハ、コノ二種ノ迴向ノ願ヲ信シ、フタコ、ロナキヲ眞實ノ信心トマフス、コノ眞實ノ信心ノオコルコトハ、釋迦、彌陀ノ二尊ノ御ハカラヒヨリオコリタリトシラセタマフヘシ、穴賢々々

寶號經ニノタマハク、彌陀ノ本願ハ行ニアラス、善ニアラス、タ、佛名ヲタモツナリ、名號ハコレ善ナリ、行ナリ、行トイフハ善ヲスルニツイテイフコトハナリ、本願

ハモトヨリ佛ノ御約束トコ、ロエヌルニハ、善ニアラス、行ニアラサルナリ、カルカユヘニ他力トマフスナリ、本願ノ名號ハ能生スル因ナリ、能生ノ因トイフハ、スナハチコレ父ナリ、大悲ノ光明ハコレ所生ノ縁ナリ、所生ノ縁トイフハ、スナハチコレ母ナリ

末燈鈔

歎異鈔

歎異鈔

竊廻ニ愚案ニ粗勘ニ古今ニ歎異ニ先師口傳之
 眞信ニ思有ニ後學相續之疑惑ニ幸不レ依ニ有
 緣知識ニ者爭得入ニ易行ニ門ニ哉全以ニ自見
 之覺悟ニ莫レ亂ニ他力宗旨ニ仍親鸞聖人御物
 語之趣所レ留ニ耳底ニ聊註レ之偏爲レ散ニ同心
 行者之不審ニ也云

一彌陀ノ誓願不思議ニタスケラレマイラセ
 テ、往生ヲハトクルナリト信シテ、念佛
 マウサント、オモヒタツコ、ロノオコル
 トキ、スナハチ攝取不捨ノ利益ニアツケ
 シメタマフナリ、彌陀ノ本願ニハ老少善

歎異鈔

惡ノヒトヲエラハス、タ、信心ヲ要トス
 トシルヘシ、ソノユヘハ罪惡深重、煩惱
 熾盛ノ衆生ヲ、タスケンカタメノ願ニテ
 マシマス、シカレハ本願ヲ信センニハ他
 ノ善モ要ニアラス、念佛ニマサルヘキ善
 ナキユヘニ、惡ヲモオソルヘカラス、彌
 陀ノ本願ヲサマタクルホトノ惡ナキカユ
 ヘニト云々

一各々十餘箇國ノサカヒヲゴエテ、身命ヲ
 カヘリミスシテ、タツ子キタラシメタマ
 フ御コ、ロサシ、ヒトヘニ往生極樂ノミ
 チヲ、トヒキカンカタメナリ、シカルニ

六二一

念佛ヨリホカニ往生ノミチヲモ存知シ、
 マタ法文等ヲモシリタラント、コ、ロニ
 ク、オホシメシオハシマシテハンヘラン
 ハ、オホキナルアヤマリナリ、モシシカ
 ラハ、南都北嶺ニモ、ユ、シキ學生タチ
 オホク座セラレサフナレハ、カノヒ
 トニモアヒタテマツリテ、往生ノ要ヨク
 キカルハキナリ、親鸞ニオキテハ、
 念佛シテ彌陀ニタスケラレマイラス
 ヘシト、ヨキヒトノオホセラカウフリテ、
 信スルホカニ、別ノ子細ナキナリ、念佛
 ハ、マコトニ淨土ニムマル、タテニテヤ

ハンヘルラン、マタ地獄ニオツル業ニテ
 ヤハンヘルラン、總シテモテ存知セサル
 ナリ、タトヒ法然上人ニスカサレマイラ
 セテ、念佛シテ地獄ニオチタリトモ、サ
 ラニ後悔スヘカラスサフナレ、ソノユヘ
 ハ、自餘ノ行モハケミテ、佛ニナルヘカ
 リケル身カ、念佛ヲマウシテ地獄ニオチ
 テサフナレハ、コソ、スカサレタテマツリ
 テトイフ後悔モサフナレハ、イツレノ行
 モオヨヒカタキ身ナレハ、トテモ地獄ハ
 一定スミカソカシ、彌陀ノ本願マコトニ
 オハシマサハ、釋尊ノ説教虚言ナルヘカ

ラス、佛説マコトニオハシマサハ、善導
 ノ御釋虚言シタマフヘカラス、善導ノ御
 釋マコトナラハ、法然ノオホセソラコト
 ナランヤ、法然ノオホセマコトナラハ、
 親鸞カマウスムネ、マタモテ、ムナシカ
 ルヘカラスサフナレ歟、詮スルトコロ、
 愚身カ信心ニヲキテハカクノコトシ、コ
 ノウヘハ念佛ヲトリテ信シタテマツラン
 トモ、マタステントモ面々ノ御ハカラヒ
 ナリト云々
 一善人ナヲモテ往生ヲトク、イハンヤ惡人
 ナヤ、シカルヲ世ノヒト、ツネニイハク、

惡人ナヲ往生ス、イカニイハンヤ善人ヲ
 ヤ、コノ條一旦ソノイハレアルニニタレ
 トモ、本願他力ノ意趣ニシムケリ、ソノユ
 ヘハ自力作善ノヒトハ、ヒトヘニ他力ヲ
 タノムコ、ロカケタルアヒタ、彌陀ノ本
 願ニアラス、シカレトモ自力ノコ、ロラ
 ヒルカヘシテ、他方ヲタノミタテマツレ
 ハ、眞實報土ノ往生ヲトクルナリ、煩惱
 具足ノワレラハ、イツレノ行ニテモ、生
 死ヲハナル、コトアルヘカラサルヲ、ア
 ハレミタマヒテ、願ヲオコシタマフ本意、
 惡人成佛ノタメナレハ、他力ヲタノミタ

テマツル悪人、モトモ往生ノ正因ナリ、ヨテ善人タニコソ往生スレ、マシテ悪人ハトオホセサフラヒキ

一慈悲ニ聖道浄土ノカハリメアリ、聖道ノ慈悲トイフハ、モノヲアハレミカナシミ、ハク、ムナリ、シカレトモ、オモフカコトク、タスケトクルコト、キハメテアリカタシ、浄土ノ慈悲トイフハ、念佛シテ、イソキ佛ニナリテ、大慈大悲心ヲモテ、オモフカコトク衆生ヲ利益スルライフヘキナリ、今生ニイカニイトラシ、不便トオモフトモ、存知ゴトク、タスケカタ

ケレハ、コノ慈悲始終ナシ、シカレハ念佛マウスノミソ、スエトヲリタル大慈悲心ニテサフラフヘキト云々

一親鸞ハ父母ノ孝養ノタメトテ、念佛一返ニテモマウシタルコト、イマタサフラハス、ソノユヘハ、一切ノ有情ハミナモテ世々生々ノ父母兄弟ナリ、イツレモ、コノ順次生ニ佛ニナリテ、タスケサフラフヘキナリ、ワカチカラニテ、ハケム善ニテモサフラハ、コソ、念佛ヲ廻向シテ、父母ヲモタスケサフラハメ、タ、自力ヲステ、イソキ浄土ノサトリヲヒラキナ

ハ、六道四生ノアヒタ、イツレノ業苦ニシツメリトモ、神通方便ヲモテ、マツ有縁ヲ度スヘキナリト云々

一専修念佛ノトモカラノ、ワカ弟子、ヒトノ弟子トイフ相論ノサフラフランコト、モテシホカノ子細ナリ、親鸞ハ弟子一人モ、モタスサフラフ、ソノユヘハ、ワカハカラヒニテヒトニ念佛ヲマウサセサフラハ、ヨソ、弟子ニテモサフラハメ、ヒトヘニ彌陀ノ御モヨホシニアツカリテ、念佛マウシサフラフビトヲ、ワカ弟子トマウスコト、キハメタル荒涼ノコトナ

リ、ツクヘキ縁アレハトモナヒ、ハナルヘキ縁アレハハナル、コトノアルヲモ、師ヲソムキテ、ヒトニツレテ念佛スレハ往生スヘカラサルモノナリナントイフコト不可説ナリ、如来ヨリタマハリタル信心ヲ、ワカモノカホニ、トリカヘサント

マウスニヤ、カヘス、モアルヘカラサルコトナリ、自然ノコトハリニアヒカナハ、佛恩ヲモシリ、マタ師ノ恩ヲモシルヘキナリト云々

地祇^{チキ}モ敬伏^{キヤウフツク}シ、魔界^{マカイ}外道^{ゲダウ}モ障導^{シヤウダウ}スルコト
ナシ、罪惡^{サイアク}モ業報^{ゴフホウ}モ感スルコトアタハス、
諸善^{シヨセン}モオヨフコトナキエヘニ、无尊^{ムケン}ノ一
道^{ダウ}ナリト云々^{ウンク}

一念^{ニツムフチ}佛^{キヤウシヤ}ハ行者^{キヤウシヤ}ノタメニ非行^{ヒキヤウヒセン}非善^{ヒキヤウ}ナリ、ワカ
ハカラヒニテ行スルニアラサレハ非行^{ヒキヤウ}ト
イフ、ワカハカラヒニテツクル善^{セン}ニモア
ラサレハ非善^{ヒキヤウ}トイフ、ヒトヘニ他力^{タリキ}ニシ
テ自力^{ジリキ}ヲハナレタルエヘニ、行者^{キヤウシヤ}ノタメ
ニハ非行^{ヒキヤウヒセン}非善^{ヒキヤウ}ナリト云々^{ウンク}
一念^{ニツムフチ}佛^{キヤウシヤ}マウシサフラヘトモ、踊躍^{ユウダク}歡喜^{クワンシ}ノコ
、ロヲロソカニサフラフコト、マタイソ

キ淨土^{シヤウト}ヘマイリタキコ、ロノサフラハヌ
ハ、イカニトサフラフヘキコトニテサフ
ラフヤラント、マウシイレテサフラヒシ
カハ、親鸞^{シンラン}モコノ不審^{フシン}アリツルニ、唯圓^{ユイエン}坊^{ハク}
オナシコ、ロニテアリケリ、ヨク々^{クク}案^{アン}
シミレハ、天^{テン}ニオトリ、地^チニオトルホト
ニヨロコフヘキコトヲヨロコハヌニテ、
イヨ々^{クク}往生^{ワウシヤウ}ハ一定^{キチヤウ}トオモヒタマフヘキ
ナリ、ヨロコフヘキコ、ロヲオサヘテ、
ヨロコハセサルハ煩惱^{ホムナウ}ノ所爲^{シヨホ}ナリ、シカ
ルニ佛^{ブツ}カチテシロシメシテ、煩惱^{ホムナウ}具足^{クソク}ノ
凡夫^{ホムフ}トオホセラレタルコトナレハ、他力^{タリキ}

ノ悲願^{ヒクワン}ハ、カクノコトキノワレラカタメ
ナリケリトシラレテ、イヨ々^{クク}タノモシ
クオホユルナリ、マタ淨土^{シヤウト}ヘイソキマイ
リタキコ、ロノナクテ、イサ、カ所勞^{シヨラウ}
コトモアレハ、死^シナンスルヤラント、コ
、ロホソクオホユルコトモ煩惱^{ホムナウ}ノ所爲^{シヨホ}ナ
リ、久遠^{クオン}劫^{クワツ}ヨリイママテ流轉^{ルアン}セル苦惱^{クナウ}ノ
舊里^{キウリ}ハステカタク、イマタムマレサル安^{アン}
養^{ヤウ}ノ淨土^{シヤウト}ハ、コヒシカラスサフラフコト、
マコトニヨク々^{クク}煩惱^{ホムナウ}ノ興盛^{コウセイ}ニサフラフ
ニコソ、ナコリオシクオモヘトモ、娑婆^{シヤハ}
ノ縁^{エン}ツキテ、チカラナクシテヲハルトキ

ニ、カノ土^ツヘハマイルヘキナリ、イソキ
マイリタキコ、ロナキモノヲ、コトニア
ハレミタマフナリ、コレニツケテコソ、
イヨ々^{クク}大悲^{ダイヒ}大願^{ダイガン}ハタノモシク、往生^{ワウシヤウ}
決定^{ケツヂ}ト存知^{ソウチ}サフラヘ、踊躍^{ユウダク}歡喜^{クワンシ}ノコ、ロ
モアリ、イソキ淨土^{シヤウト}ヘマイリタクサフラ
ハンニハ、惱煩^{ホムナウ}ノナキヤラントアヤシク
サフラヒナマシト云々^{ウンク}
一念^{ニツムフチ}佛^{キヤウシヤ}ニハ无義^{ムギ}ヲモテ義^ギトス、不可^{フカ}稱^{シヨウ}、不
可^カ説^{セツ}、不可^{フカ}思議^{シギ}ノエヘニトオホセサフラ
ヒキ、ソモ々^{クク}カノ御在生^{コウジンシヤウ}ノムカシ、オ
ナシコ、ロサシニシテ、アユミヲ遼遠^{リョエン}ノ

洛陽ニハケマシ、信ヲヒトツニシテ、心
 フ當來ノ報土ニカケシトモカラハ、同時
 ニ御意趣ヲウケタマハリシカトモ、ソノ
 ヒトトモナヒテ、念佛マウスアル、
 老若、ソノカスヲシラスオハシマスナカ
 ニ、上人ノオホセニアラサル異義トモヲ、
 近來ハオホクオホセラレアフテサフアラフ
 ヨシ、ツタヘウケタマハル、イハレナキ
 條々ノ子細ノコト
 一、一文不通ノトモカラノ念佛マウスニアフ
 テ、ナンチハ誓願不思議ヲ信シテ、念佛
 マウスカ、マタ名號不思議ヲ信スルカト、

イヒオトロカシテ、フタツノ不思議ノ子
 細ヲモ分明ニイヒヒラカスシテ、人ノコ
 、ロヲマトハスコト、コノ條カヘスカヘ
 スモコ、ロヲト、メテ、オモヒワクヘキ
 コトナリ、誓願ノ不思議ニヨリテ、ヤスク
 タモチトナヘ、ヤスキ名號ヲ案シイタシ
 タマヒテ、コノ名字ヲトナヘンモノヲム
 カヘトラント御約束アルコトナレハ、マ
 ツ彌陀ノ大悲大願ノ不思議ニタスケラレ
 マイラセテ、生死ヲイツヘント信シテ念
 佛マウスアル、モ、如來ノ御ハカラヒナリ
 トオモヘハ、スコシモミツカラノハカラ

ヒ、マシハラサルカユヘニ、本願ニ相應
 シテ實報土ニ往生スルナリ、コレハ誓願
 ノ不思議ヲ信シタテマツレハ、名號ノ不
 思議モ具足シテ、誓願名號ノ不思議ヒト
 ツニシテ、サラニコトナルコトナキナリ、
 ツキニ、ミツカラノハカラヒヲ、サシハ
 サミテ、善惡ノフタツニツキテ、往生ノ
 タスケサハリ二様ニオモフハ、誓願ノ不
 思議ヲハタノマスシテ、ワカコ、ロニ往
 生ノ業ヲハケミテマウスニコロノ念佛ヲ
 モ、自行ニナスナリ、コノヒトハ名號ノ
 不思議ヲモマタ信セサルナリ、信セサレ

トモ邊地懈慢疑城胎宮ニモ往生シテ、果
 遂ノ願ノユヘニ、ツキニ報土ニ生スルハ
 名號不思議ノチカラナリ、コレスナハチ
 誓願不思議ノユヘナレハ、タ、ヒトツナ
 ルヘシ
 一、經釋ヲヨミ、學セサルトモカラ、往生不
 定ノヨシノコト、コノ條スコフル不足言
 ノ義トイヒツヘシ、他力眞實ノムチヲア
 カセルモロノノ聖教ハ、本願ヲ信シ、
 念佛ヲマウスハ、佛ニナル、ソノホカナ
 ニノ學問カハ往生ノ要ナルヘキヤ、マコ
 トニコノコトハリニマヨヒハンヘランヒ

トハ、イカニモ、學問シテ、本願ノム
 ナリトイフホトニ、法澈モイテキタリ謗
 ナリ、ソノ宗アサシ、イヤシトイフトモ、
 サラニアラソハスシテ、ワレラカコトク
 下根ノ凡夫、一文不通ノモノモ、信スレ
 ハ、タスカルヨシウケタマハリテ信シサ
 フラヘハ、サラニ上根ノヒトノタメニハ
 イヤシクトモ、ワレラカタメニハ最上ノ
 法ニテマシマス、タトヒ自餘ノ教法ハス

トハ、イカニモ、學問シテ、本願ノム
 ナリトイフホトニ、法澈モイテキタリ謗
 ナリ、ソノ宗アサシ、イヤシトイフトモ、
 サラニアラソハスシテ、ワレラカコトク
 下根ノ凡夫、一文不通ノモノモ、信スレ
 ハ、タスカルヨシウケタマハリテ信シサ
 フラヘハ、サラニ上根ノヒトノタメニハ
 イヤシクトモ、ワレラカタメニハ最上ノ
 法ニテマシマス、タトヒ自餘ノ教法ハス

クレタリトモ、ミツカラカタメニハ器量
 オヨハサレハ、ツトメカタシ、ワレモヒト
 モ生死ヲハナレンコトコソ、諸佛ノ本意
 ニテオハシマセハ、御サマタゲアルヘカ
 ラストテ、ニクヒ氣セスハ、タレノヒト
 カアリテ、アタヲスヘキヤ、カツハ諍論
 ノトコロニハモロ、ノ煩惱オコル、智
 者遠離スヘキヨシノ證文サフラフニコ
 ソ、故聖人ノオホセニハ、コノ法ヲハ信
 スル衆生モアリ、ソシル衆生モアルヘシ
 ト、佛トキヲカセタマヒタルコトナレハ、
 ワレラハステニ信シタテマツル、マダヒ

トアリテソシルニテ、佛説マコトナリケ
 リトシラレサフラフ、シカレハ往生ハイ
 ヨ、一定トオモヒタマフヘキナリ、ア
 ヤマテソシルヒトノサフラハサランニコ
 ソ、イカニ信スルヒトハアレトモ、ソシ
 ルヒトノナキヤラントモ、オホエサフ
 ラビヌヘケレハ、カクマウセハトテ、カナ
 ラスヒトニソシラレントニハアラス、佛
 ノカ子テ信謗トモニアルヘキムチヲシロ
 シメシテ、ヒトノウタカヒヲアラセシト、
 トキヲカセタマフコトヲマウスナリトコ
 ソサフラヒシカ、イマノ世ニハ、學文シ

テヒトノソシリヲヤメ、ヒトヘニ論議問
 答ヲムテトセシト、カマヘラレサフ
 ニヤ、學問セハイヨ、如來ノ御本意ヲ
 シリ、悲願ノ廣大ノムヲモ存知シテ、
 イヤシカラシ身ニテ往生ハイカ、ナント
 、アヤフマンヒトニモ、本願ニハ善惡
 淨穢ナキオモムキヲモトキカセラレサ
 フラハ、コソ、學生ノ甲斐ニテモサフ
 ハメ、タマ、ナニコ、ロナク本願ニ相
 應シテ念佛スルヒトヲモ、學文シテコソ
 ナント、イヒオトサル、コト法ノ魔障
 ナリ、佛ノ怨敵ナリ、ミツカラ他力ノ信

心カクルノミナラス、他ヲマヨハサント
 ス、ツ、シテオソルヘシ、先師ノ御コ
 、ロニソムクコトヲガ子テアハレムヘ
 シ、彌陀ノ本願ニアラサルコトヲ云々
 一彌陀ノ本願不思議ニオハセハトテ、惡ヲ
 オソレサルハ、マタ本願ホコリトテ往生
 カナフヘカラストイフコト、コノ條本願
 ヲウタカフ善惡ノ宿業ヲコ、ロエサルナ
 リ、ヨキココロノオコルモ、宿業ノモヨ
 ホスユヘナリ、惡事ノオモハレセラル、
 モ惡業ノハカラフユヘナリ、故聖人ノオ
 ホセニハ、卵毛羊毛ノサキニキルチリハ

カリモ、ツクルツミノ宿業ニアラストイ
 フコトナシトシルヘシトサフラヒキ、マ
 タアルトキ唯圓坊ハワカイフコトヲハ信
 スルカト、オホセノサフラヒシアヒタ、
 サンサフラフトマウシサフラヒシカハ、
 サラハワカイハンコト、タカフマシキカ
 ト、カサ子テオホセノサフラヒシアヒタ、
 ツ、シテ領狀マウシテサフラヒシカ
 ハ、タトヘハヒトヲ千人コロシテヤ、
 シカラハ往生ハ一定スヘシトオホセサフ
 ラヒシトキ、オホセニテハサフラヘトモ、
 一人モコノ身ノ器量ニテハ、コロシツヘ

シトモオホエスサフラフトマウシテサフ
 ラヒシカハ、サテハ親鸞カイフコトヲ、
 タカフマシキトハイフソト、コレニテ
 シルヘシ、ナニコトモ、コ、ロニマカセ
 タルコトナラハ、往生ノタメニ、千人コ
 ロセトイハンニ、スナハチコロスヘシ、
 シカレトモ一人ニテモコロスヘキ業縁ナ
 キニヨリテ害セサルナリ、ワカコ、ロノ
 ヨクテコロサヌニハアラス、マタ害セシ
 トオモフトモ、百人千人ヲコロスコトモ
 アルヘシト、オホセノサフラヒシハ、ワ
 レラカコ、ロノヨキヲハヨシトオモヒ、

アシキコトヲハアシトオモヒテ、本願ノ
 不思議ニテタスケタマフトイフコトヲ、
 シラサルコトヲオホセノサフラヒシナ
 リ、ソノカミ邪見ニオチタルヒトアリテ
 悪ヲツクリタルモノヲ、タスケントイフ
 願ニテマシマセハトテ、ワサトコノミ、
 悪ヲツクリテ往生ノ業トスヘキヨシヲイ
 ヒテ、ヤウ／＼ニアシサマナルコトノ、
 キコエサフラヒシトキ、御消息ニ、クス
 リアレハトテ毒ヲコノムヘカラストコソ
 アンハサレテサラフハ、カノ邪執ヲヤ
 メシカタメナリ、マタク悪ハ往生ノサハ

リタルヘシトニハアラス持戒持律ニテシ
 ミ本願ヲ信ズヘクハ、ワレライカテカ生
 死ヲハナルヘキヤ、カ、ルアサマシキ身
 モ本願ニアヒタテマツリテコン、ケニホ
 コラレサフラヘ、サレハトテ身ニソナヘ
 サラン悪業ハ、ヨモツクラレサフラハシ
 モノヲ、マダウミカハニ、アミヲヒキ、
 ツリヲシテ世ヲワタルモノモ、野ヤマニ
 シ、ヲガリ、鳥ヲトリテイノチヲツクト
 モカラモ、アキナヒヲモシ、田畠ヲツク
 リテスグルヒトモ、タ、オナジコトナリ
 ト、サルヘキ業縁ノモヨホセハ、イカナ

ルフルマヒモスヘシトコソ聖人ハオホセ
 ラレサフラヒシニ、當時後世者フリシテ、
 ヨカラシモノハカリ念佛マウスヘキヤウ
 ニ、アルヒハ道場ニハリフミヲシテ、ナ
 ん／＼ノコトシタランモノヲハ道場ヘイ
 ルヘカラスナント、イフコト、ヒトヘ
 ニ賢善精進ノ相ヲホカニシメシテ、ウチ
 ニハ虚假ヲイタケルモノカ、願ニホコリ
 テツクランツミモ、宿業ノモヨホスユヘ
 ナリ、サレハヨキコトモ、アシキコトモ、
 業報ニサシマカセテ、ヒトヘニ本願ヲタ
 ノミマイラスレハコソ、他力ニテハサフ

ラヘ、唯信鈔ニモ、彌陀イカハカリノチ
 カラマシマストシリテカ、罪業ノ身ナレ
 ハ、スクハレカタシトオモフヘキトサフ
 ラフツカシ、本願ニホコルコ、ロノアラ
 シニツケテコソ、他力ヲタノム信心モ決
 定シヌヘキコトニテサフラヘ、オホヨソ
 悪業煩惱ヲ断シツクシテノチ本願ヲ信セ
 ンノミツ、願ニホコルオモセナクテヨカ
 ルヘキニ、煩惱ヲ断シナハ、スナハチ佛
 ニナルトナラハ、佛ノタメニハ五劫思惟
 ノ願、ソノ詮ナクヤマシマサン、本願ホ
 コリトイマシメラル、ヒト／＼モ、煩惱

不淨具足セラレテこそサフラフケナレ
 ハ、ソレハ願ニホコラル、ニアラスヤ、
 イカナル惡ヲ本願ホコリトイフ、イカナ
 ル惡カホコラヌニテサフラフヘキヤ、カ
 ヘリテコ、ロヲサナキコトカ
 一 一念ニ八十億劫ノ重罪ヲ滅スト信スヘシ
 トイフコト、コノ條ハ十惡五逆ノ罪人、
 日コロ念佛ヲマウスシテ命終ノトキ、
 ハシメテ善知識ノオシヘニテ、一念マウ
 セハ八十億劫ノ罪ヲ滅シ、十念マウセハ
 十八億劫ノ重罪ヲ滅シテ往生ストイヘ
 リ、コレハ十惡五逆ノ輕重ヲシラセンカ

タメニ、一念十念トイヘルカ、滅罪ノ利益
 ナリ、イマタワレラカ信スルトコロニオ
 ヨハス、ソノユヘハ彌陀ノ光明ニテラサ
 レマイラスルユヘニ、一念發起スルトキ、
 金剛ノ信心ヲタマハリヌレハ、ステニ定
 聚ノクラ非ニオサメシメタマヒテ、命終
 スレハモロ／＼ノ煩惱惡障ヲ轉シテ無生
 忍ヲサトラシメタマフナリ、コノ悲願マ
 シマサスハ、カ、ルアサマシキ罪人、イ
 カテカ生死ヲ解脱スヘキトオモヒテ、一
 生ノアヒタマウストコロノ念佛ハ、ミナ
 コト／＼ク如來大悲ノ恩ヲ報シ、徳ヲ謝

ストオモフヘキナリ、念佛マウサンコト
 ニ罪ヲホロホサント信センハ、ステニワ
 レトツミヲケシテ往生セントハケムニテ
 コソサフラフナレ、モシシカラハ一生ノ
 アヒタオモヒトオモフコト、ミナ生死ノ
 キツナニアラサルコトナケレハ、イノチ
 ツキシマテ、念佛退轉セスシテ往生スヘ
 シ、タ、シ業報カキリアルコトナレハ、
 イカナル不思議ノコトニモアヒ、マタ病
 惱苦痛ヲセシメテ、正念ニ住セスシテヲ
 ハラン、念佛マウスコトカタシ、ソノア
 ヒタノツミヲハ、イカ、シテ滅スヘキヤ、

ツミキエサレハ往生ハカナフヘカラサル
 カ、攝取不捨ノ願ヲタノミタテマツラハ、
 イカナル不思議アリテ罪業ヲオカシ、念
 佛マウスシテラハルトモ、スミヤカニ
 往生ヲトクヘシ、マタ念佛ノマウスレン
 モ、タ、イマサトリヲヒラカントスル期
 ノ、チカツクニシタカヒテ、イヨ／＼彌
 陀ヲタノミ、御恩ヲ報シダテマツルニテ
 コソサフラハメ、ツミヲ滅セントオモハ
 ンハ自力ノコ、ロニシテ、臨終正念トイ
 ノルヒトノ本意ナレハ、他力ノ信心ナキ
 ニテサフラフナリ

一 煩惱具足ノ身ヲモチ、ステニサトリヲヒ
 ラクトイフコト、ユノ條モテノホカノコ
 トニサフラフ、即身成佛ハ眞言秘教ノ本
 意、三密行業ノ證果ナリ、六根清淨ハマ
 タ法華一乘ノ所説、四安樂行ノ威徳ナリ、
 コレミナ難行上根ノツトメ觀念成就ノサ
 トリナリ、來生ノ開覺ハ、他力淨土ノ宗
 旨、信心決定ノ道ナルカユヘナリ、コレ
 マタ易行下根ノツトメ不簡善惡ノ法ナ
 リ、オホヨソ今生ニチイテ煩惱業障ヲ斷
 センコト、キハメテアリカタキアヒタ、
 眞言法華ヲ行スル淨侶ナヲモテ順次生ノ

サトリヲイノル、イカニイハンヤ戒行慧
 解トモニナシトイヘトモ、彌陀ノ願船ニ
 乗シテ生死ノ苦海ヲワタリ、報土ノキシ
 ニツキヌルモノナラハ、煩惱ノ黒雲ハヤ
 クハレ、法性ノ覺月スミヤカニアラハレ
 テ盡十方ノ无尋ノ光明ニ一味ニシテ、一
 切ノ衆生ヲ利益セントキニコソ、サトリ
 ニテハサフラヘ、コノ身ヲモチサトリヲ
 ヒラクトサフラフナルヒトハ、釋尊ノコ
 トク、種々ノ應化ノ身ヲ現シ、三十二相、
 八十隨形好ヲモ具足シテ説法利益サフラ
 フニヤ、コレヲコソ今生ニサトリヲヒラ

ク本トハマウシサフラヘ、和讃ニ、金剛
 堅固ノ信心ノ、サタマルトキヲマチエテ
 ソ、彌陀ノ心光攝護シテ、ナカク生死ヲ
 ヘタテケルトハサフラヘハ、信心ノサタ
 マルトキニ、ヒトタヒ攝取シテステタマ
 ハサレハ、六道ニ輪廻スヘカラス、シカ
 レハナカク生死ヲハヘタテサフラフソカ
 シ、カクノコトクシルヲサトリトハイヒ
 マキラカスヘキヤ、アハレニサフラフヲ
 ヤ、淨土眞宗ニハ今生ノ本願ヲ信シテ、
 カノ上ニシテ、サトリヲハヒラクト、ナ
 ラヒサフラフソトコソ、故聖人ノオホセ

ニハサフラヒシカ、
 一 信心ノ行者、自然ニハラフモタテ、アシ
 キサマナルコトヲモオカシ、同朋同侶ニ
 モアヒテ口論ヲモシテハ、カナラス廻心
 スヘシトイフコト、コノ條斷惡修善ノコ
 ハチカ、一向專念ノヒトニライテハ、廻
 心トイフコト、タ、ヒトタヒアルヘシ、
 ソノ廻心ハ日コロ本願他力眞宗ヲシラサ
 ルヒト、彌陀ノ慧智ヲタマハリテ、日コ
 ロノコ、ロニテハ往生カナフヘカラスト
 オモヒテ、モトノコ、ロヲヒキカヘテ、
 本願ヲタノミマイラスルヲコソ、廻心ト

ハマウシサフラへ、一切ノコトニ、アシ
 タユフヘニ廻心シテ往生ヲトケサフラフ
 ヘクハ、ヒトノイノチハ、イツルイキ、イ
 ルイキヲマダスシテ、ヲハルコトナレハ、
 廻心モセス、柔和忍辱ノオモヒニモ住セ
 サラシサキニ、イノチツキハ、攝取不捨
 ノ誓願ハ、ムナシクナラセオハシマスヘ
 キニヤ、クチニハ願力ヲタノミタテマツ
 ルトイヒテ、コ、ロニハ、サコソ惡人ヲ
 タスケントイフ願不思議ニマシマストイ
 フトモ、サスカヨカラシモノヲコソ、タ
 スケタマハンスレトオモフホトニ、願力

ヲウタカヒ、他力ヲタノミマイラスルコ
 、ロカケテ、邊地ノ生ヲウケンコト、モ
 トモナケキオモヒタマフヘキコトナリ、
 信心サタマリナハ、往生ニ彌陀ニハカラ
 ハセマイラセテ、スルコトナレハ、ワカ
 ハカラヒナルヘカラス、ワロカラシニツ
 ケテモ、イヨ／＼願力ヲアラキマイラセ
 ハ、自然ノコトハリニテ、柔和忍辱ノコ
 、ロモイテクヘシ、スヘテヨロツノコト
 ニツケテ、往生ハカシコキオモヒヲ具セ
 スシテ、タ、ホレ／＼下彌陀ノ御恩ノ深
 重ナルコト、ツチニオモヒイタシマイラ

スヘシ、シカレハ念佛モマウサレサフラ
 フ、コレ自然ナリ、ワカハカラハサルヲ
 自然トマウスナリ、コレスナハチ他力ニ
 テマシマス、シカルヲ自然トイフコトノ
 別ニアルヤウニ、ワレモノシリカホニイ
 フヒトノサフラフヨシ、ウケタマハル、
 アサマシクサフラフナリ
 一 邊地ノ往生ヲトクルヒト、ツイニハ地獄
 ニオツヘシトイフコト、コソ條イツレノ
 證文ニミエサフラフソヤ、學生タツル
 ヒトノナカニ、イヒイタサル、コトニテ
 サフラフナルコソ、アサマシクサフラへ、

經論聖教ヲハ、イカヤウニミナサレテ
 サフラフヤラン、信心カケタル行者ハ、
 本願ヲウタカフニヨリテ邊地ニ生レテ、
 ウタカヒノツミヲツクノヒテノチ、報土
 ノサトリヲヒラクトコソウケタマハリサ
 フラへ、信心ノ行者スクナキユヘニ化土
 ニオホクス、メイレラレサフラフヲ、ツ
 キニムナシクナルヘシトサフラフナルコ
 ソ、如來ニ虛妄ヲマウシツケマイラセテ
 サフラフナレ
 一 佛法ノ方ニ施入物ノ多少ニシタカヒテ、
 大小佛ニナルヘシトイフコト、コソ條不

可説ナリ云々、比興ノコトナリ、マツ佛ニ
 大小ノ分量ヲサタメンコトアルヘカラス
 サラフ、カノ安養淨土ノ教主ノ御身量
 ヲトカレテサフラスモ、ソレハ方便法身
 ノカタチナリ、法性ノサトリヲヒラヒ
 テ、長短方圓ノカタチニモアラス、青黄
 赤白黒ノイロヲモハナレナハ、ナニヲモ
 テカ大小ヲサタムヘキヤ、念佛マウスニ
 化佛ヲシタテマツルトイフコトノサフラ
 フナルコソ、大念ニハ大佛ヲミ、小念ニハ
 小佛ヲミルトイヘルカ、モシコノコトハ
 リナントニ、ハシヒキカケラレサフラス

ヤラン、カツハマタ檀波羅蜜ノ行トモイ
 ヒツヘシ、イカニタカラモノヲ佛前ニモ
 ナケ、師匠ニモホトコストモ、信心カケ
 ナハソノ詮ナシ、一紙半錢モ佛法ノカタ
 ニイレストモ他力ニコ、ロヲナケテ信心
 フカクハ、ソレコソ願ノ本意ニテサフラ
 ハメ、スヘテ佛法ニコトヲ白セテ世間ノ
 欲心モアルユヘニ、同朋ヲイヒヲトサル
 ハ、ニヤ
 右條々ハ、ミナモテ信心ノコトナルヨリ
 コトオコリサフラスカ、故聖人ノ御モノ
 カタリニ、法然上人ノ御トキ、御弟子ソ

ノカスオホガリケルナカニ、オナシク御
 信心ノヒトモスクナクオハシケルニコ
 ソ、親鸞御同朋ノ御ナカニシテ御相論ノ
 コトサフラヒケリ、ソノユヘハ善信カ信
 心モ上人ノ御信心モ、ヒトツナリトオホ
 セサフラヒケレハ、勢觀房、念佛房ナン
 トマウス、御同朋達、モテノホカニアラソ
 ヒタマヒテ、イカテカ上人ノ御信心ニ善
 信房ノ信心ヒトツニハアルヘキソトサフ
 ラヒケレハ、上人ノ御智慧才覺ヒロクオ
 ハシマスニ、ヒトツナラントマウサハコ
 ソヒカコトナラヌ、往生ノ信心ニヲイテ

ハ、マタクコトナルコトナシ、タ、ヒト
 ツナリト御返答アリケレトモ、ナライカ
 テカソノ義アラントイフ疑難アリケレ
 ハ、詮スルトコロ上人ノ御マヘニテ、自
 他ノ是非ヲサタムヘキニテ、コノ子細ヲ
 マウシアケケレハ、法然上人ノオホセニ
 ハ、源空カ信心モ如來ヨリタマハリタル
 信心ナリ、善信房ノ信心モ如來ヨリタマ
 ハラセタマヒタル信心ナリ、サレハタ、
 ヒトツナリ、別ノ信心ニテオハシマサン
 ヒトハ、源空カマイランスル淨土ヘハ、
 ヨモマイラセタマヒサフラスハシトオホセ

サフラヒシカハ、當時ノ一向專念ノヒト
 ノナカニモ、親鸞ノ御信心ニヒトツ
 ナラヌ御コトモサフラフランドオホエサ
 フラフ、イツレモ、クリコトニテサフ
 ラヘトモ、カキツケサフラフナリ、露
 命ワツカニ枯草ノ身ニカ、リテサフラフ
 ホトニコソ、アヒトモナハシメタマフヒ
 ト、御不審ヲモウケタマハリ、聖人
 ノオホセノサフラヒシオモムキヲモ、マ
 ウシキカセマイラセサフラヘトモ、閉眼
 ノノチハ、サコソシトケナキコトトモニ
 テサフラハシスラメト、ナケキ存シサフ

ラヒテ、カクノコトクノ義トモオホセラ
 レアヒサフラフ、ヒトノニモイヒマヨ
 ハサレナントセラル、コトノサフラハン
 トキ、故聖人ノ御コ、ロニアヒカナヒ
 テ、御モチキサフラフ御聖教トモヲ、ヨ
 ク御覽サフラフヘシ、オホヨソ聖教
 ニハ眞實權假トモニ、アヒマシハリサフ
 ラフナリ、權ヲス、テ實ヲトリ、假ヲサ
 シヲキテ眞ヲモチキルコソ、聖人ノ御本
 意ニテハサフラヘ、カマヘテ、聖教ヲ
 ミミタラセタマフマシクサフラフ、大切
 ノ證文トモ少々スキイテマイラセサフラ

フテ、目ヤスニシテ、コノ書ニソヘマイ
 ラセテサフラフナリ、聖人ノツ子ノオホ
 セニハ、彌陀ノ五劫思惟ノ願ヲ、ヨクヨ
 ク案スレハ、ヒトヘニ親鸞一人カタメナ
 リケリ、サレハ、ソコハクノ業ヲモチケ
 ル身ニテアリケルヲ、タスケントオホシ
 メシタチケル本願ノカタシケナサヨト御
 述懐サフラヒシコトヲ、イママタ案スル
 ニ、善導ノ自身ハ罪惡生死ノ凡夫、曠劫
 ヨリコノカタ、ツ子ニシツミ、ツ子ニ流
 轉シテ出離ノ縁アルコトナキ身トシレト
 イフ金言ニ、スヨシモタカハセオハシマ

サス、サレハカタシゲナクモ、ワカ御身
 ニヒキカケテ、ワレラカ身ノ罪惡ノフカ
 キホトヲモシラス、如來ノ御恩ノタカキ
 コトヲモシラスシテ、マヨヘルヲオモヒ
 シラセンカタメニテサフラヒケリ、マコ
 トニ如來ノ御恩トイフコトヲハ、サタナ
 クシテ、ワレモヒトモ、ヨシアシトイフ
 コトヲノミ、マウシアヘリ、聖人ノオホ
 セニハ、善惡ノフタツ、總シテモテ存知
 セサルナリ、ソノユヘハ如來ノ御コ、ロ
 ニヨシトオホシメスホトニ、シリトホシ
 タラハコソ、ヨキヲシリタルニテモアラ

メ、如來ニヨライノアシトオホシメスホトニ、シリトホシタラハコソ、アシサヲシリタルニテモアラメト、煩惱具足ホムナウクソクノ凡夫ホムフ、火宅クリダケノ世界セカイハ、ヨロツノコト、ミナモテソラコト、タハコトマコトアルコトナキニ、タ、念佛チムフノミソ、マコトニテオハシマストコソ、オホセハサフラヒシカ、マコトニワレモヒトモソラコトヲノミマウシアヒサフラフナカニ、ヒトツノイタハシキコトノサフラフナリ、ソノユヘハ念佛チムマウスニツイテ、信心シンシンノオモムキヲモ、タシカニ問答モンダウシ、ヒトニモイヒキカ

スルトキ、ヒトノクチヲフサキ、相論サウロンノタ、カヒ、カタシカタメニ、マタクオホセニテナキコトヲ、オホセトノミマウスコト、アサマシクホケキ存ソンシサフラナリ、コノムチヲヨク、オモヒトキ、コロエラルヘキコトニサフラフナリ、コレサラニ、ワタクシノコトハニアラストイヘトモ、經釋キヤウシヤクノユクチヲモシラス、法ホフ文モンノ淺深センシムヲコ、ロエワケタルコトモサフラハチハ、サダメテオカシキコトニテサフラハメトモ、故親戀コウシナンノオホセコトサスラヒシオモムキヲ、百分ヒヤクブツカ一カダハシハ

カリヲモ、オモヒマイラセテカキツケサフラフナリ、カナシキカナヤ、サイハヒニ念佛チムフシナカラ、直チキニ報土ホウツニムマレスシテ邊地ヘンチニヤトヲトランコト、一室イツシツノ行者キヤウシャノナカニ信心シンシンコトナルコトナカランタメニ、ナク、筆フデヲソメテコレヲシルス、ナツケテ歎異タンイ鈔セウトイフヘシ、外見クワイケンアルヘカラス

ミキコンシヤウケウハタル、タウリウダイシンシヤウケウナリタイラム、
右斯聖教者爲當流大事聖教也於无
宿善機一无一左右不可許之者也
釋蓮如御判

歎タシ
異イ
鈔セウ

蓮如上人御一代記聞書

蓮如上人御一代記聞書本

二ハ勸修寺村ノ道德、明應二年正月一日ニ、
御前へマイリタルニ蓮如上人オホセラレサ
フラフ、道德ハイクツニナルシ道德念佛マ
ウサルヘシ、自力ノ念佛トイフハ念佛オホ
クマウシテ佛ニマイラセ、コノマウシタル
功德ニテ佛ノタスケ給ハンスルヤウニオモ
フテトナフルナリ、他力トイフハ彌陀ヲタ
ノム一念ノオコルトキ、ヤカテ御タスケニ
アツカルナリ、ソノノチ念佛マウスハ御タ
スケアリタル、アリカタサノト思フコ、

蓮如上人御一代記聞書本

ロヲヨロコヒテ南無陀彌陀佛ノト申スハ
カリナリ、サレハ他力トハ他ノチカラトイ
フコ、ロナリ、コノ一念臨終マテトホリテ
往生スルナリトオホセサフラフナリ。
一、アサノ御ツトメニ、イツ、ノ不思議ヲ
トクナカニヨリ、盡十方ノ無碍光ハ無明ノ
ヤミヲテラシツ、一念歡喜スルヒトヲカ
ナラス滅度ニイタラシムト候段ノコ、ロヲ
御法談ノトキ、光明遍照十方世界ノ文ノコ
、ロト、マタ月ガケノイタラヌサトハナケ
レトモナカムルヒトノコ、ロニソスムトア
ル、ウタヲヒキヨセ御法談候、ナカナカアリ

カタサマウスハカリナク候フ、上様御立ノ
 御アトニテ北殿様ノ仰ニ、夜前ノ御法談今
 夜ノ御法談トヲヒキアハセテ仰候、アリカ
 タサノ是非ニオヨハスト御掟候ヒテ御落
 涙ノ御コトカキリナキ御コトニ候
 一、御ツトメノトキ順讀御ワスレアリ、南
 殿ノ御カヘリアリテ仰ニ、聖人御ス、メノ
 和讀アマリニアマリニ殊勝ニテ、アケハヲ
 ワスレタリト仰サフラヒキ、アリカタキ御
 ス、メヲ信シテ、往生スルヒトスクナシト
 御述懐ナリ。
 一、念聲是一トイフコトシラストマウシサ

フラフトキ、仰ニオモヒウチニアレハイロ
 ホカニアルハル、トアリ、サハレ信ヲエタ
 ル體ハスナハチ南無阿彌陀佛ナリトコ、ロ
 ウレハ口モ心モヒトツナリ。
 一、蓮如上人仰ラレ候、本尊ハ掛ヤフレ聖
 教ハヨミヤフレト對句ニ仰ラレ候
 一、仰ニ南無トイフハ歸命ナリ、歸命トイ
 フハ彌陀ヲ一念タノミマイラスルコ、ロナ
 リ、マタ發願廻向トイフハタノム機ニヤカ
 テ大善大功德ヲアタヘタマフナリ、ソノ體
 スナハチ南無阿彌陀佛ナリト仰候キ。
 一、加賀ノ願生ト覺善ト又四郎トニ對シテ、

信心トイフハ彌陀ヲ一念御タスケ候ヘトタ
 ノムトキ、ヤカテ御タスケアルスカタヲ南
 無阿彌陀佛トマウスナリ、總シテツミハイ
 カホトアルトモ、一念ノ信力ニテケンウシ
 ナヒ給フナリサレハ無始已來輪轉六道ノ妄
 業、一念南無阿彌陀佛ト歸命スル佛智無生
 ノ妙願力ニホロホサレテ、涅槃畢竟ノ眞
 因ハシメテキサストコロヲサスナリトイフ
 御コトハヲヒキタマヒテ仰サフラヒキ、サ
 レハコノコ、ロヲ御カケ字ニアソハサレテ
 願正ニクダサレケリ。
 一、三河ノ教賢伊勢ノ空賢トニ對シテ仰

ニ、南無トイフハ歸命コノコ、ロハ御ノス
 ケ候ヘトタノムナリ、コノ歸命ノコ、ロヤ
 カテ發願廻向ノコ、ロヲ感スルナリト仰ラ
 レ候ナリ。
 一、佗力ノ願行ヲヒサシク身ニタモチナカ
 ラ、ヨシナキ自力ノ執心ニホタサレテ、ム
 ナシク流轉シケルナリト候ヲ、エ存セスサ
 フラフヨシマウシアケ候トコロニ、仰ニキ
 ハ、ワケテエ信セヌモノノコトナリト仰ラレ
 候キ。
 一、彌陀ノ大悲カノ常没ノ衆生ノムネノウ
 チニ、ミチノタルトイヘルコト不審ニ候

ト福田寺申シアケラレ候 仰ニ佛心ノ蓮華
 ハムネニコソヒラクヘケレハラニアルヘキ
 ヤ、彌陀ノ身心ノ功德法界衆生ノ身ノウチ、
 コ、ロノソコニイリミツトモアリ、シカレ
 ハタ、領解ノ心中ヲサシテノコトナリト仰
 サフラヒキ、アリカタキヨシサフラフナリ、
 一、十月二十八日ノ逮夜ニノタマハク、正
 信偈和讃ヲヨミテ佛ニモ聖人ニモマイラセ
 ントオモフカアサマシヤ、佗宗ニハツトメ
 ラモシテ廻向スルナリ、御一流ニハ佗力信
 心ヲヨクシレトオホシメシテ、聖人ノ和讃
 ニソノコ、ロヲアソハサレタリ、コトニ七

高祖ノ御チンコロナル御釋ノコ、ロヲ和讃
 ニキ、ツクルヤウニアソハサレテ、ソノ恩
 ヲヨク存知テ、アラタフトヤト念佛ス
 レハ佛恩ノ御コトヲ聖人ノ御前ニテヨロコ
 ヒマウスコ、ロナリトクレ、仰ラレ候ヒ
 キ。
 一、聖教ヲヨクオホエタリトモ佗力ノ安心
 ヲシカト決定ナクハイタツラコトナリ、彌
 陀ヲタノムトコロニテ往生決定ト信シテ、
 フタゴ、ロナク臨終マテトホリサフラハ、
 往生スヘキナリ。
 一、明應三年十一月報恩講ノ廿四日アカツ

キ八時ニヲイテ、聖人ノ御前參拜マウシテ
 候ニ、スコシチフリサフラフウチニ、ユメ
 トモウツ、トモワカス空善オカミマウシ候
 ヤウハ、御圖子ノウシロヨリワダツミヒ
 ロケタルヤウナルウチヨリ、上様アラハレ
 御出アルトオカミマウストコロニ、御相好
 開山聖人ニテソオハシマヌ、アラ不思議ヤ
 トオモヒヤカテ大圖子ノウチヲオカミマウ
 セハ、聖人御座ナシ、サテハ開山聖人上様ニ、
 現シマシ、御一流ヲ御再興ニテ御座
 候トマウシイタスヘシト存スルトコロニ、
 慶聞坊ノ讚嘆ニ聖人ノ御流義、タトヘハ本

石ノ縁ヲマチテ火ヲ生シ、瓦礫ノ鈿ヲスリ
 テ玉ヲナスカコトシ、御式ノウヘヲ讚嘆ア
 ルトオホエテユメサメテサフラフ、サテハ
 開山聖人ノ御再誕ト、ソレヨリ信仰マウス
 コトニ候ヒキ。
 一、教化スルヒトマツ信心ヲヨク決定シ
 テ、ソノウヘニテ聖教ヲヨミカタラハキク
 ヒトモ信ヲトルヘシ。
 一、仰ニ彌陀ヲタノミテ御タスケヲ決定シ
 テ御タスケノアリカタサヨトヨロコフコ、
 ロアレハ、ソノヴェレシサニ念佛マウスハカ
 リナリスナハチ佛恩報謝ナリ。

一、大津近松殿ニ對シマシクテ仰ラレ候、信心ヲヨク決定シテヒトニモトラセヨト仰ラレ候ヒキ。

一、十二月六日ニ富田殿へ御下向ニテ候アヒタ、五日ノ夜ハ大勢御前へマイリサフラフニ、仰ニ今夜ハナニヒトニ、人オホクキタリタルソト、順誓マウサレ候ハマコトニコノアヒタノ御聽聞マウシ、アリカタサノ御禮ノタメマタ明日御下向ニテ御座サフラフ御目ニカ、リマウスヘシ、カノアヒタ歳末ノ御禮ノタメナラントマウシアケラレケリ、ソノトキ仰ニ無益ノ歳末ノ禮カナ、歳

末ノ禮ニハ信心ヲトリテ禮ニセヨトオホセ候ヒキ。

一、仰ニトキク、懈怠スルコトアルトキ、往生スマシキカトウタカヒナケクモノアルヘシ、然レトモハヤ彌陀如來ヲヒトタヒタノミマイラセテ往生決定ノソチナレハ、懈怠オホクナルコトノアサマシヤ、カ、ル懈怠オホクナルモノナレトモ御タスケハ治定ナリ、アリカタヤアリカタヤトヨロコフコ、ロヲ侘力大行ノ催促ナリト申スト仰セラレ候フナリ。

一、御タスケアリタルコトノアリカタサヨ

ト念佛マウスヘク候ヤ、又御タスケアラフスル事ノアリカタサヨト念佛申スヘク候ヤト申アケサフラフトキ、仰ニイツレモヨシ、タ、シ正定聚ノカタハ御タスケアリタルトヨロコフコ、ロ、滅度ノサトリノカタハ御タスケアラウスルコトノアリカタサヨト申スコ、ロナリ、イツレモ佛ニナルコトヲヨロコフコ、ロヨシト仰候ナリ。

一、明應五年正月二十三日ニ富田殿ヨリ御上洛アリテ仰ニ當年ヨリイヨク信心ナキヒトニハ御アヒアルマシキトカタク仰セ候ナリ、安心ノトホリイヨイヨ仰セキカセ

ラレテ、マタ誓願寺ニ能ヲサセラレケリ、二月十七日ニヤカテ富田殿へ御下向アリテ、三月二十七日ニ堺殿ヨリ御上洛アリテ、二十八日ニ仰ラレサフラフ、自信教人信ノコ、ロヲ仰キカセラレンカタメニ上リ下リ辛勞ナレトモ、御出アルトコロハ信ヲトリヨロコフヨシマスホトニ、ウレシクテマタノホリタリト仰ラレ候キ、

一、四月九日ニ仰ラレ候、安心ヲトリテモノライハ、ヨシ用ナキコトヲハイフマシキナリ、一心ノトゴロヨク人ニモイヘト空善ニ御掟ナリ。

蓮如上人御一代記聞書本

一、同十二日ニ堺殿へ御下向アリ。
 一、七月二十日御上洛ニテソノ日仰ラレ候、五濁惡世ノワレラコソ金剛ノ信心ハカリニテ、ナカク生死ヲステハテ、自然ノ淨土ニイタルナレ、コノ次ヲモ御法談アリテコノ二首ノ讚ノコ、ロライヒテキカセントテノホリタリト仰候ナリ、サテ自然ノ淨土ニイタルナリ、ナカク生死ヲヘタテケル、サテアアラオモシロヤトクレ御掟アリケリ。
 一、ノタマハク南無ノ字ハ聖人ノ御流義ニカキリテアソハシケリ、南無阿彌陀佛ヲ泥

ニテウツサセラレテ御座敷ニカケサセラレテ仰ラレケルハ、不可思議光佛無碍光佛モユノ南無阿彌陀佛ヲホメタマフ徳號ナリ、シカレハ南無阿彌陀佛ヲ本トスヘシトオホセラレ候ナリ。
 一、十方無量ノ諸佛ノ證誠護念ノミコトニテ、自力ノ大菩提心ノカナハヌホトハシリヌヘシ、御讚ノコ、ロヲ聽聞マウシタキ順誓マウシアケラレケリ、仰ニ諸佛ノ彌陀ニ歸セラレ、ヲ能トシタマヘリ、世ノナカニアマノコ、ロヲステヨカシ妻ウシノツノハサモアラハアレト、コトハ御開山ノ御

ウタナリ、サレハカタチハイラヌコト一心ヲ本トスヘシトナリ、世ニモカウヘラソルトイヘトモ心ヲソラストイフコトカアルト仰ラレ候。
 一、鳥部野ヲオモヒヤルコソアハレナレユカリノ人ノアト、オモヘバ、是モ聖人ノ御歌ナリ。
 一、明應五年九月二十日御開山ノ御影様空善ニ御免アリナカクアリカタサ申ニカキリナキ事ナリ。
 一、同十一月報恩講ノ二十五日、御開山ノ御傳ヲ聖人御前ニテ上様アソハサレテ、

イロク御法談サフラフナカクアリカタサマウスハカリナク候。
 一、明應六年四月十六日御上洛ニテ、ソノ日御開山聖人ノ御影ノ正本アツカミ一枚ニツ、マセ、ミツカラノ御筆ニテ御座候トテ上様御手ニ御ヒロケサフラヒテミナニオカヤセタマヘリ、コノ正本マコトニ宿善ナクテハ拜見マウサヌコトナリト仰ラレ候。
 一、ノタマハク諸佛三業莊嚴シテ畢竟平等ナルコトハ衆生虚誑ノ身自意ヲ治セシカタメトノタマフドイフハ、諸佛ノ彌陀ニ歸シテ衆生ヲタスケラル、コトヨト仰ラレ

蓮如上人御一代記開書本

六五七

候サツラフ

一、一念チムノ信心シンシムヲエテノチノ相續サツツクトイフハ
 サラニ別ワカノコトニアラス、ハシメ發起ホチキスル
 トコロノ安心アンシムヲ相續サツツクセラレテ、タフトクナ
 ル一念チムノコ、ロイトホルヲ、憶念オクチムノ心ココロツチ
 ニトモ佛恩報謝フチオンホウシャトモイフナリ、イヨノ歸クヒ
 命ミヤウノ一念發起チムホチキスルコト肝要リンゴウナリトオホセ候
 ナリ。

一、ノタマハク朝夕タウセキヤウシヤウ正信偈テイシンゲ和讃ワサンニテ念佛チムフチマ
 ウスハ、往生ワウシヤウノタ子ニナルヘキカナルマシ
 キガト、ヲノノ坊主ハウスニ御オンタツ子アリ、ミ
 ナマウサレケルハ往生ワウシヤウノタ子ニナルヘシト

マウシタル人ヒトモアリ、往生ワウシヤウノタ子ニハナル
 マシキトイフ人モアリケルトキ、仰オホセニイツ
 レモワロシ正信偈テイシンゲ和讃ワサンハ衆生シュンシヤウノ彌陀如來ミタニヨライヲ
 一念チムニタノミマイラセテ、後生ゴシヤウタスカリマ
 ウセトノコトハリテアソハサレタリ、ヨク
 キ、ワケテ信心シンシムヲトリテアリカタヤノト
 聖人シヤウニンノ御前ゴゼンニテヨロコフコトナリトクレク
 レ仰オホセ候サツラフナリ。

一、南無阿彌陀佛ナムワアミタフツノ六字シクヲ佗宗タシウニハ大善大
 功德クトクニテアルアヒタ、トナヘテコノ功德クトクヲ
 諸佛菩薩シュフツホサツンヨアン諸天シュツテンニマイラセテソノ功德クトクヲワカ
 モノカホニスルナリ、一流リウニハサナシコノ

六字シクノ名號ミヤウカウワカモノニテアリテコソ、トナ
 ヘテ佛菩薩フツホサツニマイラスヘケレ、一念チム一心シンニ
 後生ゴシヤウタスケタマヘトタノメハ、ヤカテ御オンタ
 スケニアツカルコトノアリカタサノトマ
 ウスハカリナリト仰オホセ候サツラフナリ。

一、三河カハノ國クニ淺井ニサイノ後室ゴシツ御オンイトマコヒニト
 テマイリ候サツラフニ富田殿トシタテンヘ御オン下向カウノアシタノコ
 トナレハ、コトノホカシ御オン下カウリミタシニテ
 御座候ゴザフツニ、仰オホセニ名號ミヤウカウヲタ、トナヘテ佛フツニマ
 イラスルコ、ロニテハユメノナシ、彌陀ミタ
 佛フツヲシカト御オンタスケ候サツラフヘトタノミマイラス
 レハ、ヤカテ佛フツノ御オンタスケニアツカルヲ南ナ

無阿彌陀佛ムワアミタフツトマウスナリ、シカレハ御オンタス
 ケニアツカリタルコトノアリカタサヨノ
 ト、コ、ロニオモヒマイラスルヲクチニイ
 タシテ南無阿彌陀佛ナムワアミタフツ南無阿彌陀佛ナムワアミタフツトマウス
 ヲ、佛恩フチオンヲ報ホウスルトハマウスコトナリト仰オホセ
 候サツラフヒキ。

一、順誓ジュンサイマウシアケラレ候サツラフ、一念發起チムホチキノト
 コロニテ罪ツミミナ消滅セウメツシテ、正定聚不退テイテイシュニタイノク
 ラキニサタマルト御文ゴフミニアソハサレタリ、
 シカルニツミハイノチノアルアヒタツミモ
 アルヘシトオホモサフラフ御文ゴフミト、別ヘツニキ
 コエマウシサフラフヤトマウシアケ候サツラフト

ト、アラノ御マウシノトコロニ、仰ニ
 サヤウニイハンコトハニテ一念ノコトライ
 ヒテキカセテカヘセカシト、東西ヲ走マハ
 リテイヒタキコトナリト仰ラレ候トキ、慶
 問坊ナミタヲ流シテアヤマリテ候トテ讚嘆
 アリケリ、皆々落涙マウス事カキリナカリ
 ケリ。
 一、明應六年十一月報恩講ニ御上洛ナク候
 アヒタ、法慶坊御使トシテ當年ハ御在國
 ニテ御座サフアラヒタ、御講ヲナニト御
 沙汰アルヘキヤトタツネ御マウシ候ニ、當
 年ヨリハタノ六トキ朝ノ六トキヲカキリニ

ミナ退散アルヘシトノ御文ヲツクラセテ、
 カクノゴトクメサルヘキヨシ御掟アリ、御
 堂ノ夜ノ宿衆モソノ日ノ頭人ハカリト御掟
 ナリ、マダ上様ハ七日ノ御請ノウチヲ富田
 殿ニテ三日御ツトメアリテ、二十四日ニハ
 大阪殿へ御下向ニテ御勤行ナリ。
 一、同七年ノ夏ヨリマダ御違例ニテ御座
 候アヒタ、五月七日ニ御イトマコヒニ聖人
 へ御マイリアリタキトオホセラレテ御上洛
 ニテ、ヤカテオホセニ信心ナキヒトニハア
 フマシキノ、信ヲウルモノニハ召テモミタ
 クサフアラフ逢ヘシト仰ナリト云々。

一、今ノ人ハ古ヲタツヌヘシ、マダ古ヒト
 ハ古ヲヨクツタフヘシ、物語ハウスルモノ
 ナリ書シタルモノハウセス候。
 一、赤尾ノ道宗マウサレ候、一日ノタシナ
 ミニハ朝ツトメニカ、サシトタシナムヘ
 シ、一月ノタシナミニハ、チカキトコロ御
 開山様ノ御座候トコロへ參ヘシトタシナメ
 一年ノタシナミニハ御本寺へ參ヘシト嗜ヘ
 シト云云、コレヲ圓如様キコシメシ及レ能
 申タルトオホセラレ候。
 一、我カ心ニマカセスシテ心ヲ責ヨ 佛法
 ハ心ノツマル物カトオモヘハ信心ニ御ナク

サミ候ト仰ラレ候。
 一、法敬坊九十マテ存命サフアラフ、コノ歳
 マテ聴聞マウシサフアラヘトモ、コレマテト
 存知タルコトナシ、アキタリモノナキ事ナリ
 トマウサレ候。
 一、山科ニテ御法談ノ御座候トキ、アマリ
 ニアリカタキ御掟トモナリトテ、コレヲ忘
 マウシテハト存シ、御座敷ヲタチ御堂へ六
 人ヨリテ談合サアラヘハ面々ニキ、カヘラ
 レ候、ソノウチニ四人ハチカヒサフアラフ、
 大事ノコトニテ候トマウス事ナリ聞マトヒ
 アルモノナリ。

蓮如上入御一代記聞書本

一、蓮如上人ノ御トキコ、ロサシノ衆モ、御前ニオホク候トキ、コノウチニ信ヲエタルモノイクタリアルヘキソ、一人リカ二人リカアルヘキカナト御掟候トキ、ヲノノキモヲツフシ候トマウサレサフラフ由ニ候。

一、法慶マウサレサフラフ讚嘆ノトキナニモオナシヤウニテカキ、聽聞ハカトヲキケトマウサレサフラフ詮アルトコロヲキケトナリ。

一、憶念稱名イサミアリテトハ、稱名ノイサミノ念佛ナリ、信ノ文ハウレシクイサ

ミテマウス念佛ナリ。

一、御文ノコト聖教ハヨミチカヘモアリコ、ロエモユカヌトコロモアリ、御文ハヨミチカヘモアルマシキトオホセエレサフラフ、御慈悲ノキハマリタリ、コレヲキハナカラコ、ロエノユカヌハ無宿善ノ機方リ。

一、御一流ノ御コトコノトシマテ聽聞ニウシサフラフテ御コトハヲウケタマハリサウラヘトモ、タ、心カ御コトハノモトクナラスト法慶申サレ候。

一、實如上人サイノ仰ラレ候、佛法ノコトワカコ、ロニマカセスタシナメト御掟ナ

リ、コ、ロニマカセテハサテナリ、スナハチコ、ロニマカセスタシナム心ハ佗力ナリ、一、御一流ノ義ヲ承ハリツケタルヒトハ有トモ、聞ウル人ハ少ナリトイヘリ信ヲウル機マレナリトイヘル意ナリ。

一、蓮如上人ノ御掟ニハ佛法ノコトヲイフニ世間ノコトニトリナス人ノミナリ、ツレヲ退屈セシテマタ佛法ノコトニトリナセト仰ラレ候ナリ。

一、タレノトモカラモワレハワロキトオモフモノヒトリトシテアルヘカラス、コレシカシナカラ聖人ノ御罰ヲカウフリタルスカ

タナリ、コレニヨリテ一人ツ、モ心中ヲヒルカヘサスハ、ナカキ世泥梨ニフカクシツムヘキモノナリ、コレトイフモナニコトツナレハ、眞實ニ佛法ノソコヲシラサルユヘナリ。

一、ミナヒトノマコトノ信ハサラニナシ、モノシリカホノフセイニテコソ、近松殿ノ堺へ御下向ノトキナケシニオシテヲカセラレ候アトニテ、コノコ、ロヲオモヒイダシサアラヘト御掟ナリ、光應寺殿ノ御不審ナリ、モノシリカホトハ我ハコ、ロエタリトオモフカコノニ、ロナリ。

一、法慶坊安心ノトホリハカリ讚嘆スルヒ
 トナリ、言南无者ノ釋ヲハイツモハツサス
 ヒク人ナリ、ソレサヘサシヨセテマウセト
 蓮如上人御掟候ナリ、コトハスクナニ安
 心ノトホリ申セト御掟ナリ。
 一、善宗マウサレ候コ、ロサシマウシ候ト
 キ、ワカモノカホニモチテマイルハハツカ
 シキヨシマウサレ候、ナニトシタルコトニ
 テ候ヤトマウシ候ヘハ、コレハミナ御用ノ
 モノニテアルヲ、ワカモノ、ヤウニモチテ
 マイルトマウサレ候、タ、上様ノモノトリ
 ツキ候コトニテ候ヲ、我モノカホニ存スル

カトマウサレ候
 一、津國クンケノ主計トマウス人ナリ、ヒ
 マナク念佛マウス間ヒケヲソルトキ切ヌコ
 トナシ、ワスレテ念佛マウスナリ、人ハクチ
 ハタラカチハ念佛モスコシノアヒタモウサ
 レヌカトコ、ロモトナキ由ニ候
 一、佛法者マウサレ候ワカキトキ佛法ハタ
 シナメト候、トシヨレハ行歩モカナハスチ
 フタクモアルナリ、タ、ワカキトキタシナ
 メト候
 一、衆生ヲシツラヒタマフ、シツラフトイ
 フハ衆生ノコ、ロヲソノマ、ヲキテ、ヨキ

コ、ロヲ御クハヘサフラヒテ、ヨクメサレ
 候、衆生ノコ、ロヲミナトリカヘテ佛智ハ
 カリニテ、別ニ御ミタテ候コトニテハナク
 サフラフ。
 一、ワカ妻子ホト不便ナルコトナシ、ソレ
 ヲ糊化セヌハアサマシキコトナリ宿善ナク
 ハチカラナシ、ワカ身ヲヒトツ觀化セヌモ
 ノカアルヘキカ。
 一、慶間坊ノイハレ候、信ハナクテマキレ
 マハルト日ニ地獄カチカクナル、マキ
 レマハルカアラハレテ地獄カチカクナルナ
 リ、ウチミハ信不信ミエサフラフ、トヲ

クイノチヲモタスシテ今日ハカリトオモヘ
 ト、フルキコ、ロサシノヒト申サレ候
 一、一度ノチカヒカ一期ノチカヒナリ、一度
 タシナミカ一期ノタシナミナリ、ソノユヘ
 ハソノマ、イノチヲハレハ二期ノチカヒニ
 ナルニヨリテナリ。
 一、今日ハカリオモフコ、ロヲワスルナ
 ヲ、サナキハイト、ノソミオホキニ御歌
 一、佗流ニハ名號ヨリバ繪像、繪像ヨリハ木
 像トイフナリ、當流ニハ木像ヨリハエサフ、
 繪像ヨリハ名號トイフナリ。
 一、御本寺北殿ニテ法敬坊ニ對シテ蓮如上

蓮如上人御一代記聞書本

人仰セラレ候、ワレハ何事ヲモ當機ヲカ、
 ミオホシメシ、十アルモノヲ一ニスルヤウ
 ニカロト理ノヤカテ叫様ニ御沙汰候、
 是ヲ人カ考ヘヌト仰ラレ候、御文等ヲモ近
 事ハ御コトハスクナニアソハサレ候、今
 ハモノヲ聞ウチニモ退屈シ物ヲ聞オトス間
 タ、肝要ノ事ヲヤカテシリ候ヤウニアソハ
 サレ候ノ由仰ラレ候
 一、法印兼縁幼少ノ時二股ニテ、アマタ小
 名號ヲ申入候時、信心ヤアルヲノヲノト仰
 ラレ候、信心ハ禮名號ニテ候仰今思合
 七候トノ義ニ候

一、蓮如上人仰ラレ候、堺ノ日向屋ハ三拾
 萬貫ヲ持タレトモ死タルカ佛ニハナリ候マ
 シ、大和ノ了妙ハ帷ヒラ一ヲモチカ子候ヘ
 トモ此度佛ニナルヘキヨト仰ラレ候由ニ
 候
 一、蓮如上人へ久寶寺ノ法性申サレ候ハ、
 一念ニ後生御タスケ候ヘト彌陀ヲタノミ奉
 リ候計ニテ往生一定ト存候、カヤウニ
 テ御入候カト申サレ候ヘハ、或人ワキヨ
 リソレハイツモノ事ニテ候、別ノコト不審
 ナルコトナト申サレ候ハテト申サレ候ヘ
 ハ蓮如上人仰ラレ候、ソレソトヨワロキト

ハ、メツラシキ事ヲ聞タクオモヒシリタク
 思フナリ、信ノウヘニテハイクタヒモ心中
 ノフモムキニカヤウニ申サルヘキコトナル
 ヨシ仰ラレ候
 一、蓮如上人仰ラレ候、一向ニ不信ノ由
 申サル、人ハヨク候、コトハニテ安心ノト
 ホリ申候テ、口ニハ同コトクニテマキレ
 テ空クナルベキ人ヲ悲ク覺候由仰ラレ
 候ナリ
 一、聖人ノ御一派ハ阿彌陀如來ノ御掟ナ
 リ、サレハ御文ニハ阿彌陀如來ノ仰ラレケ
 ルヤウハトアソハサレ候

一、蓮如上人法敬ニ對セラレ仰ラレ候、今
 此ノ彌陀ヲタノメトイフコトヲ御教ヘ候
 人ヲシリタルカト仰ラレ候、順誓存セスト
 申サレ候、今御ヲシヘ候人ヲイフヘシ、鍛
 冶番匠ナトモ物ヲヲシフルニ物ヲ出スモノ
 ナリ、一大事ノコトナリ、何ソモノヲマイ
 ラセヨイフヘキト仰ラレ候時、順誓ナカナ
 カ何タルモノ成トモ進上イタスヘキト申サ
 レ候、蓮如上人仰ラレ候、此事ヲヲシ
 ル人ハ阿彌陀如來ノワレヲタノメトノ御ヲ
 シヘニテ候由仰ラレ候
 一、法敬坊蓮如上人へ申サレ候、アソハサ

レ候 御名號燒申候 カ六體ノ佛ニナリ申候
 候 不思議ナル事ト申サレ候ヘハ、前々住
 上人其時仰ラレ候、ソレハ不思議ニテモ
 ナキナリ、佛ノ佛ニ御ナリ候ハ不思議ニテ
 モナク、惡凡夫ノ彌陀ヲタノム一念ニテ佛
 ニナルコソ不思議ヨト仰ラレ候ナリ。
 一、朝夕ハ如來聖人ノ御用ニテ候アヒタ、
 冥加ノカタヲフカク存スヘキ由、折々前々
 住上人仰ラレ候由ニ候
 一、前々住上人仰ラレ候、カムトハシル
 トモ吞トシラスナトイフコトカアルソ、妻
 子ヲ帶シ魚鳥ヲ服シ罪障ノ身ナリトイヒ

テ、サノミ思ノマ、ニハアルマシキ由仰ラ
 候。
 一、佛法ニハ無我ト仰ラレ候、我ト思コト
 ハイサ、カアルマシキコト也、ワレハワロ
 シトオモフ人ナシ、コレ聖人ノ御罰ナリト
 御詞候、佗力ノ御ス、メニテ候ユメ、
 我トイフコトハアルマシク候、無我トイフ
 事前住上人モ度々仰ラレ候。
 一、日比シレルトコロヲ善知識ニアヒテト
 へハ徳分アルナリ、シレルトコロヲトへハ
 徳分アルトイヘルカ、殊勝ノコトハナリト
 蓮如上人仰ラレ候、不知處ヲトハ、イカ

ホト殊勝ナルコトアルヘキト仰ラレ候
 一、聽聞ヲ申モ大略我々メトハオモハス。
 ヤ、モズレハ法文ノ一ヲモキ、オホエテ人
 ニウルユ、ロアルトノ仰コトニテ候。
 一、一心ニタノミ奉ル機ハ如來ノヨクシロ
 シメスナリ、彌陀ノ唯シロシメスヤウニ心
 中ヲモツヘシ、冥加ヲオソロシク存スヘキ
 コトニテ候トノ義ニ候。
 一、前住上人仰ラレ候、前々住ヨリ御相續
 ノ義ハ別義ナキナリ、只彌陀タノム一念ノ
 義ヨリ外ハ別義ナク候、コレヨリ外御存知
 ナク候、イカヤウノ御誓言モアルヘキ由仰

ラレ候。
 一、同仰ラレ候、凡夫往生タ、タノム
 念ニテ佛ニナラヌ事アラハ、イカナル御誓
 言ヲモ仰ラレ候ヘキ證據ハ南無阿彌陀佛ナ
 リ、十方ノ諸佛證人ニテ候。
 一、蓮如上人仰ラレ候、物ヲイへト仰
 ラレ候、物ヲ申サヌ者ハオソロシキト仰ラ
 レ候、信不信トモニタ、物ヲイヘト仰ラレ
 候、物ヲ申セハ心底モキコエ又人ニモナラ
 サル、ナリ、タ、物ヲ申セト仰ラレ候。
 一、蓮如上人仰ラレ候、佛法ハツトメノフ
 シハカセモシラテヨクスルト思フナリ、ツ

トメノフシワロキヨシヲ仰ラレ、慶聞坊ヲ
 イツモトリツメ仰ラレツル由ニ候、ソレニ
 付テ蓮如上人仰ラレ候、一向ニワロキ人ハ
 チカヒナト、イフ事モナシタ、ワロキマテ
 ナリ、ワロシト仰コトモナキナリ、法義ヲ
 モコ、ロニカケチトコ、ロエモアル上ノチ
 カヒカ、コトノ外ノ違ヒナリト仰ラレ候
 由ニ候
 一、人ノコ、ロエノトホリ申サレケルニ、
 我コ、ロハタ、カマニ水ヲ入候ヤウニ、佛
 法ノ御座敷ニテハアリカタクモタフトクモ
 存候カ、ヤカテモトノ心中ニナサレ候ト

申サレ候所ニ、前々住上人仰ラレ候、
 ソノカコヲ水ニツケヨ我ミヲハ法ニヒテ、
 フクヘキヨシ仰ラレ候由ニ候、萬事信ナキ
 ニヨリテワロキナリ、善知識ノワロキト仰
 ラル、ハ信ノナキコトヲクセコト、仰ラレ
 候事ニ候
 一、聖教ヲ拜見申スモウカ、トオカミ申
 スハソノ詮ナシ、蓮如上人ハタ、聖教ヲハ
 クレ、ト仰ラレ候、又百遍コレヲミレハ
 義理ヲノツカザウルト申ス事モアレハ心ヲ
 ト、ムヘキコトナリ、聖教ハ句面ノコトク
 コ、ロウヘシ、其上ニテ御傳口業ハアルヘ

キナリ、私ニシテ會釋スルコト然ヘカラサ
 ル事ナリ。
 一、前々住上人仰ラレ候、佗力信心、
 トミレハアヤマリナキヨシ仰ラレ候、我ハ
 カリト思ヒ獨覺心ナルコトアサマシキコト
 ナリ、信アラハ佛ノ慈悲ヲウケトリ申ス上
 ハ、我ハカリト思フコトハアルマシク候
 觸光柔輦ノ願候トキバ心モヤハラクヘキ
 コトナリ、サレハ縁覺ハ獨覺ノサトリナル
 カユヘニ佛ニナラサルナリ。
 一、一句一言モ申ス者ハ我ト思テ物ヲ申ス
 ナリ、信ノウヘハワレハワロシト思ヒ、又

報謝ト思ヒアリカタサノアマリヲ人ニモ申
 スコトナルヘシ。
 一、信モナクテ人ニ信ヲトラレヨ、ト申
 スハ、我ハ物ヲモダスシテ人ニ物ヲトラス
 ヘキトイフ心ナリ、大承引アルヘカラスト
 前住上人申サルト順誓ニ仰ラレ候キ、自信
 教人信ト候時ハ、マツ我カ信心決定シテ
 人ニモ教テ佛恩ニナルトノコトニ候、自身
 ノ安心決定シテ教ルハスナハチ、大悲傳
 普化ノ道理ナル由同ク仰ラレ候
 一、蓮如上人仰ラレ候、聖教ヨミノ聖教ヨ
 マスアリ聖教ヨマスノ聖教ヨミアリ、一交

字ヲモシラテトモ人ニ聖教ヲヨマセ聽聞サ
 セテ、信ヲトラスルハ聖教ヨマスノ聖教ヨ
 ミナリ、聖教ヲハヨメトモ眞實ニヨミモセ
 ス法義モナキハ聖教ヨミノ聖教ヨマスナリ
 ト仰ラレ候。

自信教人信ノ道理也ト仰ラレ候事。

一、聖教ヨミノ佛法ヲ申タテタルコトハナ
 ク候、尼入道ノタクヒノタフトヤアリカタ
 ヤト申サレ候ヲキ、テハ、人カ信ヲトルト、
 前々住上人仰ラレ候由ニ候、何モシラテ
 トモ佛ノ加備力ノ故ニ尼入道ナトノヨロコ
 ハル、ヲキ、テハ人モ信ヲトルナリ、聖教

ヲヨメトモ名聞カサキニタチテ心ニハ法ナ
 キ故ニ人ノ信用ナキ也。

一、蓮如上人仰ラレ候、當流ニハ總體世
 間機ワロシ、佛法ノウヘヨリ何事モアヒハ
 タラクヘキコトナルヨシ仰ラレ候ト云云。

一、同仰ラレ候、世間ニテ時宜シカルヘ
 キハヨキ人ナリトイヘトモ、信ナクハ心ヲ
 フクヘキナリ便ニモナラヌナリ、假令片目
 ツフレ腰ヲヒキ候ヤウナルモノナリトモ信
 心アラン人ヲハタノモシク思フヘキナリト
 仰ラレ候。

一、君ヲ思フハ我ヲ思フナリ、善知識ノ仰

ニ隨ヒ信ヲトレハ極樂へ參ル者ナリ。
 一、久遠劫ヨリ久キ佛ハ阿彌陀佛ナリ、カ
 リニ果後ノ方便ニヨリテ誓願ヲマウケタマ
 フコトナリ。

一、前々住上人仰ラレ候、彌陀ヲタノメ
 ル人ハ南無阿彌陀佛ニ、身ヲハマルメタル
 事ナリト仰ラレ候ト云云、彌冥加ヲ存ス
 ヘキノ由ニ候。
 一、丹後法眼蓮慈 衣裳ト、ノヘラレ前々住
 上人ノ御前ニ伺候サフラヒシ時仰ラレ候、
 衣ノエリヲ御タ、キアリテ南無阿彌陀佛ヨ
 ト仰ラレ候、又前住上人ハ御タ、ミヲタ、

カレ南無阿彌陀佛ニモタレタル由仰ラレ候
 キ、南無阿彌陀佛ニ身ヲハマルメタルト仰
 ラレ候ト符合申候。

一、前々住上人仰ラレ候、佛法ノウヘニ
 ハ事毎ニ付テ空オソロシキ事ト存候ヘク
 候、タ、ヨロツニ付テ油斷アルマシキ事ト
 存候、ヘク由折々ニ仰ラレ候ト云云、佛法
 ニハ明日ト申事有間敷候、佛法ノ事ハイ
 ソケト仰ラレ候ナリ。
 一、同仰ニ今日ノ日ハアルマシキト思ヘ
 ト仰ラレ候、何事モカキイソキテ物ヲ御沙
 汰候由ニ候ナカシタル事ヲ御嫌ノ由

二候、佛法ノウヘニハ明口ノコトヲ今日ス
ルヤウニイソキタル事賞祿ナリ。
一、同仰ニイハク聖人ノ御影ヲ申スハ大
事ノコトナリ昔ハ御本尊ヨリホカハ御座ナ
キコトナリ、信ナクハ必御罰ヲ蒙ルヘキ
由仰ラレ候。
一、時節到來トイフコト用心ヲモシテ其上
ニ事ノ出來候ヲ時節到來トハイフヘシ、無
用心ニテ出來候ヲ時節到來トハイハヌコト
ナリ、聽聞ヲ心カケテノウヘノ宿善無宿善
トモイフ事ナリ、タ、信心ハキクニキハマ
ル事ナル由仰ノ由ニ候。

一、前々住上人法敬ニ對シテ仰ラレ候、マ
キタテトイフモノ知タルカト、法敬御返事
ニマキタテト申スハ一度タテヲマキテ手ヲ
サ、ヌモノニ候ト申サレ候、仰ニイハクソ
レソマキタテワロキナリ、人ニナラサレマ
シキト思フコ、ロナリ、心中ヲハ申出シテ
人ニナラサレ候ハテハ心得ノナラコトア
ルヘカラスト仰ラレ候云云。
一、何トモシテ人ニナラサレ候ヤウニ心中
ヲ持ベシ、我心中ヲ同行ノ中へウチ出シ
テラクヘシ、下トシタル人ノイフコトヲハ

用ヒスシテ必ス腹立スルナリ、アサマシキ
コトナリ、タ、人ニナラサル、ヤウニ心中
ヲ持ベキ義ニ候。
一、人ノ前々住上人へ申サレ候、一念ノ處
決定ニテ候ヤ、モスレハ善知識ノ御コト
ハヲオロソカニ存候由申サレ候ヘハ、仰
ラレ候ハ最モ信ノウヘハ崇仰ノ心アルヘキ
ナリ、サリナカラ凡夫ノ心ニテハ加様ノ心
中ノオコラン時ハ勿體ナキ事トオモヒスツ
ベシト仰ラレシト云云。
一、蓮如上人兼縁ニ對セラレ仰ラレ候、タ
トヒ木ノ皮ヲギルイロメナリトモナワヒ

ソ、タ、彌陀ヲタノム一念ヲヨロコブヘキ
由仰ラレ候。
一、前々住上人仰ラレ候、上下老若ニヨ
ラス後生ハ油斷ニテシソンスヘキノ由仰ラ
レ候。
一、前々住上人御口ノウチ御煩候ニ、オ
リフシ御目ヲフサカレア、ト仰ラレ候、人
ノ信ナキコトヲ思フ事ハ身ヲキリサクヤウ
ニカナシキヨト仰ラレ候由ニ候。
一、同仰ニ我ハ人ノ機ヲカ、ミ人ニシタ
カヒテ佛法ヲ御聞セ候由仰ラレ候、イカ
ニモ人ノスキタル事ナト申サセラレ、ウレ

シヤト存候處ニ又佛法ノ事ヲ仰ラレ候、
 イロ／＼御方便ニテ人ニ法ヲ御聞セ候ツル
 由ニ候
 一、前々住上人仰ラレ候、人々ノ佛法ヲ
 信シテ我ニヨロコバセント思ヘリ、ソレハ
 ワロシ信ヲトレハ自身ノ勝徳ナリ、サリナ
 カラ信ヲトラハ恩ニモ御ウケアルヘキト仰
 ラレ候、又聞タクモナキ事ナリトモ、マコ
 トニ信ヲトルヘキナラハキコシヌスヘキ由
 仰ラレ候
 一、同仰ニマコトニ一人ナリトモ信ヲト
 ルヘキナラハ身ヲ捨ヨ、ソレハスタラヌト

仰ラレ候
 一、アルトキ仰ラレ候、御門徒ノ心得ヲナ
 ラストキコシメシテ老ノ皺ヲノヘ候ト仰ラ
 レ候
 一、アル御門徒衆ニ御尋候、ソナタノ坊
 主心得ノナリタルヲウレシク存スルカト
 御尋候ヘハ、申サレ候寔ニ心得ヲナラ
 サレ、法義ヲ心ニカケラレ候一段アリカタ
 クウレシク存シ候由申サレ候、ソノ時仰
 ラレ候、ワレハナヲウレシク思フヨト仰
 ラレ候
 一、オカシキ事態ヲモサセラレ佛法ニ退屈

仕候者ノ心ヲモクツロケ、其氣ヲモウ
 シナハシテ又アタラシク法ヲ仰ラレ候、誠
 ニ善巧方便アリカタキ事ナリ。
 一、天王寺土塔會前々住上人御覽候テ仰
 ラレ候、アレホトノ多キ人トモ地獄ヘオツ
 ヘシト不便ニ思召候由仰ラレ候、又其
 中ニ御門徒ノ人ハ佛ニナルヘシト仰ラレ
 候、是又アリカタキ仰ニテ候

蓮如上人御一代記聞書本

蓮如上人御一代記聞書末

一、前々住上人御法談已後四五人ノ御兄弟
 へ仰ラレ候、四五人ノ衆寄合談合セヨ、必
 ス五人ハ五人カカラ意巧ニキクモノナル間
 能々談合スヘキノ由仰ラレ候。
 一、タトヒナキ事成トモ人申候ハ、當座
 領掌スヘシ、當座ニ詞ヲ返セハフタ、ヒ
 イハサルナリ、人ノイフ事ヲハタ、フカク
 用心スヘキナリ、是ニ付テアル人アヒタカ
 ヒニアシキ事ヲ申スヘシト契約候シ處ニ、
 スナハチ一人ノアシキサマナルコト申シケ

レハ、我ハ左様ニ存セサレトモ人ノ申ス間
 左様ニ候ト申ス、サレハ此返答アシキトノ
 事ニ候、サナキコトナリトモ當座ハサント
 申ヘキ事ナリ。
 一、一宗之繁昌ト申ハ人ノ多クアツマリ威
 ノ大ナル事ニテハナク候、一人ナリトモ人
 ノ信ヲ取カ一宗ノ繁昌ニ候、然ハ專修正
 行ノ繁昌ハ遺弟ノ念力ヨリ成スト、アソハ
 サレヲカレ候。
 一、前々住上人仰ラレ候、聽聞心ニ入
 レ申サント思フ人ハアリ、信ヲトランス、
 ト思フ人ナシ、サレハ極樂ハタノシムト

テ參ント願ヒノソム人ハ佛ニナラス、彌陀
 フタノム人ハ佛ニナルト仰ラレ候。
 一、聖教ヲスキコシラヘモチタル人ノ子孫
 ニハ佛法者イテクルモノナリ、一タヒ佛法
 フタシナミサフラフ人ハ、オホヤウナレト
 モオトロキヤスキナリ。
 一、御文ハ如來ノ直説ナリト存スヘキ由ニ
 候、形ヲミレハ法然詞ヲ聞ハ彌陀ノ直説ト
 イヘリ。
 一、蓮如上人御病中ニ慶聞ニ何ソ物ヲヨメ
 ト仰ラレ候トキ、御文ヲヨミ申スヘキカト
 申サレ候、サラハヨミ申セト仰ラレ候、三

通二度ツ、六遍ヨマセラレテ仰ラレ候、我
 ツクリタルモノナレトモ殊勝ナルヨト仰ラ
 レ候。
 一、順誓申サレシト云云、常ニハ我前ニテ
 ハイハスシテ後言イフトテ腹立スルコトナ
 リ、我ハサヤウニハ存セス候、我前ニテ申
 ク、ハカケニテナリトモ、我ワロキ事ヲ申
 サレヨ聞テ心中ヲナラスヘキ由申サレ候。
 一、前々住上人仰ラレ候、佛法ノタメト
 思召候ヘハ、ナニタル御辛勞ヲモ御辛勞
 トハ思召レヌ由仰ラレ候、御心マメニテ何
 事モ御沙汰候由ナリ。

一、法ニハアラメナルカワロシ、世間ニハ
 微細ナルトイヘトモ、佛法ニハ微細ニ心ヲ
 モチ、ゴマカニ心ヲハコフヘキ由仰ラレ
 候。

一、トラキハチカキ道理チカキハトラキ道
 理ナリ、燈臺モトクラシトテ佛法ヲ不斷聽
 聞申ス身ハ、御用ヲ厚カウフリテイツモノ
 コト、思ヒ法義ニラロソカナリ、トラク候
 人ハ佛法ヲキ、タク大切ニモトムルコ、ロ
 アリケリ佛法ハ大切ニモトムルヨリキクモ
 ノナリ。
 一、ヒトツコトヲ聞テイツモメツラシク初

タルヤウニ信ノウヘニハアルヘキナリ、タ
 珍シキコトヲキ、タク思フナリ、ヒトツ
 コトヲ幾幾聽聞申ストモ、メツラシクハシ
 メタルヤウニアルヘキナリ。

一、道宗ハタ、一御詞ヲイツモ聽聞申カ
 初タルヤウニ難有由申サレ候。
 一、念佛申モ人ノ名聞ケニオモハレント思
 ヒテタシナムカ大儀ナル由或人申サレ候、
 ツネノ人ノ心中ニカハリ候事。
 一、同行同侶ノ目ヲハチテ冥慮ヲオソレ
 ス、タ、冥見ヲオソロシク存スヘキコトナ
 リ。

一、ハタドヒ正義タリトモシケカラノコトヲ
 停止スヘキ由候、マシテ世間ノ儀停止候
 ハヌコトシカルヘカラス、イヨ、增長ス
 ヘキハ信心ニテ候。
 一、蓮如上人仰ラレ候、佛法ニハマイラ
 セ心ヲロシ、是ヲシテ御心ニ叶ハント思フ
 心ナリ、佛法ノウヘム何事モ報謝ト存スヘ
 キナリト云云。
 一、人ノ身ニハ眼耳鼻舌身意ノ六賊アリテ
 善心ヲウハフ、コレハ諸行ノコトナリ、念佛
 ハシカラス佛智ノ心ヲウルユヘニ貪瞋癡ノ
 煩惱ヲハ、佛入方ヨリ刹那ニケシタマフナ

リ、故ニ貪瞋癡中能生清淨願往生心
 トイヘリ、正信僞ニハ譬如日光覆雲霧
 之下明無聞トイヘリ。
 一、一句一言ヲ聽聞スルトモタ、得手ニ法
 ヲ聞ナリ、タ、ヨクキ、心中ノトホリヲ同
 行ニアヒ談合スヘキコトナリト云云。
 一、前々住上人仰ラレ候、神ニモ佛ニモ
 馴テハ手ヲスヘキコトヲ足ニテスルソト仰
 ラレケル、如來聖人善知識ニモナレ申ホト
 御コ、ロヤスク思ナリ、馴申ホト彌渴仰
 シ心ヲフカクハコフヘキ事尤ナル由仰ラ
 レ候。

蓮如上人御一代記聞書末

一、クテト身ノハタラキトハ似スルモノナ
 リ、心根カヨクナリカタキモノナリ、
 涯分心ノ方ヲ嗜ミ申スヘキコトナリ
 ト云云。

一、衣裳等ニイタルマテ我物ト思ヒ踏タ、
 クル事淺間敷事ナリ、悉ク聖人ノ御用物ニ
 テ候間、前々住上人ハメシ物ナト御足ニ
 アタリ候ヘハ、御イタ、キ候由ウケタマハ
 リ及ヒ候。

一、王法ハ額ニアテヨ佛法ハ内心ニ深ク
 蓄ヨトノ仰ニ候、仁義トイフ事モ端正ア
 ルヘキコトナルヨシニ候。

一、蓮如上人御若年ノ比御迷惑ノコトニテ
 候シ、タ、御代ニテ佛法ヲ仰タテラレント
 思召候、御念力一ニテ御繁昌候御辛勞
 故ニ候。

一、御病中ニ蓮如上人仰ラレ候、御代ニ佛
 法ヲ是非トモ御再興アラント思召候御念
 力一ニテ、カヤウニ命マテ皆々心ヤスクア
 ルコトハ、此法師ヲ冥加ニ叶ニヨリテノコ
 トナリト御自讃アリト云云。

一、前々住上人ハ昔ハコフクメヲメサレ
 候、白小袖トテ御心ヤスク召レ候御事モ
 御座ナク候由ニ候、イロ／＼御カナシカ

リケル事トモ折々御物語候、今々ノ者ハ
 サヤウノ事ヲ承レ候ヲ、冥加ヲ存スヘ
 キノ由クレ／＼仰ラレ候。

一、ヨロツ御迷惑ニテ油ヲメサレ候ハンニ
 モ御用脚ナクヤウ／＼京ノ黒木ヲスコシツ
 、御トリ候テ、聖教ナト御覽候由ニ候、
 又少々八月ノ光ニテモ聖教ヲアソハサレ
 候、御足ヲモ大概水ニテ御洗候、亦二三
 日モ御膳マイリ候ハヌ事モ候由承リヲ
 ヨヒ候。

一、人ヲモ甲斐／＼敷メシツカハレ候ハテ
 アルウヘハ、幼童ノ襦袢ヲモヒトリ御洗

候、存如上人召遣ハレ候小者ヲ御雇ヒ候
 テメシツカハレ候由ニ候、存如上人ハ人
 ヲ五人メシツカハレ候、蓮如上人御隠居ノ
 時モ五人メシツカハレ候、當時ハ御用トテ
 心ノマ、ナル事、ソラオソロシク身モイタ
 クカナシク存スヘキ事ニテ候。

一、前々住上人仰ラレ候、昔ハ佛前侍
 候ノ人ハ本ハ紙絹ニ輻ヲサシ着候、今ハ白
 小袖ニテ結句キカヘヲ所持候、コレ其比ハ
 禁裏ニモ御迷惑ニテ質ヲカレテ、御用ニ
 サセラレ候、引コトニ御沙汰候。

一、又仰ラレ候御貧ク候テ、京ニテ古
 キ綿ヲ御下リ候テ御一人ヒロケ候事アリ、
 又御衣ハカタノ破タルヲメサレ候、白キ御
 小袖ハ美濃絹ノソロキヲモトメ、ヤウ
 一ツメサレ候ヨシ仰ラレ候、當時ハガヤウ
 ノ事ヲモシリ候ハテ、アルヘキヤウニ皆々
 存シ候程ニ冥加ニツキ申ヘシ一大事也。
 一、同行善知識ニハヨク〜チカツクヘ
 シ、親近セサルハ雑修ノ失ナリト禮讚ニテ
 ラハセリ、アシキモノニチカツケハソレニ
 ハ馴シト思ヘトモ惡事ヨリ〜ニアリ、タ
 佛法者ニハ馴チガツクヘキ由仰ラレ候

俗典ニイハク人ノ善惡ハ近習フニヨルト、
 マダソノ人ヲシラントオモハ、ソノ友ヲミ
 ヨトイヘリ、善人ノ敵トハナルトモ惡人ヲ
 友トスルコトナカレトイフ事アリ。
 一、キレバ彌カタク仰ケバ彌カクシトイフ
 コトアリ、物ヲキリテミテカタキトシルナ
 リ、本願ヲ信ジテ殊勝ナルホトモシルナ
 リ、信心ヲオコリヌレハタフトクアリカタ
 クヨロコヒモ増長アルナリ。
 一、凡夫ノ身ニテ後生タスカルコトハタ、
 易キトハカク思ヘリ、難中之難トアレハ
 クオコシ難キ信ナレトモ、佛智ヨリ易ク得成

就シタマフ事ナリ、往生ホトノ一大事凡夫
 ノハカラフヘキニアラストイヘリ、前住上
 人仰ニ後生一大事ト存スル人ニハ、御同心
 アルヘキヨシ仰ラレ候ト云云。
 一、佛説ニ信謗アルヘキヨシ説ヲキタマヘ
 リ、信スル者ハカリニテ謗スル人ナクハ、
 トキヲキタマフコトイカ、トモ思フヘキ
 ニ、ハヤ謗スルモノアルウヘハ信センニラ
 イテハ、必往生決定トノ仰ニ候。
 一、同行ノマヘニテハヨロコフモノナリ、
 コレ名聞ナリ信ノウヘハ一人居テヨロコフ
 法ナリ。

一、佛法ニハ世間ノヒマヲ闕テキクヘシ、
 世間ノ隙ヲアケテ法ヲキクヘキ様ニ思フ事
 淺間敷コトナリ、佛法ニハ明日トイフ事ハ
 アルマシキ由ノ仰ニ候、タトヒ大千世界ニ
 ミテラン火ヲモスキユキテ、佛ノ御名ヲキ
 ク人ハナカク不退ニカナンナリト和讃ニア
 ソハサレ候。
 一、法敬申サレ候ト云云、人ヨリ合雜談ア
 リシナカハニアル人フト座敷ヲ立レ候、上
 人イカニト仰ケレハ一大事ノ急用アリトテ
 タレケリ、其後先日ハイカニフトタレ
 候ヤト問ケレハ申サレ候、佛法ノ物語約

蓮如上人御一代記開書末

東申タル間アルモアラレスシテマカリタチ
 候由申サレ候、法義ニハカヤウニソ心ヲ
 カケ候ヘキ事ナル由申サレ候。
 一、佛法ヲアルシトシ世間ヲ客人トセヨト
 イヘリ、佛法ノウヘヨリハ世間ノコトハ、時
 ニシタカヒ相ハタラクヘキ事ナリト云云。
 一、前々住上人南殿ニテ存覺御作分ノ聖
 教、チト不審ナル所ノ候、ヲイカ、トテ、
 兼縁前々住上人ニ御目ニカケラレ候ヘハ、
 仰ラレ候名人ノセラレ候物ヲハリノマ、
 ニテ置コトナリ、コレカ名譽ナリト仰ラレ
 候也。

一、前々住上人へアル人申サレ候、開山ノ
 御時ノコト申サレ候、是ハイカヤウノ子細
 ニテ候ト申サレケレハ、仰ラレ候我モシ
 ラヌコトナリ、何事モシラヌコトヲモ
 開山ノメサレ候ヤウニ御沙汰ト仰ラレ候、
 一、總體人ニハヲトルマシキト思フ心ア
 リ、此心ニテ世間ニハ物ヲシナラフナリ、
 佛法ニハ無我ニテ候ウヘハ人ニマケテ信ヲ
 トルヘキナリ、理ヲミテ情ヲオルコソ佛ノ
 御慈悲ヨト仰ラレ候。
 一、一心トハ彌陀ヲタノメハ如來ノ佛心ト
 ヒトツニナシタマフカユヘニ一心トイヘ

リ。
 一、或人申サレ候ト云云、我ハ井ノ水ヲノ
 ムモ佛法ノ御用ナレハ、水ノ二口モ如來聖
 人ノ御用ト存候由申サレ候。
 一、蓮如上人御病中ニ仰ラレ候、御自身何
 事モ思召立候コト、戒行ホドノコトハ、
 レトモ成ラストイフコトナシ、人ノ信ナキ
 コトハカリカナシク御ナケキニ思召ノ由仰
 ラレ候。
 一、同仰ニ何事ヲモ思召マ、ニ御沙汰ア
 リ、聖人ノ御一流ヲモ御再興候テ、本堂
 御影堂ヲモタテラレ、御住持ヲモ御相續ア

我テ坂坂殿ヲ御建立有テ御隱居候然ハ
 我ハ功成名遂テ身退ハ天ノ道也ト云フコ
 ト、其御身ノ上ナルヘキヨシ仰ラレサフ
 ラフ候。
 一、敵ノ陣ニ火ヲトモスヲ火ニテナキドハ
 思ハズ、イガナル人ナリトモ御コトハソト
 ホリヲ申シ、御詞ヲヨミ申サハ信仰シウケ
 然マハルヘキ事ナリト。
 一、蓮如上人オリ、仰ラレ候、佛法ノ義
 ヲハ能々人ニトベ、物ヲハ人ニヨクトヒ申
 セツ自シ仰ラレ候、誰ニトヒ申スヘキ由ウ
 カ、ヒ申ケレハ、佛法タニモアラハ上下ヲ

イハストフヘシ、佛法ハシリサフモナキモ
 シカ知ツト仰ラレ候ト云云。
 一、蓮如上人無紋ノモノヲキルコトヲ御キ
 ラヒ候、殊勝サフニミユルトノ仰ニ候、又
 スミノ黒キ衣ヲキ候ヲ御キラヒ候、黒ノク
 ロキ衣ヲキテ御前へ參レハ仰ラレ候、衣紋
 タ、シキ殊勝ノ御僧ノ御出候ト仰ラレ候
 テ、イヤワレハ殊勝ニモナシタ、彌陀ノ本
 願殊勝ナルヨシ仰ラレ候。
 一、大坂殿ニテ紋ノアル御小袖ヲメサセラ
 レ御座ノ上ニ掛ラレテヲカレ候由ニ候。
 一、御膳マイリ候時ニハ御合掌アリテ、如

來聖人ノ御用ニテ衣食ヨト仰ラレ候。
 一、人ハアカリクテオチハラシラヌナ
 リ、タ、ツ、シミテ不斷ソラオソロシキコ
 ト、毎事ニ付テ心ヲモツヘキノ由仰ラレ
 候。
 一、往生ハ一人ノシノキナリ、一人々々佛
 法ヲ信シテ後生ヲタスカル事ナリ、ヨソ事
 ノヤウニ思フ事ハ且ハ我身ヲシラヌコトナ
 リト圓如仰候ヒキ。
 一、大坂殿ニテ或人前々住上人ニ申サレ
 候、今朝曉ヨリ老タル者ニテ候カ參ラレ
 候、神變ナルコトナル由申サレ候ヘハ、ヤ

カテ仰ラレ候、信タニアレハ辛勞トハオモ
 ハヌナリ、信ノウヘハ佛恩報謝ト存シ候ヘ
 ハ苦勞トハ思ハヌナリト仰ラレシト云云、
 一、老若ト申スハ田上ノ了宗ナリト云云、
 一、南殿ニテ人々ヨリアヒ心中ヲ何カトア
 ツカヒ申所へ、前々住上人御出候テ仰ラ
 レ候、何事ヲイフソタ、何事ノアツカヒモ
 思ヒステ、一心ニ彌陀ヲウタカヒナクタ
 ノムハカリニテ、往生ハ佛ノカタヨリ定マ
 シマスソ其證ハ南無阿彌陀佛ヨ、此ウヘハ
 何事ヲカアツカフヘキソト仰ラレ候、若不
 審ナトヲ申ニモ多事ヲタ、御一言ニテハラ

リト不審ハレ候ヒシト云云。
 一、前々住上人、オトロカスカヒコソナケ
 レ村雀耳ナレヌレハナルコニソノル、此歌
 ヲ御引アリテ折々仰ラレ候、タ、人ハ皆耳
 ナレ雀ナリト仰ラレシト云云。
 一、心中ヲアラタメシトマテハ思フ人アレ
 トモ、信ヲトラント思フ人ハナキナリト仰
 ラレ候。
 一、蓮如上人仰ラレ候、方便ヲワロシト
 イフ事ハ有間敷ナリ、方便ヲ以テ眞實ヲア
 ラハス廢立ノ義ヨク、シルヘシ、彌陀釋
 迦善知識ノ善巧方便ニヨリテ、眞實ノ信ヲ

ハウルコトナル由仰ラレ候ト云云。
 一、御文ハコレ凡夫往生ノ鏡ナリ、御文ノ
 ウヘニ法問アルヘキヤウニ思フ人アリ、大
 ナル誤リナリト云云。
 一、信ノウヘハ佛恩ノ稱名退轉アルマシキ
 事ナリ、或ハ心ヨリタフトク有難ク存スル
 ヲハ佛恩ト思ヒ、タ、念佛ノ申サレ候ヲハ、
 ソレホトニ思ハサルコト大ナル誤リナリ、
 自ラ念佛ノ申サレ候コソ、佛智ノ御モヨホ
 シ佛恩ノ稱名ナレト仰事ニ候。
 一、蓮如上人仰ラレ候、信ノウヘハタフ
 ノク思ヒテ申ス念佛モ、マタフト申ス念佛

モ佛恩ニツサハルナリ、陀宗ニハ親ノ御
 マタナニノタメナリトハテ念佛ヲツ
 リ、聖人御一流ニハ彌陀ヲタシムカ念佛ナ
 リ、其ウヘノ稱名ハナニトモアレ、佛恩ニ
 ナルモノナリト仰ラレ候云云。
 一、或人イハク前々住上人ノ御時南殿ハ
 ランニテ人蜂ヲ殺シ候ニ、思ヒヨラヌ念佛
 申サレ候、其時何ト思フテ念佛ヲハ申タル
 ト仰ラレ候ハ、タ、カアイヤト存ス候ハ
 カハ申候ト申サレケレハ、仰ラレ候ハ
 信ノ渺ハ何トモアレ、念佛申ハ報謝ノ義
 ト存スヘシ、皆佛恩ニナルト仰ラレ候。

一、南殿ニテ前々住上人ノウレンヲ打アテ
 ラレテ御出候トテ、南無阿彌陀佛ノト
 仰ラレ候テ、法敬此心シツタルガト仰意
 候、ナニトモ存セスト申サレ候ハ、仰
 レ候コレハ我ハ御タスケ候、御ウレシヤタ
 フトヤト申心ヨト仰ラレ候云云。
 一、蓮如上人ハ或人安心ノトホリ申サレ候
 (西國ノ人ト云云)安心ノ一通ヲ申サレ候ヘ
 ハ、仰ラレ候申候コトク心中ニ候ハ、
 ソレカ肝要ト仰ラレ候。
 一、同仰ラレ候、當時コトハニテハ安心
 ノトホリ同ヤウニ申サレ候ヒシ、然者信治

定人ニ紛テ往生ヲシソンスヘキコトヲガ
 ナシク思召候由仰ラレ候。
 一、信ノウヘハ大サカサキ事ハ有問敷
 候、或ハ人ハ心ヒ候ナト、アシキ事ナトハ
 アルマシク候、今度生死ノ結句ヌキリテ安
 樂ニ生セント思ハシ人、イカントシテアシ
 キカマナル事ヌスヘキヤト仰ラレ候。
 一、仰ニイハク佛法ヲハサシヨセテイヘイ
 ヘト仰ラレ候、法敬ニ對シ仰ラレ候、信心
 安心トイヘハ愚癡ノモノハ文字モシラヌナ
 リ、信心安心ナトイヘハ別ノ様ニモ思フナ
 リ、タ、凡夫ノ佛ニナルコトヲヌシフヘ

シ、後生タスケタマヘト彌陀ヲタノメトイ
フヘシ、何タル愚癡ノ衆生ナリトモ聞テ信
ヲトルヘシ、當流ニハコレヨリホカノ法門
ハナキナリト仰ラレ候、安心決定鈔ニイ
ハク、淨土ノ法門ハ第十八ノ願ヲヨク
コ、ロウルノホカニハナキナリトイヘリ、
然ハ御文ニハ一心一向ニ佛タスケタマヘト
申サン衆生ヲハ、縦ヒ罪業ハ深重ナリトモ
必ス彌陀如來ハスクヒマシマスヘシ、コレ
スナハチ、第十八ノ念佛往生ノ誓願ノ意ナ
リトイヘリ。

一、信ヲトラヌニヨリテワロキツ、タ、信
ヲトレト仰ラレ候、善知識ノワロキト仰ラ
レケルハ、信ノナキコトワロキト仰ラレ
、ナリ、然者前々住上人或人ヲ言語道斷ワ
ロキト仰ラレ候處ニ、其人申サレ候何
事モ御意ノコトクト存候ト申サレ候ラヘ
ハ仰ラレ候フツトワロキナリ、信ノナキ
ハワロクハナキカト仰ラレ候ト云云。
一、蓮如上人仰ラレ候、何タル事ヲキコ
シメシテモ御心ニハユメ、不レ叶ナリト、
一人ナリトモ人ノ信ヲトリタルコトヲキコ
シメシタキト御獨言ニ仰ラレ候、御一生ハ
人ニ信ヲトラセタク思召シ仰由仰ラレ候

一、聖人ノ御流ハタノム一念ノ所肝要ナ
リ、故ニタノムトイフコトヲハ代々アツハ
シラカレ候ヘトモ、委ク何トタノメトイフ
コトヲシラサリキ、然ハ前々住上人ノ御代
ニ御文ヲ御作候テ雜行ヲステ、後生タスケ
タマヘト一心ニ彌陀ヲタノメトアキラカニ
シラセラレ候、然ハ御再興ノ上人ニテマシ
マスモノナリ。

一、ヨキコトヲシタルカワロキコトアリ、
ワロキ事ヲシタルカヨキ事アリ、ヨキコト
ヲシテモ我ハ法義ニ付テヨキ事ヲシタルト
思ヒ、我トイフ事アレハワロキナリ、アシ
キ事ヲシテモ心中ヲヒルカヘシ本願ニ歸ス
レハ、ワロキ事ヲシタルカヨキ道理ニナル
由仰ラレ候、シカレハ蓮如上人ハマイラセ
心カワロキト仰ラレ、ト云云。
一、前々住上人仰ラレ候、思ヒヨラヌ者
カ分ニ過テ物ヲ出シ候ハ、一子細アルハキ
ト思フヘシ、我コ、ロナラヒニ人ヨリモノ
ヲイタセハウレシク思フ程ニ、何ソ用ヲイ
フヘキ時ハ人カサヤウニスルナリト仰ラレ
候。

ミテワ勤身シウヘツコトヲタシナマスハ
 一、大事タシヘテ仰ラレ候。
 二、善知識ノ仰ナリト成ルマシナシト思
 フハ、大ナルアサヤシキコトナリ、成サレ事
 ナリトモ仰ナラハナルヘキト存スヘシ。此
 凡夫ノ身カ佛ニ成ルベシハサテアルマシキ
 亦存スルコトアルヘキカ、然ハ道宗近江ノ
 湖又一人シテ、オホセサフ仰候トモ畏リタ
 ルト申ヘク候、オホセサフ仰候トモ畏リタ
 ルヘキカ被_レ申候。
 一、イタリテカタク、石ナリ、至テヤハラカ
 ナル、水ナリ、水ヨク石ヲ穿ツ、心源モシ徹

シナハ、菩提ノ覺道何事カ成セサラントイ
 ヘル古き詞アリ、イカニ不信ナリトモ聽聞
 コロ、心ニイレマウサハ、御慈悲ニテ候間、信
 フウヘキナリ、只佛法ハ聽聞ニキハマルコ
 トナリト云云。
 一、前々住上人仰ラレ候、信決定ハ人ヲ
 ミテアツコトクナラテハト思ヘナルソト
 仰ラレ候、アツコトクニナリテコソト思ヒ
 スツルコト淺間敷トナリ、佛法ニハ身ヲ
 ステ、ノツミモ、心ヨリ信ヲ得ルコ
 トナリト云云。
 一、人ノワキキコトク、オホセサフ仰候トモ畏リタ
 ルヘキカ被_レ申候。

リ、我身ノワキキコトハオホセサルモ、ナ
 リ、我身ニシラレテワキキコトアラハ、ヨク
 ヲ、ワロケレハコソ身ニシラレ候トオモヒ
 テ心申ヲアラタムヘシ、タ、人ノイヌコト
 ヲハヨク信用スヘシ、我ワキキコトハオホ
 エサルモノナル由仰ラレ候。
 一、世間ノ物語アル座敷ニテハ結句法義ノ
 コトヲイフ事モアリ、サヤツノ段ハ人ナミ
 タルヘシ心モハ油斷有ヘカラス、アルヒハ
 講談又ハ佛法ノ讚嘆ナトイフ時、一向ニ物
 ヲイハサルコト大ナル違ナリ、佛法讚嘆ト
 アラン時、イカニモ心中ヲノコサス、オホセサフ仰候トモ畏リタ
 ルヘキカ被_レ申候。

タカヒニ信不信ノ義談合申スヘキコト也ト
 云云。
 一、金森ノ善從ニ或人申テ候、此間サコ
 ソ徒然ニ御入候、ヒツラント申シケレハ、
 善從申サレ候、我身ハハナニアルマテ徒
 然トイフコトヲシラス、ソノ故ハ彌陀ノ御
 恩ノ有難ホトヲ存シ、和讃聖教等ヲ拜見申
 候ヘハ、心面自モ又タフトキコト充滿スルユ
 へニ、徒然ナルコトモ更ニナク候ト申サレ
 候由ニ候。
 一、善從申サレ候トテ前住上人仰ラレ候、
 アル人善從ト宿所へ行候處ニ、履ヲ脱

蓮如上人御一代記聞書末

候ハヌニ佛法ノコト申ジカケラレ候、又或
 人申サレ候ハ履ヲサヘヌカレ候ハヌニイソ
 キカヤウニハ何トテ仰候ソト人申ケレ
 ハ、善從申サレ候ハイツルトキハ入ルヲマ
 タヌ浮世ナリ、モシ履ヲヌカレヌマニ死去
 候ハ、イカ、候ヘキト申サレ候、タ、佛法
 ノ事ヲハサシ急申スヘキノ由仰ラレ候
 一、前々住上人善從ノ事ヲ仰ラレ候、イマ
 タ野村殿御坊其沙汰モナキトキ神無森ヲト
 ホリ國へ下向ノ時興ヨリオリラレ候テ、
 野村殿ノ方ヲサシテ此トホリニテ佛法カヒ
 ラケ申ヘシト申サレ候シ、人々是ハ年ヨリ

テカヤウノコトヲ申サレ候ナリ申ケレハ、
 終ニ御坊御建立ニテ御繁昌候、不思議ノ
 コト、仰ラレ候キ、又善從ハ法然ノ化身ナ
 リト世上ニ人申ツルト同仰ラレ候キ、彼
 往生ハ八月二十五日ニテ候
 一、前々住上人東山ヲ御出候テ何方ニ
 御座候トモ人不存候シニ、此善從アナタ
 コナタ尋申サレケレハ、有所ニテ御目ニカ
 、ラレ候、一段御迷惑ノ體ニテ候ツル間前
 々住上人ニモサタメテ善從カナシマレ申ヘ
 キト思召シ候ヘハ、善從御目ニカ、ラレア
 ラアリカタヤ、早佛法ヒラケ申ヘキヨト

申サレ候、終ニ此詞符合候、善從ハ不思議
 人ナリト蓮如上人仰ラレ候シ由上人
 仰ラレ候キ
 一、前住上人先年太永三、蓮如上人二十五
 年之三月始比、御夢御覽候、御堂上壇南
 ノ方ニ前々住上人御座候テ紫ノ御小袖ヲ
 メサレ候、前住上人へ對シマイラセラレ仰
 ラレ候、佛法ハ讚嘆談合ニキハマル、ヨクヨ
 ク讚嘆スヘキ由仰ラレ候、誠ニ夢想トモイ
 フヘキコトナリト仰ラレ候キ、然バソノ年
 殊ニ讚嘆ヲ肝要ト仰ラレ候、ソレニ付テ仰
 ラレ候ハ、佛法ハ二人居テ悦フ法也、一人

居テサヘタフトキニマシテ二人ヨリアハ、
 イカホトアリカダカルヘキ、佛法ヲハタ、
 ヨリ合ノ談合申セソ由仰ラレ候也
 一、心中ヲ改メ候ハ、何ヲカマ
 ツ改メ候ハ、何ヲカマ、萬ツワロキコト
 ヲ改メテト加様ニ仰ラレ候、イロヲタテキ
 ハヲ立テ申出テ改ムヘキ事ナリト云云、ナ
 ニ、テモアレ人ノナヲサル、ヲキ、テ我モ
 ナホルヘキト思フテ我トカラ申イタサヌハ
 ナララヌソト仰ラレ候ト云云
 一、佛法談合ノトキ物ヲ申サヌハ信ノナキ
 ヌヘナリ、我心ニタクミ案シテ申スヘキヤ

ウニ思ヘリ、ヨソナル物ヲタツチイダスヤ
 ウナリ、心ニウレシキ事ハ其儘ナルモノナ
 リ、寒ナレハ寒、熱ナレハ熱トシマ、心ノ
 トホリヲイフナリ、佛法ノ座敷ニテ物ヲ申
 サヌコトハ不信ノ故ナリ、マタ油斷トイフ
 事モ信ノウヘノ事ナルヘシ、細々同行ニヨ
 リ合讚嘆申サハ油斷ハアルマシキ由ニ候
 一、前々住上人仰ラレ候、一心決定ノ
 ウヘ彌陀ノ御タスケアリタリトイフハ、サ
 ホリノカタニシテワロシ、タノム所ニテタ
 スケタマヒ候事ハ歴然ニ候ヘ共御タスケア
 ラフスホイフテ然ルヘキ由仰ラレ候云

云、一念歸命ノ時不退ノ位ニ住ス、スレ不
 退ハ密益也是涅槃分ナル由仰ラレ候ト云云
 一、徳大寺ノ唯蓮坊攝取不捨ノコトハリラ
 シリタキト、雲居寺ノ阿彌陀ニ祈誓アリケ
 レハ夢想ニ、阿彌陀ノ今人ノ袖ヲトラヘ
 タマフニ、ニケ、ントモシカトラヘテハ
 ナシタマハス、攝取トイフハニクル者ヲト
 ラヘテヲキタマフヤウナルコト、コ、ニテ
 思付タリ是ヲ引言ニ仰ラレ候
 一、前々住上人御病中ニ兼譽兼縁御前ニ伺
 候シテ、アル時尋申サレ候、冥加トイフ事ハ
 何トシタルコトニテ候ト申セハ仰ラレ候

冥加ニ叶下イフハ彌陀ヲタノム事ナルヨシ
 仰ラレ候ト云云。
 一、人ニ佛法ノ事ヲ申テヨロコハレハ、ワ
 レハソノ悦ブ人ヨリモホタフトク思フヘ
 キリ、佛智ヲツタヘ申スニヨリテカヤクニ
 存セラレ候事ト思ヒテ佛智ノ御方ヲ有難ク
 存セラルヘシトソ義ニ候。
 一、御文ヲヨミテ人ニ聽聞サセントモ報謝
 ト存スヘシ一句一言モ信ノ上ヨリ申セハ人
 ノ信用モアリマタ報謝トモナルナリ。
 一、蓮如上人仰ラレ候、彌陀ノ光明ハタ
 下ヘハズレタル物ヲホスニハウヘヨリヒテ

下ニテヒルコトクナル事也是ハ日ノ力ナ
 リ、決定ノ心オコル是則他力ヲ御所作
 ナリ、罪障ハ悉ク彌陀ノ御ケシアルコト
 ナリ、自シ仰ラレ候ト云云。
 一、信心決定ノ人ハ誰ニヨラスマツミレハ
 スナハチタフトクナリ候、コレソノ人ノタ
 ラトキニアラス佛智ヲエラル、カエヘナレ
 ハ彌陀佛智ノアリカタキホトヲ存スヘキ
 コトナリト云云。
 一、蓮如上人御病中ノ時仰ラレ候、御自身
 何事モ思召ノゴサ、ルコトナシト但御兄弟
 冥申ソ外誰ニモ信ノナキヲカナシク思召

蓮如上人御二代記開書末

候、世間ニハヨミチノサハリトイフコトアリ、我ニヲイテハ往生スルトモソレナシ、タ、信ノチキ事コレヲ歎シク思召候ト仰ラレ候。

一、蓮如上人アルヒハ人ニ御酒ヲモ下サレ物ヲモ下サレテ、カヤウノ事トモ有難存セサセ近ツケサセラレ候。テ佛法ヲ御キカセ候、サレハカヤウニ物ヲ下サレ候事モ信ヲトラセラルヘキタメト思召セハ、報謝ト思召候。由仰ラレ候ト云云。

一、同仰ニイハク心得タト思フハ心得又ナリ、心得ヌト思フハコ、ロエタルナリ、

彌陀ノ御タスケアルヘキコトノタフトサヨト思カ心得タルナリ、少モ心得タルト思フコトハアルマシキコトナリト仰ラレ候、サレハ口傳鈔ニイハク、サレハコノ機ノウヘニタモツトコロノ彌陀ノ佛智ヲツノランヨリホカハ凡夫イカテカ往生ノ得分アルヘキヤトイヘリ。

一、加州菅生ノ願生坊主ノ聖教ヲヨマレ候、ヲキ、テ、聖教ハ殊勝ニ候ヘトモ信カ御入ナク候間、タフトクモ御入ナキト申サレ候、此コトヲ前々住上人キコシメシ蓮智ヲメシノホセラレ、御前ニテ不斷聖教

ヲモヨマセラレ法義ノコトヲモ仰セキカセラレテ願將ニ仰ラレ候、蓮智ニ聖教ヲモヨミナラハセ佛法ノ事ヲモ仰キカセラレ候ヨシ仰ラレ候テ國へ御下シ候、其後ハ聖教ヲヨマレ候ヘハ、今コソ殊勝ニ候ヘトテアリカタカラレ候由ニ候。

一、蓮如上人幼少ナル者ニハマツ物ヲヨメト仰ラレ候、又其後ハイカニヨムトモ復セスハ詮アルヘカラサル由仰ラレ候、チト物ニ心モ付候ヘハ、イカニ物ヲヨミ聲ヲヨク讀シリタルトモ義理ヲワキマヘテコソト仰ラレ候、其後ハイカニ文釋ヲ覺タリトモ信

カナクハイタツラ事ヨト仰ラレ候。

一、心中ノトホリ或人法敬坊ニ申サレ候、御詞ノ如クハ覺悟仕候ヘトモ、タ、油斷不沙汰ニテアサマシキコトノミニ候ト申サレ候、其時法敬坊申サレ候、ソレハ御詞ノコトクニテハナク候、勿體ナキ申サレ事ニハサレ候ヘト申サレ候ト云云。

一、法敬坊ニ或人不審申サレ候、コレホト佛法ニ御心ヲモイラレ候、法敬坊ノ尼公ノ不信ナルイカ、ノ義ニ候由申サレ候ヘハ、法敬申サレ候、不審サルコトナレトモ、

蓮如上人御一代記開書末

コレホト朝夕御文ヲヨミ候ニ驚キ申サヌ心
 申カ、ナニカ法敬カ申分ニテ聞入候ヘキ
 ト申サレ候ト云云。
 一、順誓申サレ候、佛法ノ物語申ニカ勿
 ニテ申候段ハ、ナニタルヲロキ事ヲカ申
 ヘキト存シ脇ヨリ汗タリ申候、前々住
 人聞召所ニテ申時ハ、ワロキ事ヲハヤカ
 フ御ナラシアルヘキト存候間、心安ク存
 候テ物ヲモ被申候由ニ候。
 一、前々住上人仰ラレ候、不審ト一向シ
 ラスト、谷別ナリ、知ヌコトヲモ不審ト申
 ス事イハレナク候物ヲ分別シテ、アレハナ

ニト不審ト申マキラカシ候由仰ラレ候。
 一、前々住上人仰ラレ候、御本寺御坊ヲ
 ハ聖人御存生之時ノヤウニ思召サレ候、御
 自身御留主ヲ當座御沙汰候、然トモ御恩
 ヲ御志候事ハナク候ト、御齋ノ御法談ニ
 被仰候ヒキ、御齋ヲ御受用候間ニモ少
 毛御忘候事ハ御入ナキト仰ラレ候。
 一、善如上人、緯如上人、兩御代ノ事、前住
 上人仰ラレ候コト、兩御代ノ威儀ヲ本ニ御
 沙汰候ヒシ由仰ラレシ、然ハ今ニ御影ニ御

入候由仰ラレ候、黄袈裟黄衣ニテ候然
 前々住上人ノ御時アマタ御流ニソムキ
 候、本尊以下御風呂ノタヒコトニヤカセラ
 レ候、此二幅ノ御影ヲモヤカセラルヘキニ
 テ御取去候ヒツルカ、イガ、思召候ヒツ
 ルヤラシ、表紙ニ書付ヲヨシワロシトアソ
 ハサレテトリテカセラレ候、此事今御
 思案候ヘハ御代ノウチサヘカセウニ御チカ
 ヒ候、マシテイバンヤ我等式ノ者ハ違タル
 へキ間、一大事ト存ツ、シヌヨトノ御事ニ
 候、今思召アハセラレ候由仰ラレ候ナ
 リ、又ヨシワロシトアソハサレ候コト、ワ

ロシトハカリアソハシ候ヘハ先代ノ御事ニ
 テ候ヘハト思召、カヤヅニアソハサレ候
 事ニ候ト仰ラレ候、又前々住上人ノ御時
 マタ昵近ノカタカタチカヒ申事候、彌
 一、大事ノ佛法ノコトヲバ心ヲトメテ、細
 々人ニ問心得申ヘキノ由仰ラレ候。
 一、佛法者ノ少ノ違ヲ見テハアノウヘサヘ
 カヤウニ候トオモヒ、我身ヲカゲ嗜ムヘ
 キ事ナリ、シカルヲアノウヘサヘ御チカヒ
 候、マシテワレラハチカヒ候ハテバト思フ
 コ、ロ、オホキナルアサマシキ事ナリ云云。
 一、佛恩ヲ嗜ムト仰候事、世間ノ物ヲ嗜

ムナト、イフヤウナルコトニテハナシ、信
 ノウヘニタフトク難有存シヨロコヒ申ス
 透間ニ懈怠申ス時、カ、ル廣大ノ御恩ヲワ
 スレ申スコトノアサマシサヨト、佛智ニタ
 チカヘリテ有難ヤタフトヤト思ヘハ、御モ
 ヨホシニヨリ念佛ヲ申スナリ、嗜ムトハコ
 レナル由ノ義ニ候。

一、佛法ニ厭足ナケレハ法ノ不思議ヲキク
 トイヘリ、前住上人仰ラレ候、タトヘハ世
 上ニワカスキコノムコトヲハシリテモ、
 猶能シリタク思フニ、人ニトヒイクタヒモ
 數奇タル事ヲハ聞テモ、能キ、タク思

フ、佛法ノ事モイクタヒ聞テモアカ事ナ
 リ、シリテモ存タキ事ナリ、法義ヲハ
 幾度モイクタヒモ人ニトヒキハメ申スヘキ
 事ナル由仰ラレ候。

一、世間ヘツカフ事ハ佛ノ物ヲ徒ラニスル
 コトヨトオソロシク思フヘシ、サリナカラ
 佛法ノ方ヘハイカホト物ヲ入テモアカ道
 理ナリ、又報謝ニモナルヘシト云云。

一、皆人毎ニヨキコトヲイヒモシ、動モス
 ルコトアレハ、眞俗トモニソレヲワカヨキ
 者ニハヤナリテ、ソノ心ニテ御恩トイフコ
 トハウチワスレテ、ワカコ、ロ本ニナルニ

ヨリテ冥加ニツキテ世間佛法トモニ悪キ心
 カ必ス、出来スルナリ一大事ナリト云云。

一、堺ニテ兼縁前々住上人へ御文ヲ御申
 候、其時仰ラレ候年モヨリ候ニムツカシキ
 コトヲ申候、マツワロキコトヲイフヨト
 仰ラレ候、後ニ仰ラレ候ハタ、佛法ヲ信セ
 ハ、イカホトナリトモアソハシテ然ルヘキ
 由仰ラレシト云云。

一、同ク堺ノ御坊ニテ前々住上人夜更テ蠟
 燭ヲトモサセ名號ヲアソハサレ候其時仰
 ラレ候御老體ニテ御手モ振ヒ御目モカスミ
 候ヘトモ、明日越中ヘクダリ候ト申候

ホトニカヤウニアソハサレ候、辛勞ヲカヘ
 リミラレスアソハサレ候ト仰ラレ候、シカ
 レハ御門徒ノタメニ御身ヲハステラレ候
 人ニ辛勞ヲモサセ候ハテタ、信ヲトラセタ
 ク思召候由被仰候。

一、重寶ノ珍物ヲ調へ經營ヲシテモテナセ
 トモ食セサレハソノ詮ナシ、同行寄合讚嘆
 スレトモ信ヲトル人ナケレハ、珍物ヲ食セ
 サルト同事ナリト云云。

一、物ニアクコトハアレトモ、佛ニ成ルコ
 ト、彌陀ノ御恩ヲ喜フトハアキタル事ハナ
 シ、焼トモ失モセス重寶ハ南無阿彌陀佛ナ

然ハ彌陀ノ廣大ノ御慈悲殊勝ナリ、信有ル人ヲ見ルサヘタフトシ。ヨクノ御慈悲ナリト云云。

一、信決定ノ人ハ佛法ノ方ヘハ身ヲカロクモツヘシ、佛法ノ御恩ヲハオモクウヤマフヘシト云云。

一、蓮如上人仰ラレ候、宿善メテタシトイフハワロシ、御一流ニハ宿善有難ト申カヨク候由仰ラレ候。

一、他宗ニハ法ニズヒタルヲ宿縁トイフ、當流ニハ信ヲトルコトヲ宿善トイフ、信心ヲウルコト肝要ナリ、サレハコノ御ヲシヘ

ニハ群機ヲモラサヌエニ、彌陀ノ教ヲハ弘教トモイフ也。

一、法門ヲハ申ニハ當流ノコ、口ハ、信心ノ一義ヲ申被レ立タル肝要ナリト云云。

一、前々住上人仰ラレ候、佛法者ニハ法ノ威力ニテ成ナリ、威力テナクハナルヘカラスト仰ラレ候、サレハ佛法ヲハ學匠物シリハイヒダテス、タ、一文不知ノ身モ信アル人ハ佛智ヲ加ヘラル、故ニ、佛力ニテ候間人カ信ヲトルナリ、此故ニ聖教ヨミトテシカモ我ハト思ハン人ノ佛法ヲイヒタテタルコトナシト仰ラレ候事ニ候、タ、ナニ

シラ子トモ信心定得ノ人ハ、佛ヨリイハセラル、間人カ信ヲトルトノ仰ニ候。

一、彌陀ヲタシメテ南無阿彌陀佛ノ主ニナルナリ、南無阿彌陀佛ノ主ニ成トイフハ信心ヲウルコトナリ云云、又當流ノ眞實ノ實トイフハ南無阿彌陀佛コレ一念ノ信心ナリト云云。

一、一流眞宗ノウチニテ法ヲソシワロサマニイフ人アリ、是ヲ思フニ他門他宗ノ事ハ是非ナシ、一宗ノ中ニカヤウノ人モアルニ、ワレラ宿善アリテコノ法ヲ信スル身ノタフトサヨト思フヘシト云云。

一、前々住上人ニハ何タルモノヲモアハレミカハユク思召候大罪人トテ人ヲ殺候コト一段御慈悲候存命モアラハ心中ヲナホスヘシト仰ラレ候テ、御勘氣候テモ心中ヲタニモナラリ候ヘハヤカテ御宥免候ト云云。

一、安藝ノ蓮宗國ヲクツカヘシクセコトニ付テ御門徒ヲハナサレ候、前々住上人御病中ニ御寺内へ參リ、御謔言申候ヘトモトリツキ候人ナク候シ、其折節前々住上人フト仰ラレ候、安藝ヲナラサフト思ヨト仰ラレ候、御兄弟以下御申ニハ一度佛法ニアタラ

蓮如上人御一代記聞書末

ナシ申人ニテ候へハイカ、ト御申候へハ、
 仰ラレ候ソレソトヨ淺間敷事ヲイフソトヨ
 心中タニナヲラハナニタルモノ成トモ御モ
 ラシナキコトニ候ト仰ラレ候テ御赦免候
 ヒキ、其時御前へ參御目ニカ、ラレ候時、
 感涙疊ニウカヒ候ト云云、而シテ御中陰ノ
 中ニ蓮宗モ寺内ニテスキラレ候
 一、奥州ニ御一流ノコトヲ申マキラカシ候
 人ヲキコシマシテ前々住上人奥州ノ淨祐ヲ
 御覽候テ以外御腹立候テサテ、開山聖人
 ノ御流ヲ申ミタスコトノアサマシサヨニク
 サヨト仰ラレ候テ御齒ヲクヒシメラレテ、

サテ切キサミテアクカヨ、ト仰ラレ候ト
 云云、佛法ヲ申ミタス者ヲハ一段アサマシ
 キソト仰ラレ候ト云云。
 一、思案ノ頂上ト申ヘキハ阿彌陀如來ノ五
 劫思惟ノ本願ニスキタルコトハナシ、此御
 思案ノ道理ニ同心セハ佛ニナルヘシ、同心
 トテ別ニナシ機法一體ノ道理ナリト云云。
 一、蓮如上人仰ラレ候、御身一生涯御沙汰
 候事皆佛法ニテ御方便御調法候テ人ニ信ヲ
 御トラセアルヘキ御コトハリニテ候由仰ラ
 レ候云云。
 一、同御病中ニ仰ラレ候、今我イフコトハ

金言ナリ、カマヘテ、能心得ヨト仰ラレ
 候、又御詠歌ノ事三十一字ニツ、クルコト
 ニテコソアレ、是ハ法門ニテアルソト仰ラ
 レ候ト云云。
 一、愚者三人ニ智者一人トテ何事モ談合ス
 レハ面白キコトアルソト、前々住上人前住
 上人へ御申候、コレマタ佛法カタニハイロ
 肝要ノ御金言ナリト云云。
 一、蓮如上人順誓ニ對シ仰ラレ候、法敬
 一我下ハ兄弟ヨト仰ラレ候、法敬申サレ候
 是ハ冥加モナキ御事ト申サレ候、蓮如上人
 仰ラレ候、信ヲエツレハサキニ生ル、者ハ

兄、後ニ生ル、者ハ弟ヨ、法敬トハ兄弟ヨ
 ト仰ラレ候、佛恩ヲ一同ニウレハ信心一致
 ノウヘハ四海ミナ兄弟トイヘリ。
 一、南殿山水ノ御縁ノ床ノ上ニテ蓮如上人
 仰ラレ候物ハ思ヒタルヨリ大ニチカフトイ
 フハ極樂ヘマイリテノ事ナルヘシ、コハニ
 テアリカタヤタフトヤト思フハ物ノ數ニテ
 モナキナリ、彼士ヘ生シテノ歡喜ハコトノ
 ハモ有ヘカラスト仰ラレシト。
 一、人ハソラコト申サシト嗜ムヲ随分ト
 コソ思ヘ、心ニ偽リアラシト嗜ム人ハサノ
 ミ多クハナキ者ナリ、又ヨキ事ハナラヌマ

蓮如上人御一代記聞書末

テモ世間佛法共ニ心ニカケ嗜ミタキ事ナリ
 ト云云。
 一、前々住上人仰ラレ候。安心決定鈔ノコ
 十四年餘年カ間御覽候へトモ御覽シアカヌ
 ト仰ラレ候。文金ヲホリ出ス様ナル聖教ナ
 リト仰ラレ候。
 一、大坂殿ニテ名へ對セラレ仰ラレ候。此
 間申シ、コトハ安心決定鈔ノカタハシラ仰
 ラレ候由ニ候。然ハ常流ノ義ハ安心決定鈔
 ノ義イヨク、肝要ナリト仰ラレ候ト云云。
 一、法敬申サレ候。タラトム人ヨリタフトカ
 ル人ソタフトカリケルト、前々住上人仰

ラレ候。面白コトヲイフヨ、タフトム體殊
 勝フリスル人ハタフトクモナシ、タ、有難
 ヤトタフトカル人コソタフトケレ面白キコ
 トヲイフヨ、モトモノコトヲ申サレ候トノ
 仰事ニ候ト云云。
 一、文龜三正月十五日ノ夜兼縁夢云前々
 住上人兼縁へ御問アリテ仰ラレ候ヤウ、イ
 タツラニアル事アサマシク思召候。ハ稽古
 カタ、セメテ一卷ノ經ヲモ、日ニ一度皆
 々寄合テ白ミ申セト仰ラレケリト云云、餘
 二人ノムナシク月日ヲ送候コトヲ悲ク思召
 候故ノ義ニ候。

一、同夢云同年ノ極月二十八日ノ夜、前
 々住上人御裳袈衣ニテ禪障子ヲアケラレ御
 出候間、御法談聽聞申へキ心ニテ候處ニツ
 イタチ障子ノヤウナル物ニ御文ノ御詞御入
 候ヲヨミ申ラ御覽シテハソレハ何ソト御尋
 候間御文ニテ候。由申上候へハシレコソ
 肝要信仰シテキケト仰ラレケリト云云。
 一、同夢云翌年極月二十九日夜、前々住
 上人仰ラレ候ヤウハ家ヲハヨク作ラレテ信
 心ヲヨク下リ念佛申へキ由カタク仰ラレ候
 ヒケリト云云。
 一、同夢云近年太永三正月一日ノ夜、夢云

野村殿南殿ニテ前々住上人仰云、佛法ノ
 コト色々仰ラレ候。後、田舎ニハ雜行雜修
 アルヲカタク申ツクヘシト仰ラレ候ト云云。
 一、同夢云大永六正月五日夜夢ニ、前々
 住上人仰ラレ候。一大事ニテ候、今ノ時分
 カヨキ時ニテ候、コ、ヲトリハツシテハ一
 大事ト仰ラレ候。畏タルト云ニテハナク候マ
 へハ、タ、其、畏タルト云ニテハナク候マ
 シク候。タ、一大事ニテ候由仰ラレ候シト
 云云、次夜夢云連誓仰候吉崎前々住上
 人ニ當流ノ肝要ノコトヲ習申候一流ノ依用
 ナキ聖教ヤナントヲ廣クミテ、御流ヲヒカ

蓮如上人御一代記開書末

サマニトリナシ候コト候、幸ニ肝要ヲ拔候
 聖教候是カ一流ノ秘極ナリト吉崎ニテ、前
 々住上人ニ習ヒ申候ト蓮誓仰ラレ候シト
 云云、私云夢等ヲシルスコト前々住上人
 世ヲ去タマヘハ、今ハソノ一言ヲモ一切ニ
 存候ヘハ、カヤウニ夢ニ入テ仰セ候コト
 ノ金言ナルコトマコトノ仰セトモ存スルマ
 、コレヲシルスモノナリ、誠ニコレハ夢想
 トモ申スヘキ事トモニテ候、總體夢ハ忘想
 ナリ、サリナカラ權言ノウヘニハ瑞夢トテ
 アル事ナリ、猶以カヤウノ金言ノコトハハ
 シルスヘシト云云。

一、佛恩カタフトク候大ト、申ハ聞ニク、
 候聊爾ナリ、佛恩ヲ有難存スト申セハ莫大
 聞ヨク候由仰ラレ候ト云云御文カト申モ
 聊爾ナリ、御文ヲ聽聞申テ御文有難ト申
 テヨキ由ニ候、佛法ノ方ヲハイカホトモ尊
 敬申スヘキ事ト云云。
 一、佛法ノ讚嘆ノトキ同行ヲカタクト申
 ハ平外也、御方々ト申テヨキ由仰コト、云
 云。
 一、前住上人仰ラレ候、家ヲツクリ候
 トモツフリタニヌレスハ何トモ角トモツク
 ルヘシ、萬事過分ナルコトヲ御キラヒ候

衣裳等ニイタルマテモヨキモノキント思
 ハアサマシキ事ナリ、冥加ヲ存シタ、佛法
 フ心ニカケヨト仰ラレ候云云。
 一、同仰ラレ候イカヤウノ人ニテ候トモ、
 佛法ノ家ニ奉公申候ハ、昨日マテハ佗
 宗ニテ候トモ、今日ハ早佛法ノ御用トモ、
 ロエヘク候、縦ヒアキナヒヲスルトモ佛法
 ノ御用ト心得ヘキト仰ラレ候。
 一、同仰云、雨モフリ又炎天ノ時分ハツ
 トメナカヲカシク仕候ハテ、ハヤク仕
 テ人ヲタ、セ候カヨク候由仰ラレ候、コ
 レモ御慈悲ニテ人々ヲ御イタハリ候、大慈

大悲ノ御アハレミニ候、常々ノ仰ニハ御身
 ハ人ニ御シタカヒ候テ佛法ヲ御ス、メ候ト
 仰ラレ候、御門徒ノ身ニテ御意ノコトクナ
 ラサルコト、中々アサマシキ事トモ中々申
 モコトヲロカニ候トノ義ニ候。
 一、將軍家義尚ヨリノ義ニテ、加州一國ノ
 一揆御門徒ヲ放サルヘキトノ義ニテ、加州
 居住候御兄弟衆ヲモメシノホセラレ候、其
 前々住上人仰ラレ候、加州ノ衆ヲ門徒放
 ヘキト仰出サレ候コト、御身ヲキラル、ヨ
 リモカナシク思召候、何事ヲモシラサル
 尼入道ノ類ノコトマテ思召ハ、何トモ御迷

惑此事ニ極ル由仰ラレ候、御門徒ヲヤフラル、ト申コトハ、一段善知識ノ御クヘニテモカナシク思召シサフラフ事ニ候。

一、蓮如上人仰ラレ候、御門徒衆ノハシメテ物ヲマイラセ候ヲ、佗宗ニ出シ候義アシク候、一度モ二度モ受用セシメ候ヒテ出シ候テ可然之由仰ラレ候カ、クノコトクノ子細ハ存シモヨラヌ事ニテ候、イヨク佛法ノ御用御恩ヲラロソカニ存スヘキコトニテハナク候、驚キ入候トノ事ニ候。

一、法敬坊大坂殿へ下ラレ候處ニ前々住上人仰ラレ候、御往生候トモ十年ハイク

ヘシト仰ラレ候處ニナニカト申サレオシカヘシイクヘシト仰ラレ候處御往生アリテ一年存命候處ニ法敬ニ或人仰ラレ候ハ、前々住上人仰ラレ候ニアヒ申タルヨ、ソノユヘハ一年モ存命候ハ命ヲ前々住上人ヨリ御アタヘ候事ニテ候ト仰候ヘト、誠ニサニテ御入候トテ手ヲアハセアリカタキ由ヲ申サレ候、ソレヨリ後前々住上人仰ラレ候コトク十年存命候誠ニ冥加ニ叶ハレ候不思議ナル人ニテ候。

一、毎事無用ナルコトヲ仕候義冥加ナキ由條々イツモ仰ラレ候由ニ候。

一、蓮如上人物ヲキコシメシ候ニモ如來聖人ノ御恩ニテマシ候ヲ御忘ナシト仰ラレ候、一口キコシメシテモ思召出サレ候由仰ラレ候ト云云。

一、御膳ヲ御覽シテモ人ノクハ又飯ヲクフコトヨト思召候ト仰ラレ候、物ヲスクニキコシメスコトナシ、タ、御恩ノタフトキコトノミ思召候ト仰ラレ候。

一、享祿二年十二月十八日ノ夜兼縁夢ニ、蓮如上人御文ヲアソハシ下サレ候其御詞ニ梅千ノタトヘ候、梅千ノコトヲイヘハ皆人ノ口一同ニスシ、一味ノ安心ハカヤウニ

アルヘキナリ、同一念佛無別道故ノ心ニテ候ヒツルヤウニホ、エ候ト云云。

一、佛法ヲスカサルユヘニ嗜ミ候ハスト空善申サレ候ヘハ、蓮如上人仰ラレ候、ソレハユノマヌハキラフニテハナキカト仰ラレ候ト云云。

一、不法ノ人ハ佛法ヲ違例ニスルト仰ラレ候、佛法ノ御讚嘆アレハアラ氣ツマリヤ、疾ハテヨカシト思フハ違例ニスルニテハナキカト仰ラレ候ト云云。

一、前住様御病中正月二十四日ニ仰ラレ候前々住ノ早々我ニコヒト左ノ御手ニテ御マ

子キ候、アラアリカタヤトクリカヘシ、
 仰ラレ候テ御念佛御申候ホトニ、ヲノ、
 御心タカヒ候テ、カヤウニモ仰候ト存候ヘ
 ハ、其義ニテハナクシテ御マトロミ候御夢
 ニ御覽セラレ候由仰ラレ候處ニテ、皆々
 安堵候ヒキ、コレ亦アラタナル御事ナリト
 云云。

一、同二十五日兼譽兼縁ニ對セラレ仰ラレ
 候、前々住上人御世ヲ讓アソハサレテ以來
 ノコトトモ種々仰ラレ候、御一身ノ御安心
 ノトホリ仰ラレ、一念ニ彌陀ヲタノミ申テ往
 生ハ一定ト思召サレ候、ソレニ付テ前住上

人ノ御恩ニテ今日マテ我ト思フ心ヲモテ候
 ハヌカウレシク候ト仰ラレ候、誠ニアリカ
 タクモ又ハ驚入申候我人カヤウニ心得申
 テコソハ、佗力ノ信心決定申タルニテハ
 アルヘク候、彌一大事ノ御コトニ候。

一、嘆徳ノ文ニ親鸞聖人ト申セハソノ恐ア
 ル故ニ祖師聖人トヨミ候、又開山聖人トヨ
 ミ申モオソレアル子細ニテ御入候ト云云。
 一、タ、聖人ト直ニ申セハ聊爾ナリ、コノ
 聖人ト申モ聊爾歟、開山トハ略シテハ申ヘ
 キカトノ事ニ候、タ、開山聖人ト申シテヨ
 ク候ト云云。

一、嘆徳ノ文ニ以テ弘誓ニ託スト申スコト
 ヲ以テヲ拔テハヨマス候ト云云。

一、蓮如上人堺ノ御坊ニ御座ノ時、兼譽御
 參候御堂ニヲイテ卓ノ上ニ御文ヲフカセ
 ラレテ、一人二人乃至五人十人參ラレ候人
 々ニ對シ御文ヲヨマセラレ候、其夜蓮如上
 人御物語ノ時仰ラレ候、此間面白キ事ヲ思
 出テ候常ニ御文ヲ一人ナリトモ來ラン人ニ
 モヨマセテキカセハ有縁ノ人ハ信ヲトルヘ
 シ、此間面白キ事ヲ思案シ出タルトクレ
 仰ラレ候、サテ御文肝要ノ御事ト彌々
 シラレ候トノ事ト仰ラレ候ナリ。

一、今生ノ事ヲ心ニ入ルホト、佛法ヲ心腹
 ニ入タキ事ニテ候ト人申候ヘハ世間ニ對
 様シテ申事ハ大様ナリ、タ、佛法ヲフカク
 ヲロコフヘシト云云、又イハク一日々々ニ
 佛法ハタシナミ候ヘシ、一期トオモヘハ大
 義ナリト人申サレ候、又イハク大義ナルト
 思フハ不足ナリ、人トシテ命ハイカホトモ
 ナカク候テモ、アカスヨロコフヘキ事ナリ
 ト云云。

一、坊主ハ人ヲサへ勸化セラレ候ニ、我身
 ヲ勸化セラレヌハアサマシキコトナリト云
 云。

一、道宗前々住上人へ御交申サレ候へハ、
 仰ラレ候文ハトリオトシ候事モ候程ニ、夕
 、心ニ信ヲタニモトリ候へハオトシ候ハヌ
 ヨシ仰ラレ候シ、又アクル年アソハサレテ
 下サレ候。

一、法敬坊申サレ候、佛法ヲカタルニ志ノ
 人ヲ前ニヲキテ語候へハ力カアリテ申ヨ
 キ由申サレ候。

一、信モナクテ大事ノ聖教ヲ所持ノ人ハ、
 オサナキモノニツルキヲモタセ候様ニ思召
 候、ソノ故ハ劍ハ重寶ナレトモ、オサナキ
 モノモチ候へハ手ヲ切り怪我ヲスルナリ、

持テヨク候人ハ重寶ニナルナリト云云。

一、前々住上人仰ラレ候、夕、イマナリ
 トモ我シチトイハ、シヌル者ハ有ヘク候カ
 信ヲトル者ハアルマシト仰ラレ候ト云云。

一、前々住上人大坂殿ニテ各々ニ對セラレ
 テ仰ラレ候、一念ニ凡夫ノ往生ヲトクルコ
 トハ、秘事秘傳ニテナキカト仰ラレ候ト云
 云。

一、御普請御造作ノ時法敬申サレ候、ナニ
 モ不思議ニ御詔望等モ御上手ニ御座候由申
 サレ候へハ、前々住上人仰ラレ候、我ハナヲ
 不思議カレトコトヲ知ル凡夫ノ佛ニナリ候コ

トヲ知タルト仰ラレ候ト。

一、蓮如上人善從ニ御カケ字ヲアソハサレ
 下サレ候、其後善從ニ御尋已前書ツカハシ
 候物ヲハナニトシタルト仰ラレ候、善徒申
 サレ候表補繪仕リ候テ箱ニイレ置キ申候
 由申サレ候、ソノトキ仰ラレ候、ソレハワ
 ケモノナキ事ヲシタルヨ不斷カケテヲキテ、
 ソノコトク心ヲナセヨトイフコトテコソ
 アレト仰ラレ候。

一、同ク仰ニイハクコレノ内ニキテ聽聞マ
 ウス身ハ、トリハツシタラハ佛ニナランヨ
 ト仰ラレ候ト云云、有難キ仰セニ候。

一、仰ニイハク、坊主衆等ニ對セラレ仰ラレ
 候坊主トイフモノハ大罪人ナリト仰ラレ
 候、其時ミナノ迷惑申サレ候、サテ仰ラ
 レ候、罪カフカケレハコソ阿彌陀如來ハ御
 タスケアレト仰ラレ候云云。

一、毎日ノ御文ノ御金言ヲ聽聞サセラ
 レ候事ハ寶ヲ御賜リ候コトニ候ト云云。

一、開山聖人ノ御代高田ノ二代顯智上洛ノ
 時申サレ候、今度ハ既ニ御目ニカ、ルマシ
 キト存候處ニ、不思議ニ御目ニカ、リ候ト
 申サレ候へハ、ソレハイカニト仰ラレ候、
 舟路ニ難風ニアヒ迷惑仕候ヨシ申サレ候

聖人仰ラレ候ソレナラハ船ニハノラルマ
 シキモノヲト仰ラレ候、其後候詞ノ末ニ
 テ候トテ二期舟ニソラレス候、又茸ニ醉申
 サレ御目ニ遅クカ、ラレ候シ時モ、カク
 ノコトク仰ラレシトノ一期受用ナリ候シト
 云云、カヤウニ仰ヲ信シチカヘ申スマシキ
 ト存セラレ候事、誠ニアリカタキ殊勝ノ覺
 悟トシ義ニ候。

一、身アタ、カナレハ子フリケサシ候アサ
 マシキコトナリ、其覺悟ニテ身ヲモス、シ
 クモチ眠ラサマスヘキナリ、身隨意ナレハ
 佛法世法トモニヲコタリ無沙汰油斷アリ、

此義一大事ナリト云云。

一、信ヲエタラハ同行ニアラク物モ申マシ
 キナリ、心和クヘキナリ觸光柔順ノ願アリ
 又信ナケレハ、我ニナリテ詞モアラク諍モ
 必ス出來ル者ナリ、アサマシキ、ヨク
 コ、ロウヘシト云云。

一、前々住上人北國ノサル御門徒ノ事ヲ仰
 ラレ候、何トシテ久ク上洛ナキソト仰ラレ
 候、御前ノ人申サレ候サル御方ノ御折檻候
 下申サレ候、其時御機嫌以外ニ悪ク候テ仰
 ラレ候、開山聖人ノ御門徒ヲサヤウニイフ
 者ハアルヘカラス御身一人聊爾ニハ思召サ

ヌモノヲ、ナニタルモノカイフヘキトモ、ト
 ク、ホレトイヘト、仰ラレ候ト云云。

一、前住上人仰ラレ候、御門徒衆ヲアシク
 申事ユメ、アルマシキナリ、開山ハ御同
 行御同朋ト御カシツキ候ニ、聊爾ニ存スル
 ハクセコトノ由被仰候。

一、開山聖人ノ一大事ノ御客人ト申スハ、
 御門徒衆ノ事ナリト仰ラレシト云云。

一、御門徒衆上洛候ヘハ前々住上人仰ラレ
 候、寒天ニハ御酒等ノカンヲヨクサセラレ
 テ、路次ノサムサヲモ忘ラレ候様ニト仰ラ
 レ候、又炎天ノ時ハ酒ナトヒヤセト仰ラレ

候、御詞ヲ加ラレ候、又御門徒ノ御上洛ヲ
 遅ク申入候事クセコトト仰ラレ候、御門
 徒ヲマタセヲソク對面スルコトクセコトノ
 由仰ラレ候ト云云。

一、萬事ニ付テヨキ事ヲ思ヒ付ルハ御恩ナ
 リ、惡コトタニ思ヒ捨タルハ御恩ナリ、捨
 ルモ取ルモ何レモ御恩ナリト云云。

一、前々住上人ハ御門徒ノ進上物ヲハ御衣
 ノ下ニテ御オカミ候、又佛ノ物ト思召候ヘ
 ハ御自身ノメシ物マテモ御足ニアタリ候ヘ
 ハ御イタ、キ候、御門徒ノ進上物スナハチ
 聖人ヨリノ御アタヘト思召候ト仰ラレ候ト

云云。

一、佛法ニハ萬カナシキニモカナハヌニツケテモ、何事ニ付テモ後生ノタスカルヘキコトヲ思ヘハ、ヨロコビ多キハ佛恩ナリト云云。

一、佛法者ニナレ近付テ損ハ一ツモナシ、何タルオカシキコト狂言ニモ、是非トモ心底ニハ佛法アルヘシト思フホトニ、我方ニ徳オホキナリト云云。

一、蓮如上人權化ノ再誕トイフコトソノ證多シ前ニコレヲシルセリ、御詠歌ニカタミニハ六字ノ御名ヲノコシヲクナカラシアト

ノカタミトモナレト候彌陀ノ化身トシラレ候事歴然タリ。

一、蓮如上人細々御兄弟衆等ニ御足ヲ御見セ候、御ワラチノ緒クヒ入キラリト御入候カヤウニ京田舎御自身ハ御辛勞候テ、佛法ヲ仰ヒラカレ候由仰ラレ候シト云云。

一、同仰ニイハク惡人ノマネヲスヘキヨリ、信心決定ノ人ノマネヲセヨト仰ラレ候云云。

一、蓮如上人御病中大坂殿ヨリ御上洛之時明應ハ二月十八日サンハノ淨賢處ニテ、前住上人へ對シ御申ナサレ候、御一流ノ肝

要ヲ御文ニ委クアソハシト、メラレ候

間、今ハ申マキラカス者モアルマシク候、此分ヲヨク御心得アリ、御門徒中ヘモ仰ツケラレ候ヘト御遺言ノ由ニ候、然ハ前住上人ノ御安心モ御文ノコトク、又諸國ノ御門徒モ御文ノコトク信ヲエラレヨトノ支

證ノタメニ御判ヲナサレ候事ト云云。一、存覺ハ大勢至ノ化身ナリト云云、然ニ六要鈔ニハ三心ノ字訓、其外勘得セヌトアソハシ聖人ノ宏才仰ヘシト候、權化ニテ候ヘトモ聖人ノ御作分ヲカクノコトクアソハ

シ候、誠ニ聖意ハカリカタキムテヲアラハ

シ、自力ヲステ、佗力ヲ仰ク本意ニモ叶申候物ヲヤ、カヤウノコトカ明譽ニテ御入候ト云云。

一、註ヲ御アラハシ候事御自身ノ智解ヲ御アラハシ候、ハンカタメニテハナク候、御詞ヲ褒美ノタメ仰崇ノタメニテ候云云。

一、存覺御辭世ノ御詠ニイハク、今ハハヤ一夜ノ夢トナリニケリ往來アマタノカリノヤト、此言ヲ蓮如上人仰ラレ候ト云云、サテハ釋迦ノ化身也往來袈裟ノ心ナリト云云、我身ニカケテゴ、ロエハ六道輪廻メクリ、テ今臨終ノユフヘサトリヲヒラ

クヘシトイフ心ナリト云云。

一、陽氣陰氣トテアリ、サレハ陽氣ヲウク
 ル花ハ早クヒラクナリ、陰氣トテ日陰ノ花
 ハ遅クサクナリ、カヤウニ宿善モ遅速アリ、
 サレハ已今當ノ往生アリ、彌陀ノ光明ニア
 ヒテハヤクヒラクル人モアリ遅クヒラクル
 人モアリ、鬼ニ角ニ信不信トモニ佛法ヲ心
 ニ入テ聽聞申ヘキナリト云云、已今當ノ
 事前行住上人仰ラレ候ト云云キノフアラ
 ハス人モアリケフアラハス人モアリト仰ラ
 レシト云云。

一、蓮如上人御廊下ヲ御トホリ候テ、紙切

ノオチテ候ヒツルヲ御覽セラレ、佛法領ノ
 物ヲアタニスルカヤト仰ラレ、兩ノ御手ニ
 テ御イタ、キ候ト云云、總シテカミノキレ
 ナントノヤウナル物ヲモ、佛物ト思召御用
 ヒ候ヘハアタニ御沙汰ナク候ノ由、前々住
 上人御物語候ヒキ。

一、蓮如上人近年仰ラレ候、御病中ニ仰ラ
 レ候事何コトモ金言ナリ、心ヲトメテ聞ヘ
 シト仰ラレ候ト云云。
 一、御病中ニ慶聞ヲメシテ仰ラレ候、御身
 二ハ不思議ナルコト有ラ氣ヲトリナラシテ
 仰ラルヘキト仰ラレ候ト云云。

一、蓮如上人仰ラレ候、世間佛法トモニ人
 ハカロトシタルカヨキト仰ラレ候、默
 タルモノヲ御キラヒ候物ヲ申サヌカワロキ
 ト仰ラレ候、又微音ニ物ヲ申ヲワロシト仰
 ラレ候ト云云。

一、同ク仰ニイハク佛法ト世體トハタシナ
 ミニヨルト對句ニ仰ラレ候、又法門ト庭ノ
 松トハイフニアカルトコレモ對句ニ仰ラレ
 候ト云云。

一、兼縁堺ニテ蓮如上人御存生ノ時、背摺
 布ヲ買得アリケレハ蓮如上人仰ラレ候、
 カヤウノ物ハ我方ニモアルモノヲ無用ノカ

イコトヨト仰ラレ候、兼縁自物ニテトリ申
 タルト答申候處ニ仰ラレ候、ソレハ我
 物カト仰ラレ候、悉ク佛物如來聖人ノ御用
 ニモル、コトアルマシク候。
 一、蓮如上人兼縁ニ物ヲ下サレ候テ、冥如
 ナキト御辭退サフラヒケレハ仰ラレ候、ツ
 カハサレ候物ヲハタ、取テ信ヲヨクトレ、
 信ナクハ冥加ナキトテ佛ノ物ヲ受ヌヤウナ
 ルモソレハ山モナキコトナリ、我スルトオ
 モフカトヨ皆御用ナリ、何事カ御用ニモル
 、コトヤ候ヘキト仰ラレ候ト云云。
 實如御判

蓮如上人御一代記聞書末

本願寺聖人親鸞傳繪

六向...
八...

本願寺聖人親鸞傳繪上

第一段

夫、聖人ノ俗姓ハ、藤原氏、天兒屋根ノ尊
ニシテ、苗裔大織冠大子ノ玄孫、近
衛大將右大臣大從一位内麻呂公大號後長岡
號二院大臣大正一位大政大臣
房前公孫大納言式部卿眞柄息大六代ノ後
胤、卿ノ宰相有國ノ卿、五代ノ孫、皇太
后大進、有範ノ子ナリ、シカアレハ朝廷ニ
仕テ、霜雪ヲモイタ、キ射山ニ趨テ榮花ヲ
モヒラクヘカリシ人ナレドモ、興法ノ因ウ
チニ萌、利生ノ縁ホカニモヨホシ、ニヨリ

本願寺聖人親鸞傳繪上

テ、九歳ノ春ノコロ、阿伯從三位範綱卿

子時從四位上前若狹守後白河前大僧正

ノ上皇ノ近臣ナリ、上人ノ養父

慈圓慈鎮和尚是也法性寺ノ貴坊ハ相具奉テ、

殿御息月輪殿長兄ハエンセウナコムンキミカウ

鬚髮ヲ剃除シ給キ、範宴少納言公ト號ス、

自爾以來シハ、南岳天台ノ玄風ヲ訪テ

ヒロク、三觀佛乘ノ理ヲ達シ、トコシナヘ

ニ、楞嚴横川ノ餘流ヲ湛ヘテフカク、四教

圓融ノ義ニアキラカナリ。

第二段

建仁第一ノ曆春ノコロ、源空聖人ノ吉水ノ禪坊

ニ尋マイリ給キ、是則世クダリ、人ツタナクシテ難行ノ小路マヨヒヤスキニヨリテ易行ノ大道ニオモムカントナリ、真宗紹隆ノ大祖聖人、コトニ宗ノ淵源ヲツクシ、教ノ理致ヲキハメテコレヲノヘ給ニ、タチトコロニ、他力攝生ノ旨趣ヲ受得シ飽マデ、凡夫直入ノ真心ヲ決定シマシ〜ケリ。

第三段
建仁三年 四月五日夜寅ノ時、上人夢相ノ告マシ〜キ、カノ記云、六角堂ノ救世菩薩顏容端嚴ノ聖僧ノ形ヲ示現シテ、白衲ノ袈裟ヲ著服セシメ、廣大ノ白蓮華ニ端坐シテ

善信ニ告命シテノタマハク、行者宿報設女犯我成玉女身被犯、一生之間能莊嚴、臨終引導生極樂、文、救世菩薩善信ニノタマハク、コレハコレワガ誓願ナリ、善信コノ誓願ノ旨趣ヲ宣説シテ、一切羣生ニキカシムヘシト云云、爾時善信、夢中ニアリナカラ御堂ノ正面ニシテ東方ヲミレハ岷々タル岳山アリ、ソノ高山ニ數千萬億ノ有情、群集セリトミユ、ソノトキ告命ノコトク、此文ノコ、ロヲ、カノ山ニアツマレル有情ニ對シテ説キカシメ畢トオボエテ、ユメサメ畢云云、情コノ記録ヲ披、カノ夢想ヲ案ス

ルニヒトヘニ眞宗繁昌ノ奇端念佛弘興ノ表示也、シカレバ聖人後ノトキオホセラレテ云、佛敎ムカシ西天ヨリ興ツテ、經論イマ東土ニ傳ル、是偏ニ、上宮太子ノ廣徳、山ヨリモタカク海ヨリモフカシ、我朝欽明天皇ノ御宇ニ、コレヲワタサレシニヨツテ、スナハチ淨土ノ正依經論等、コノ時ニ來至ス、儲君モシ厚恩ヲホトコシタマハスハ、凡愚イカテカ弘誓ニアフコトヲエン、救世菩薩ハスナハチ儲君ノ本地ナレハ、垂迹興法ノ願ヲアラハサンカタメニ、本地ノ尊容ヲシメストコロナリ、抑又大師聖人

刑ニ處セラレタマハスハ我又配所ニオモムカンヤ、モシワレ配所ニオモムカスンハ、何ニヨツテカ邊鄙ノ群類ヲ化セン、是ナリ師敎ノ恩致ナリ、大師聖人スナハチ、勢至ノ化身太子又、觀音ノ垂迹ナリ、コノユヘニ、ワレニ菩薩ノ引導ニ順シテ、如來ノ本願ヲヒロムルニアリ、眞宗コレニヨツテ興シ、念佛コレニヨリテ熾ナリ、是併ラ、聖者ノ敎誨ニヨツテ、サラニ愚昧ノ今案ヲマシヘス、彼二大士ノ重願タ、一佛名ヲ專念スルニタレリ、イマノ行者錯テ脇士ニツカフルコトナカレ、タ、チニ本佛ヲアフ

クヘシト云云、故ニ上人親鸞傍皇太子ヲ
崇タマフ、ケタシコレ佛法弘通ノ浩ナル恩
ヲ謝センカタメナリ。

第四段

建長八年 二月九日夜寅時、釋ノ蓮位夢
想ノ告云、聖德太子親鸞上人ヲ禮シ奉テ曰、
敬禮大慈阿彌陀佛、爲妙教流通來生者、五濁
惡時惡世界中、決定即得無上覺也、シカレ
ハ祖師上人ハ、彌陀如來ノ化身ニテマシマ
ストイフコトアキラカナリ。

第五段

黒谷ノ先徳 在世ノムカシ、矜哀ノアマリ

アルトキハ恩許ヲ蒙テ、製作ヲ見寫シ、或
時ハ眞筆ヲ降シテ、名字ヲ書賜、スナハチ
顯淨土方便化身土、文類六云、
シカルニ愚禿釋鸞、建仁ノ曆、棄ニ雜行
分歸ニ本願一元久
擇一同年、初夏中旬第四日、選擇本願念佛
集内題字、並南無阿彌陀佛往生之業、念佛爲
本與ニ釋綽空ニ以ニ空眞筆令書之同日、
空之眞影申預、奉ニ圖畫同一年、閏七月
下旬第九日、眞影銘以眞筆令書南無阿彌
陀佛與 若我成佛十方衆生、稱我名號下至

第六段
凡源空聖人、在生ノイニシヘ、他力往生
ノ旨ヲヒロメ給シニ、世アマテクコレニコ
ソリ、人コトクコレニ歸シキ、紫禁青
宮ノ政ヲ重スル砌ニモ、先黄金樹林ノ尊ニ
コ、ロヲカケ、三槐九棘ノ道ヲ正スル家ニ
モ、直ニ四十八願ノ月ヲモテアソフ、シ
カノミナラス、戎狄ノ輩黎民ノ類ヒ、コレ
ヲアフキ、コレヲ貴ストイフコトナシ、貴
賤轅ヲメクラシ、門前市ヲナス、常隨昵近
ノ緇徒ソノカスアリ、都三百八十餘人ト云
云、シカリトイヘトモ親ソノ化ヲウケ懃ソ

十聲、若不生者取正覺、彼佛今現在成佛、
常知本誓重願不虛、衆生稱念必得往生之眞
文、又依夢告改緋空字、同日、以御
筆令書名之字、罪、本師聖人、今年七旬
三御歳也、選擇本願念佛集者、依禪定博陸
月輪殿兼實之教命、所令選集、眞宗之簡
法名圖照
要念佛之奧儀攝在斯、見者易論、誠是、希
有最勝之華文、無上甚深之寶典也、涉年涉
日、蒙其教誨之人、雖千萬云、親云疎、
獲此此見寫之徒、以難、爾既書寫製
作、圖畫眞影、是專念正業之徳也、是決定
往生之徴也、仍抑悲喜之涙、註由來緣云云

ノ誨ヲマモル族甚タマレナリ、ワスカニ
 五六輩ニタニモタラス、善信聖人アルトキ
 申タマハク、予難行道ヲ閑テ、易行道ニウ
 ツリ、聖道門ヲ遁テ淨土門ニ入シヨリ以來
 芳命ヲカウフルニアラスヨリシハ、豈出離
 解脱ノ良因ヲ畜哉、喜ノ中ノ悦、ナニコト
 カコレニシカン、シカルニ同室ノ好ヲ結テ
 トモニ一師ノ誨ヲアフク輩、コレ多トイヘ
 トモ、眞實ニ報土得生ノ信心ヲ成シタラン
 コト、自他オナシクシリカタシ、故ニ且ハ
 當來ノ親友タルホトヲモシリ、且ハ浮生ノ
 思出トモシハンヘランカタメニ、御弟子參

集ノ砌ニシテ出言ツカフマツリテ、而々ノ
 意趣ヲモ試トオモフ、所望アリト云々、大
 師聖人ノタマハク、コノ條モトモシカルヘ
 シ、スナハチ明日人人來臨ノトキオホセラ
 レイタスヘシト、而翌日集會ノトコロニ、上
 人ノ親ノタマハク、今日ハ信不退、行不退ノ
 御座ヲ、兩方ニワカタルベキナリ、何ノ座
 ニツキタマフヘシトモ、各各示給ヘト、ソ
 ノトキ三百餘人ノ門侶ミナ其意ヲエサル氣
 アリ、予時法印大和尚位聖覺、並ニ釋ノ
 信空上人法蓮、信不退ノ御座ニ可着ト云々、
 次ニ沙彌法力、實入道、運參シテ申云善信ノ

御房ノ御執筆何事哉ト、善信上人ノタマハ
 ク、信不退行不退ノ座ヲワケラル、ナリト、
 法力房申テ云、シカラハ法力モルヘカラ
 ス、信不退ノ座ニマイルヘシト云云、仍コ
 レヲカキノセタマフ、コ、ニ數百人ノ門徒
 群居ストイヘトモ更ニ一言ヲノフル人ナシ
 コレ恐クハ、自力ノ迷心ニ拘テ、金剛ノ眞
 信ニ昏カイトラストコロ歟、人ミナ無音ノア
 ヒタ執筆上人ノ自名ヲノセタマフ、ヤ、暫
 アリテ大師聖人オホセラレテ云ク、源空モ
 信不退ノ座ニツラナリ侍ルヘシト、ソノト
 キ門葉アルヒハ屈敬ノ氣ヲアラハシ、アル

ヒハ懺悔ノイロヲフクメリ。
 第七段
 上人ノ親ノタマハク、イニシヘワカ大師聖人
 ノ御信心ト、善信カ信心ト、イサ、カモカハ
 ルトコロアルヘカラス、タ、一也ト申タリ
 シニ、コノ人々トカメテイハク、善信房ノ、
 聖人ノ御信心ト、我信心トヒトシト申ル、
 コト謂ナシ、イカテカヒトシカルヘキト、善
 信申テ云、ナトカヒトシト申サルヘキヤ、

其故ハ深智博覽ニヒトシカラントモ申ハコ
 ソ、マコトニオホケナクモアラメ、往生ノ信
 心ニイタリテハ、ヒトタヒ他力信心ノコト
 ハリヲウケタマハリシヨリ以來、全クワタ
 クシナシ、然聖人ノ御信心モ、他力ニヨリ給
 ラセタマフ、善信心心モ他力也、故ニヒ
 トシクシテカハルトコロナシト申也ト申侍
 シトコロニ、大師聖人マサシクオホセラレ
 テ云、信心ノカハルト申ハ、自力ノ信ニト
 リテノ事也、スナハチ智慧各別ナルカエヘ
 ニ、信又各別也、他力ノ信心ハ、善惡ノ凡
 夫トモニ、佛ノカタヨリタマハル信心ナレ

ハ、源空カ信心モ、善信房ノ信心モ、サラ
 ニカハルヘカラス、タ、一ナリ、我カシコク
 テ信スルニアラス信心ノカハリアフテオハ
 シマサン人々ハ、ワカマイラン淨土ヘハヨ
 モマイリタマハシ、ヨクノコ、ロエラル
 ヘキ事ナリト云云、コ、ニ面々舌ヲ卷、口
 フ開テヤミニケリ。
 第八段
 御弟子入西房上人ノ眞影ヲウツシ奉ト
 オモフ心サシアリテ、日コロラフルトコロ
 ニ、上人ソノ心サシアルコトヲカ、ミテ、
 オホセラレテ云、定禪法橋七條邊ニウツ

サシムヘシト、入西房鑿察ノ旨ヲ隨喜シテ
 スナハチカノ法橋ヲ召請ス、定禪左右ナク
 マイリヌ、スナハチ尊顔ニ向テツリテ申
 テイハク、去夜奇特ノ靈夢ヲナン、感スルト
 コロナリ、ソノ夢ノ中ニ拜シタテマツルト
 コロノ聖僧ノ面像、イマムカヒタテマツル
 容貌ニ、スコシモタカフトコロナシトイヒ
 テ、タチマチニ隨喜感歎ノイロフカクシテ
 ミツカラソノ夢ヲカタル貴僧二人來入ス、
 一人ノ僧ノタマハク、コノ化僧ノ眞影ヲウ
 ツサシメントオモフコ、ロサシアリ、チカ
 ハクハ禪下筆ヲクヘシト、定禪問テ云彼化

僧タレヒトソヤ、件ノ僧ノ云ク、善光寺ノ本
 願ノ御房コレナリト、コ、ニ定禪タナコ、
 ロヲアハセヒサマツキテ、エメノ中ニオモ
 フヤフ、サテハ生身ノ彌陀如來ニコソト、
 身ノ毛イヨタテテ、恭敬尊重ヲイタス、マ
 タ御クシリヲウツサレンニ、足ヌヘシト云
 云カクノコトク、問答往復シテ、夢サメヲ
 ハリヌ、シカルニイマコノ貴坊ニマイリテ
 ミタテマツル尊容、夢中ノ聖僧ニ、スコシモ
 タカハストテ、隨喜ノアマリナミタヲナカ
 ス、シカアレハ夢ニマカスヘシトテ、イマ
 モ御クシハカリヲウツシタテマツリケリ、

夢想ハ仁治三年九月廿日夜ナリ、ツラ
 コノ奇瑞ヲオモフニ、聖人彌陀如來ノ來現
 トイフコト炳焉ナリ、シカレハスナハチ、
 弘通シタマフ教行、オソラクハ、彌陀ノ直説
 トイヒツヘシ、アキラカニ無漏ノ慧燈ヲカ
 ヲケテ、トオク濁世ノ迷闇ヲハラシ、アマ
 子ク甘露ノ法雨ヲソ、キテ、ハルカニ枯竭
 ノ凡惑ヲウルホサンカタメナリト、仰ヘシ
 信スヘシ。

本願寺聖人親鸞傳繪下

第一卷

淨土宗興行ニヨリテ、聖道門廢退ス、コレ
 空師ノ所爲ナリトテ、ダチマチニ罪科セラ
 ルヘキヨシ、南北ノ碩才憤申ケリ、顯化
 身土、文類六云、竊以聖道ノ諸教ハ
 行證久廢、淨土ノ眞宗ハ、證道今盛
 然諸寺釋門昏教分、不知眞假門戶、洛
 都儒林迷行兮、無辨邪正、道路斯以
 興福寺學徒、奏達太上天皇、後鳥羽院、今上
 御門院、聖曆承元、丁卯、歲、仲春、上旬
 之候、主上臣下、背法違義、成忿結怨

本願寺聖人親鸞傳繪下

七三九

因茲、眞宗興隆太祖、源空法師、并門徒數輩
 不考罪科、猥坐死罪、或改僧儀
 賜姓名處、遠流、予其一也、爾者已非
 僧非俗、是故以禿字爲姓、空師并弟子等
 坐諸方邊州、經五年之居緒、空聖人、罪
 名藤井元彦、配所土佐國、鸞聖人、罪名藤
 井善信、配所越後國、此外門徒、死罪流罪
 皆略之、皇帝詔、成、聖代建曆、未、歲
 子月中旬第七日、岡崎中納言範光卿ヲモテ
 勅免、此時聖人、右ノゴトク禿字ヲ書テ、
 奏聞シ給ニ、陛下敬感ヲクダシ、侍臣オホ

キニ褒美ス、勅免アリトイヘトモ、カシコ
ニ化ヲホトコサンタカメニ、ナヲシハラク
在國シタマヒケリ。

第二段

聖人越後ヨリ、常陸國ニ越テ、笠間郡
稻田郷、イフトコロニ隱居シタマフ、幽栖
ヲ占トイヘトモ、道俗跡ヲタツテ、蓬戸ヲ
閉トイヘトモ、貴賤無ニ溢、佛法弘通ノ本
懐コ、ニ成就シ、衆生利益ノ宿念タチマテ
満足ス、コノ時聖人、オホセラレテノタマ
ハク、救世菩薩ノ告命ヲウケシイニシヘノ
ユメ、ステニイマト符合セリト、

第三段

聖人常陸國ニシテ、專修念佛ノ義ヲヒロメ
タマフニオホヨソ疑謗ノ輩ハスクナク、信
順ノ族ハオホシ、而ニ一人ノ僧云々アリ
テ、動スレハ、佛法ニ怨ヲナジツ、結句
害心ヲサシハサント、聖人ヲ時々ウカ、ヒ
タテマツル、聖人板敷山トイフ深山ゾ、ツ
子ニ往返シタマヒケルニ彼山ニシテ度々相
待トイヘトモ、更ニソノ節ヲトケス、ツラ
緯ノ參差ヲ案スルニ、頗ル奇特ノオモ
タスヒアリ、仍聖人ニ謁セントオモフコ、
ロツキテ、禪室ニ行テ尋申ニ、上人左右ナ

クイテアヒタマヒケリ、スナハチ尊顔ニム
カヒタテマツルニ、害心タチマチニ消滅シ
テアマサへ後悔ノ涙禁シカタシ、ヤ、シハ
ラクアリテ、有ノマ、ニ日來ノ宿懣ヲ述ス
トイヘトモ、聖人又ヲトケルイロナシ、
タチトコロニ弓箭ヲキリ、刀杖ヲステ、頭
巾ヲトリ、柿衣ヲアラタメテ、佛教ニ歸シ
ツ、終ニ素懷ヲトケキ、不思議ナリシ事
ナリ、スナハチ明法房コレナリ、上人コレ
ヲツケタマヒキ。

第四段

聖人東關ノ堺ヲイテ、花城ノ路ニヲモム

本願寺聖人親鸞傳繪下

キマシ、ケリ、或日晚陰ニヲヨンテ箱根
ノ險阻ニカ、リツ、ハルカニ行客ノ蹤ヲ
ラクリテ、漸入屋ノ樞ニチカツクニ夜モス
テニ曉更ニヲヨンテ、月モハヤ孤嶺ニカタ
フキヌ子ノ時聖人、アユミヨリツ、案内シタ
マフニ、マコトニ齡傾タル翁ノ、正ク裝
束タルカトイトコト、ナクイテアヒタテマ
ツリテ云ヤウ、社廟チカキ所ノナラヒ巫小
モノ終夜アソヒシ侍ニ、オキナモマシハリ
ツルカ、イマナン、イサ、カヨリキハンヘ
ルト思ホトニ、夢ニアラスウツ、ニモアラ
テ、權規被レ仰云、タ、今ワレ尊敬ヲイタ

スヘキ客人、キヤクシヤコノ路ヲスキタマフヘキ事アリ、コトカナラス、イムキム慇懃ノ忠節ヲ抽テ、殊ニ丁寧ノ響應ヲ儲クベシト云、云示現イマタサメオハラサルニ、フソウコトシ貴僧忽爾トシテ影向シタマヘリ、ナン何ソタハ人ニマシマサン、シヤクコト神勅是炳焉ナリ、カンオウ感應モトモ恭敬スヘシト云テ、イヒ尊重囑請シタテマツリテサマノニ飯食ヲ粧、イ口ニ珍味ヲ調ケリ。

第五段

聖人故郷ニ歸テ、ワウシ往事ヲオモフニ、チン年々歳々夢ノコトシ幻ノコトシ、チヤウアン長安洛陽ノ栖モアトヲト、モルムルニ懶トテ、フフ扶風馮翊トコロ

ニ、イ移住シタマヒキ、コ五條西洞院ワタリコレ一ツ勝地ナリトテ、シシバラク居ラシメタマフ、今今比イニシヘ、口口決ヲツタヘテ面受ヲトケシ門徒等、ヲノノ好ラシタヒ、路路ヲタツテ參集シタマヒケリ、ソソノコロ、常常陸國、那那荷西郡大部郷ニ平太郎ナニカシト云庶氏アリ、聖聖人ノ訓ヲ信シテ專ニナカリキ、而而ニ或時、伴伴ノ平太郎所務ニ駐レテ熊野ニ詣スヘシトテ、事事ノヨシヲ尋申カタメニ、聖聖人ヘマイリタルニ被レ仰云夫、聖聖教萬差ナリ、イイツレモ機ニ相應スレハ巨益アリ、但但末法ノ今時、聖聖道門ノ修行ニヲ

ヒテハ成スヘカラス、則則我末法時中億々衆生起行修道未有一人得者トイヒ、唯唯有淨土一門可通入路ト云、此此皆經釋ノ明文如來ノ金言ナリ、而而今唯有淨土ノ眞說ニ就テ、彼彼三國ノ祖師、ヲノノ一宗ヲ興行ス、以以所愚禿勸ルトコロ、更更ニ私ナシ、シシカルニ一向專念ノ義ハ、往往生ノ肝腑、自自宗ノ骨目ナリ、ススナハチ三經ニ隱顯アリトイヘトモ、文文トイヒ義トイヒ、トトモニモテ明ナルヲヤ、大大經ノ二輩ニモ、一一向ト勸テ流通ニハコレヲ彌勤ニ付屬シ觀經ノ九品ニモ、シシハラク三心ト説テ、ココレマタ阿難ニ付屬ス、

小經ノ一心、ツツキニ諸佛コレヲ證誠ス、コレニヨリテ論主一心ト判シ和尚一向ト釋人、シシカレハスナハチ何ノ文ニヨルトモ、一一向專念ノ義ヲ立スヘカラサルヲヤ、證證誠殿ノ本地、ススナハチイマノ教主ナリ、カルカルカユヘニトテモカクテモ、衆衆生ニ結縁ノコ、ロロサシフカキニヨリテ和光ノ垂跡ヲ留タマフ、垂垂迹ヲト、ムムル本意、タタ、結結縁ノ群類ヲシテ、願願海ニ引入セントナリ、シシカアレハ本地ノ誓願ヲ信シテ、一一向ニ念佛ヲコトハ、セセン輩、公公務ニモシタガヒ、領領主ニモ駐仕シテ、ソソノ靈地ヲフミ、ソソノ社廟ニ詣セ

ンコト、更ニ自心ノ發起スルトコロニアラ
 ス、シカレハ、垂迹ニヲヒテ、内壞虚假ノ
 身タリナガラ、アナカチニ賢善精進ノ威儀
 ヲ標スヘカラス、タ、本地ノ誓約ニマカス
 ヘシ、穴賢穴賢、神威ヲカロシムルニアラ
 ス、努力々々冥賦ヲメグラシタマフヘカラ
 スト云コレニヨリテ平太郎熊野ニ參詣ス、
 道ノ作法トリワキ整儀ナシ、タ、常没ノ凡
 情ニシタカツテ、サラニ不淨ヲモ刷コトナ
 シ、行住坐臥ニ本願ヲアフキ、造次顛沛ニ
 師教ヲマモルニ、ハタシテ無爲ニ參着ノ夜、
 クタンノ男夢告云證誠殿ノ扉ヲ排キテ衣

冠タ、シキ俗人オホセラレテ云汝何ソワ
 レヲ忽緒シテ汗穢不淨ニシテ參詣スルヤ
 ト、ソノトキカノ俗人ニ對座シテ聖人忽爾
 トシテマミエタマフ、ソノ詞ニノタハマク、
 彼ハ善信カ訓ニヨツテ念佛スルモノナリト
 云云、爰ニ俗人、笏ヲタ、シクシテ、コトニ敬
 屈ノ禮ヲ著シツ、カサテ述トコロナシ
 トミルホトニ、ユメサメヲハンヌ、オホヨ
 ソ、奇異ノオモイヲナスコト、イフヘカラ
 ス、下向ノ後貴坊ニマイリテ、クハシク此
 旨ヲ申ニ、聖人ソノコトナリトノタマフ、
 コレマタ、不思議ノ事ナリカシ。

第六段

聖人弘長二歳、仲冬下旬ノ候ヨリ、イサ
 、カ不例ノ氣マシマス、自爾以來口ニ世事
 ヲマシヘス、タ、佛恩ノフカキコトヲノ
 フ、聲ニ餘言ヲアラハサス、モハラ稱名タユ
 ルコトナシ、シカウシテ 同第八日 頭
 北而西右脇ニ臥給テツキニ念佛ノイキタエ
 ヲハンヌ、于時類給九旬ニ滿タマフ、禪房
 ハ長安馮翊ノ邊、里小路南、ハルカ
 ニ河東ノ路ヲ歴テ洛陽東山ノ西麓鳥邊野ノ
 南ノホトリ延仁寺ニ葬シタテマツル、遺骨

本願寺聖人親鸞傳繪下

ヲ拾ヒ同山ノ麓、鳥邊野ノ北邊、大谷ニコレ
 ヲオサメ畢ヌ、シカルニ終焉ニアフ門弟、
 勤化ヲウケシ老若、ヲノノ在世ノイニシ
 ヘヲオモヒ、滅後ノイマヲカナシミテ戀慕
 涕泣セストイフコトナシ。
 第七段
 文永九年冬ノコロ、東山西麓鳥邊野ノ北、
 大谷ノ墳墓ヲアラタメテ、同麓ヨリナヲ
 西、吉水ノ北ノ邊ニ、遺骨ノ堀渡シテ、佛
 閣ヲタテ、影像ヲ安ス、此時ニ當テ聖人相
 傳ノ宗義、イヨノ興シ、遺訓マスノ盛
 ナルコト、頗在世ノムカシニコエタリ、ス

ヘテ門葉、國郡ニ充滿シ、末流處々ニ遍布シテ、幾千万トイフコトヲシラス、其稟教ヲ重シテ、彼報謝ヲ抽ルトモカラ、緇素老少、面ニアミヲ運テ、年々廟堂ニ詣ス、凡聖人在生ノ間奇特コレオホシトイヘトモ羅縷ニ違アラス、シカシナカラコレヲ略スルトコロナリ。

奥書云

右縁起圖之志偏爲ニ知恩報德ニ不爲ニ戲論
 狂言剩又染ニ紫毫一拾翰林ニ其體尤拙
 其詞是荷付冥付顯有痛有耻雖然
 只憑ニ後見賢者之取捨無願ニ當時愚案之訛

謬而已。
 于時永仁第三層應鐘中旬第二天至晡時
 終ニ草書之篇ニ畢 畫工法眼淨賀樂寺

明治四十四年十二月三日印刷
 明治四十四年三月三日發行

(淨土真宗聖典)

著作權所有

(洋布製金壹圓)

編者

藤波一如

發行者

大橋新太郎

印刷者

飯田三千太郎

印刷所

株式會社 秀英舎第一工場

發行所

東京市日本橋區本町三丁目 博文館

東京市日本橋區本町三丁目

振替貯金口座東京二四〇番

東京帝國大學 文學博士 姊崎正治君著

發行所 博文館

根本佛教

全一冊 菊判 特製
正 壹圓四拾錢
小包料 金拾貳錢

東京日々新聞評

(前略)著者の教佛觀は如何。曰く「一切の信仰皆師主の人格に集中し、師

主の歸依とする點より言はゞ、佛敎は全く信賴の宗教なり。されど佛敎は内容より言はゞ心靈自覺の宗教なり、單に自己以外の佛陀を崇拜するは、佛徒の能事に非ず、自己心靈の内に佛性を開發するはその理想なり、後世佛敎の中に他力の信仰を生ぜしは、信賴の一面を發達せしめしものなるも、佛敎としては聖道修行、自心我佛を本義とす」と、「根本佛敎」一巻は畢竟此の見解の説明なり、註脚なり。著者は先づ佛敎の位置より説き起し、その思想の淵源を明かにし、佛陀の人格より進んで苦集滅道の四諦を詳述し、最後に佛伽の性質活動を叙してその筆を擱きたり。讀み去り讀み來れば、所謂根本佛敎よりして枝葉果實の依つて出づる所以、八宗九宗多岐の佛敎も、その源泉を同じうする所以、宛ら掌を指すが如し。吾等は宗教史詩を誦するの心地しつゝ、此の一巻を讀み終へたり。原始佛敎を闡明し得て、本書の如く精密を極むるは、東西恐らくは匹儔少なからん。若し強ひて據らぬ點を擧ぐれば、第四篇に於ける轉法輪の説明に在り、佛陀其人の自覺と、歴史的信心、民族的傳説との交渉未だ明かなりと謂ふ可からず。第五篇以下に於ける佛敎其者の解明に至りては、眞に是れ快心の妙文字也、依つて以て釋尊大悟界の風光を髮靡するに足る。

東京帝國大學 文學士 堀謙徳君著

發行所 博文館

美術上の釋迦

全一冊 菊判 上製
正 金壹圓廿錢
郵稅 金拾貳錢

附録

釋迦傳教地圖。佛書解題。

口繪

外に古代密畫挿入

釋迦一代の事蹟、南北佛敎の淵源、悉く印度美術上に表現、本書は釋迦の事蹟、佛敎の淵源に關する印度古代彫刻の寫眞七十有餘を複寫し、一々是が圖解を施し、是が典據となるべき梵漢佛典の本文を和譯し、更に當該事項の參考書類を叮嚀に明示したるものにして、之を正面より見れば佛敎美術の解説となり、之を背面より見れば釋迦一代の傳記となり、又更に之を側面より見れば佛典研究の指導となる、美術趣味を以て釋迦の人格、佛敎の淵源を知らんとする江湖諸君に向て本書を提供す。

文學士 石原即出君著

佛敎哲學汎論

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

内容

緒論 ○佛敎とは何ぞや ○哲學とは何ぞや ○佛敎は哲學なりや ○宗敎なりや ○佛敎は如何なる宗敎なりや ○宗敎と哲學との關係 ○宗敎と科學との關係 ○宗敎と倫理との關係 ○佛敎哲學とは何ぞや
本論(宇宙論) 序説 ○現象論 ○實在論
附録 解脫論

文學士 蜷川龍夫君著

佛敎倫理學

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

内容

上編 歴史の佛敎倫理 緒論 ○印度の倫理思想 ○支那思想との交渉 ○日本佛敎倫理
中編 學理的佛敎倫理 ○佛敎倫理の基礎 ○宗敎目的論 ○實際的目的論 ○心性論 ○應報論
下編 實踐佛敎倫理 道德實踐の要旨 ○八正道と三學 ○四恩と六恩 ○五戒及十善業 ○六婆羅密 ○結論

文學士 石原即出君著

日本佛敎史

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

次目

○序論 ○大化改新以前の佛敎 ○大化改新以後の佛敎 ○奈良朝時代の佛敎 ○平安朝時代の佛敎 ○鎌倉時代の佛敎 ○室町時代の佛敎 ○戰國時代の佛敎 ○徳川時代の佛敎 ○明治時代の佛敎の大勢

文學博士 前田慧雲君編

佛敎美術

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

日本は美術國なり而して其源流は佛敎によりて開發せらるる即ち日本美術を知らんとせば必ず佛敎美術の研究を怠るべからず前田博士は碩學の大家なり茲に佛敎美術を原始的に考究し其發達形狀につき懇篤なる編述を得たり嗚呼是れ我美術研究上の一曙光にあらずや又斯道を益すること尠少なからざるなり

法學士 工藤重義君著

世界宗敎制度論

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

本書の材料は曹洞宗高等學林に於て講述せる講本を骨子とし獨佛の諸書及我邦の制度學說等を參酌したれば記述系統ありて定論縱横殊に卷末には餘論として宇内平和論及犯罪救濟論を編せり共に法學研究の範圍に屬して而も宗敎的事業に密接の關係あり大方篤學の士是非一讀を要すべきなり

文學士 高木敏雄君著

比較神話學

並製正價金四拾錢 郵税金八錢
特製 金五拾五錢 小包金八錢

先づ第一に神話學とは如何なる學なるやを説き其由來と起原とに關して其歴史の大體を説き從來學說の變遷を叙し以て最近のそれに及び諸説の長短優劣を比較評騰し第二章以下の五章に於て神話學上の問題にして必ず日本神話に關係あるものを撰擇して之を評論せらる著者が斯著の上に傾注せられし用意蓋し周到なり

文學士 常盤大定君纂

佛 陀 の 聖 訓

全一册小判紙數七百七十頁
上製 正價金八拾錢
特製總革金 壹圓
小包料各金 八錢

本書特色 第二、誰人にも一讀了解の出来る様。成るべく平易に經文を意譯し。まゝ難解の漢字佛語などには。丁寧釋當なる註釋を平がなにて挿入せること。第二經文の説相談類をして判明ならしめ。佛陀説法の道筋を知らしめんために。上篇には阿含部の經典より。中篇には方等般若部より下篇には法華。涅槃。華嚴部の中より。金玉の教訓。痛快なる具體的實例等を摘録せること。その分類の方法また著者の意を用ひたるものにして。佛教は心を本と爲すゆへ。最初に心の状態を知らしめ。是より細分して巧に修行の方規處世の要訓など知らしめ。且つ立脚地の異なる小乗と大乘の。教訓を別々に集録し。各々その特色を發揮せしめたるなど普通佛教の聖典として。最も適當なり。

常盤文學士譯
南北對照法句經
英漢和譯

(全一册菊判二八五頁)
正價金四拾五錢
郵税金 六錢

常盤文學士著
印度文明史

(全一册菊判三四七頁)
並製四拾錢 郵稅八錢
特製五拾五錢 小包八錢

文學士 蜷川龍夫君著

發行所 博文館

日 高 僧 の 人 格

全一册菊判美本
紙數二百三十頁
正價金四拾錢
郵税金 六錢

本書は著者獨得の史的眼光と多年研鑽の歸結とを以て我佛教史上第一流に任ずべき二十有餘の祖師聖人を我民族思想上の大立物となし主として其人格の特色と各個獨創の修養法を詳述し且つその時勢と四圍との關係を詳論し次で精神生活の状態をも最も詳密に最も平易に發揮したるものにして一讀古聖人の精神修養の心術と人物養成の秘訣とを窺知するに足るものあり蓋し本書に依りて我思想界多年の渴望を満すものあらん。

博文館編輯局編
佛教各宗 高僧實傳

(四六判紙數千五百頁)
正價金七拾五錢
小包料拾貳錢

江見水蔭君著
佛教各宗 續高僧實傳

(四六判千二百頁)
正價七拾五錢
小包料拾貳錢

文學博士 加藤玄智君譯

(全一册菊判紙數三百十六頁)

世界宗教史

上製 正價 五拾五錢
郵税 八錢
並製 正價 四拾錢
郵税 八錢

主觀的空想の思辨を排し確乎たる史的事實に據りて宗教を學ばんとするは最近十有餘年間に於ける時代精神の主潮なり此に於てか人は最早佛教若くは基督の如き特種宗教の歴史のみを知りて獨り安んずる能はず又更に進んで世界に於ける各宗教の全般に亘りその發達開展の有機的關係を史的事實に照して比較研究する世界宗教史に待つあるや日に切なり本書能く原書の要を抜き譯文簡明暢達なり宗教學に志ある者一本を藏めて凡疇の好侶たらしむべし。

文學博士 姉崎正治君著

(全一册菊判紙數四百頁)

宗教哲學

上製 正價 五拾五錢
郵税 八錢
並製 正價 四拾錢
郵税 八錢

本編はカント、ヘーゲル、シエリングの宗教哲學論を統合し、シライエルマツル、ビーデルマンの基督宗教學を批評し吠境多の無宇宙論佛教の涅槃論を精査して、東西宗教の粹を蒐め古今哲學の結果に依りて、宗教哲學の一大系統を組織したるものなり、苟も人生の大問題たる宗教に懸念する人は、此書を以て指針と爲さば、理論に實際に鞏固なる基本を得ん。

シヨペン 大作 東京帝國大學 文學博士 姉崎正治君譯

意志と現識との世界

全三册洋裝菊判
總クローリス美本
全部二千三百頁
挿畫各卷數葉

上卷 正價 金壹圓八拾錢 小包料拾貳錢 中卷 正價 金壹圓六拾錢 下卷 正價 金壹圓八拾錢

本書の眞價萬朝報は本書を評して曰く

シヨペンハウエルの原著を、原著者死後五十年の記念にとて姉崎博士が譯せるもの也、シヨ氏はカントに發足して深く印度哲學に入り思想界に於ける東西兩洋の二大流派を融和したる點に於て西洋哲學史の異彩なると共に東洋より西洋に接したる現代日本人と相似たる所なきにあらず、譯著姉崎博士は廿年來のシヨ氏研究者にして譯筆叮嚀親切一語一句もゆるかせにせざるは勿論、コンマ、セミコロン、の切方に至る迄努めて原著に忠ならんとせる近來最も苦心せる且つ眞面目なる出版物の一也、卷尾の譯語對照索引是非なくてはならぬもの

博文館發行
帝國百科全書中
哲學書類目錄

● 純正哲學 <small>上下二册</small> 井上文學博士編	● 儒教哲學概論 蜷川文學士著
● 哲學汎論 藤井文學士著	● 論理學 高山文學博士著
● 最新西洋哲學史 岡島文學士著	● 東洋論理學史 香村文學士著
● 西洋哲學史 蟹江文學博士著	● 進化論 十時文學士著
● 近世美學 高山文學博士著	● 社會進化論 小山文學士著
● 處世哲學 杉谷文學士著	● 認識論 澁野文學士著

● 認識論 澁野文學士著	● 近世心理學 德谷文學士著
● 社會學 十時文學士著	● 心理學 速見文學士著
● 倫理學 蟹江文學士著	● 兒童心理學 松本文學士著
● 日本倫理史 有馬文學士著	● 社會心理學 小林文學士著
● 西洋倫理學史 木村鷹太郎君著
● 社會倫理學 德谷文學士著

各册洋裝菊判美本
紙數三百頁以上
製本並特の二様

並製正各册價
特製(洋布金)文字入
金四拾五錢
金五拾五錢

郵税金八錢
小包金八錢

海老名彈正君閱 赤司繁太郎君編

(全二册菊判半裁七七七頁)

耶蘇の聖訓

洋布上製金壹圓

郵税金八錢

總皮特製壹圓廿錢

小包料金八錢

この書上編經部は聖書自身をして此の大問題に答へしめたるものにして下編論部は聖書全體より神、人、キリスト、聖靈、救濟、人間の行爲等種々なる宗教道徳上の諸問題に關する教訓を攝抄したるものなり之れを以て斯書やキリスト教の何たるやを説明する一大バノラマたるなり未だキリスト教の何たるかを知らざるものには其大綱を知らしむるの機關たるべしキリスト教徒には日常生活の變化多き境遇に應じて一々適切なる聖句を示すべきなり而して一般國民の爲には修養の資料たるべくして墮落せる現世を救ふに於て恰好の藥物たるを信ず乃ち敢て薦む

博文館發行



